

# KL-V460

## 取扱説明書

別紙の「はじめにお読みください」をお読みになった後、こちらをお読みください。

ご使用前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。  
本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

本機に対応するテープ幅



RJA530922-001V01

M02106-D

はじめに

準備編

おためし印刷編

ラベル作成編

デザインロゴ編

入力・編集編

設定編

付録

**CASIO**<sup>®</sup>

# ご 注 意

本書の著作権およびソフトウェアに関する権利  
はすべてカシオ計算機株式会社に帰属します。

以下の用語は、それぞれ各社の登録商標または商標です。

なお、本文中には、以下の用語の®マークを明記していません。

- ・ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ 「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- ・ QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- ・ その他、本書に掲載されている会社名・製品名は、各社の商標または登録商標です。

© Copyright 2014 CASIO COMPUTER CO., LTD.

ソフトウェアの正常な使用またはバックアップコピーを作成する場合を除き、カシオ計算機株式会社の書面による同意なしには、本書やプログラムの一部または全部を問わず、複製することを禁じます。

当社では「廃棄物ゼロ」を実現するため、使用済みのテーブカートリッジを回収/ 分解し、再資源化しております。  
使用済みのテーブカートリッジはお買い求めの販売店までお持ちください。

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

## あらかじめご承知いただきたいこと

- 本書はKL-V460について説明しています。
- 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一ご不審な点やお気付きの点などがありましたらご連絡ください。
- 本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。個人としてご利用になる他は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書の内容は改良のため、将来予告なく変更することがあります。
- 本書の印刷例や表示画面などは、実物と多少異なる場合があります。ご了承ください。

# もくじ

こんなことができます	10
------------	----

## 準備編

各部の名前とはたらき	11
------------	----

本機を使う前の準備	12
-----------	----

操作の流れ	12
-------	----

電源について	13
--------	----

ACアダプターを使う	13
------------	----

データの保持について	14
------------	----

はじめて使うときは「メモリーの初期化」を！	14
-----------------------	----

電源を入れる・切る	15
-----------	----

オートパワーオフ(節電)機能について	15
--------------------	----

印刷する文章の作り方について	16
----------------	----

テープカートリッジを取り付ける/取り外す	17
----------------------	----

テープカートリッジを取り付ける	17
-----------------	----

テープカートリッジを取り外す	18
----------------	----

キーのはたらき	19
---------	----

キーの表記について	20
-----------	----

画面の見方	21
-------	----

## おためし印刷編

まずは作ってみましょう	22
-------------	----

ラベルを印刷する	22
----------	----

ラベルを貼る	24
--------	----

テープを空送りする	24
-----------	----

テープの余白を「送り無」にしたときは	24
--------------------	----

終了する	25
------	----

印刷時の注意事項	26
----------	----

印刷とカットモード	26
-----------	----

カットモードについて(オートカッター)	26
---------------------	----

カットのしかたと余白について	29
----------------	----

## ラベル作成編

ラベル作成の流れ	30
----------	----

操作の流れ	30
-------	----

フォーマットを選んで作る(用途別ラベル)	31
----------------------	----

フォーマットを選ぶ	31
-----------	----

通し番号のついたラベルを作る(ナンバリング)	33
------------------------	----

ナンバリングの種類	33
-----------	----

大きなラベルを作る(拡大印刷)	35
-----------------	----

自由に入力して作る(フリーラベル)	37
-------------------	----

フリーラベルを作る	37
-----------	----

文章をブロックに分ける	37
-------------	----

2行以上のラベルを作る	38
-------------	----

ラベルの書式を決める	39
------------	----

ブロックごとに書式を決める	39
---------------	----

文章全体の書式を決める	41
-------------	----

ラベルの長さを自由に決める	43
---------------	----

ブロックの長さを設定する(ブロック長固定)	43
-----------------------	----

ラベル全体の長さを自由に設定する(テープ長固定) ……	45
CD・DVD用のラベルなどを簡単に設定する (テープ長さダイレクト設定キー) ……	45
<b>文章のバランスを整える(割付) ……</b>	<b>46</b>
ブロック内で文字のバランスを整える ……	46
ラベル内のブロックのバランスを整える ……	47
<b>文字の大きさを決める ……</b>	<b>48</b>
文字単位で大きさを決める ……	48
行単位で大きさを決める(フォーマット選択) ……	51
<b>フレームをつける ……</b>	<b>54</b>
<b>縦書きのラベルを作る ……</b>	<b>55</b>
<b>バーコードラベルを作る ……</b>	<b>56</b>
バーコードのタイプ ……	56
バーコードの仕様 ……	58
<b>QRコードラベルを作る ……</b>	<b>59</b>
印刷できるQRコードのタイプ ……	59
<b>値札・メニューラベルを作る(POPラベル) ……</b>	<b>63</b>
<b>カレンダーラベルを作る ……</b>	<b>64</b>
<b>宛名ラベルを作る ……</b>	<b>66</b>
宛名の入力 ……	66
宛名ラベルの印刷 ……	67
<b>作成したデータを登録する・呼び出す ……</b>	<b>69</b>
データを登録する ……	69
登録したデータを呼び出す ……	69
登録したデータを削除する ……	70
<b>データのバックアップをする(DATA STOCK TOOL) ……</b>	<b>70</b>

<b>デザイン・ロゴ編 ……</b>	<b>71</b>
<b>ロゴ入りのラベルを印刷する(デザインロゴ) ……</b>	<b>71</b>
パソコンにデザインロゴをダウンロードする ……	71
ダウンロードしたデザインロゴを本機に転送する ……	72
デザインロゴを印刷する ……	74
デザインロゴデータを削除する ……	76
<b>入力・編集編 ……</b>	<b>77</b>
<b>カーソルのはたらきと動かし方 ……</b>	<b>77</b>
<b>ローマ字入力?それともかな入力? ……</b>	<b>78</b>
ローマ字入力とかな入力を切り替える ……	78
<b>入力する文字の切り替え方法 ……</b>	<b>78</b>
ひらがな・カタカナの入力 ……	78
アルファベット(大文字・小文字)の入力 ……	78
<b>ひらがな・カタカナの入力 ……</b>	<b>79</b>
ひらがなの入力 ……	79
カタカナの入力 ……	79
いろいろな文字の入力方法 ……	80
<b>漢字の入力 ……</b>	<b>80</b>
入力した「よみ」から予測された変換候補を選ぶ(予測変換) ……	80
「よみ」を入力してから変換する ……	82
漢字辞書を使って漢字を呼び出す ……	83

<b>アルファベットや数字の入力</b> .....	<b>86</b>
アルファベット(大文字)の入力 .....	86
アルファベット(小文字)の入力 .....	87
数字の入力 .....	87
<b>記号の入力</b> .....	<b>87</b>
キーに印刷されている記号 .....	87
その他の記号 .....	88
<b>絵文字の入力</b> .....	<b>88</b>
<b>文字を修正・削除するときは</b> .....	<b>89</b>
間違った文字を消す .....	89
すべての文字を消す(文削除) .....	90
間違った文字を直す .....	90
文字が抜けていたら .....	92
復帰機能について .....	92
<b>書体(フォント)を変える</b> .....	<b>93</b>
入力済みの文字の書体を変える .....	94
電源を入れたときの書体を決める .....	95
<b>文字を目立たせる</b> .....	<b>96</b>
<b>文字に飾りをつける</b> .....	<b>97</b>
文字修飾を指定する .....	97
文字修飾を取り消す .....	98

<b>よく使う語句を登録する/呼び出す (プリセットタイトル)</b> .....	<b>99</b>
プリセットタイトルを呼び出す .....	99
新しくプリセットタイトルを作る .....	99
プリセットタイトルを修正する .....	100
プリセットタイトルを削除する .....	100
<b>日付や時刻をデータに挿入する</b> .....	<b>101</b>
現在の日付や時刻をデータに挿入する(タイムスタンプ) .....	101
指定期間が経過後の日付や時刻をデータに挿入する(タイムスパン) .....	102
<b>入力した文字をコピーする・貼り付ける (コピー・ペースト)</b> .....	<b>103</b>
文字をコピーする .....	103
コピーした文字を貼り付ける(ペースト) .....	103
<b>オリジナルの文字(外字)を作る</b> .....	<b>104</b>
はじめから自分で作る(新規作成) .....	104
本機にある文字を利用して作る(参照作成) .....	105
すでに作ってある外字を修正する .....	105
外字を使う .....	105
登録した外字を削除する .....	106
<b>よく使う語句を辞書に登録する(ユーザー辞書：語句)</b> .....	<b>106</b>
語句を登録する .....	106
登録した語句を修正する .....	107
<b>郵便番号と住所を辞書に登録する(ユーザー辞書：郵便番号)</b> .....	<b>108</b>
郵便番号を辞書に登録する .....	108

## 設定編 ..... 109

### 設定を変える ..... 109

設定できる項目	109
ブザー音を消したい	109
画面のコントラストを変えたい	110
印刷の濃さを変えたい	110
日付、時刻を設定する	110
変換学習した情報を初期化したい	110
予測変換しないように設定したい	111
サンプルデータを印刷する(デモ印刷)	111

## 付録 ..... 112

### お手入れの方法 ..... 112

綿棒できれいにする	112
クリーニングテープを使う	113

### こんなときは(トラブルシューティング) ... 113

### エラーメッセージ一覧 ..... 117

### ローマ字入力一覧 ..... 122

### 記号・絵文字一覧 ..... 123

記号	123
QRコード専用記号	124
絵文字	124

### フレーム一覧 ..... 126

### 用途別ラベルフォーマット一覧 ..... 127

### POPラベルフォーマット一覧 ..... 129

### ナンバリングフォーマット一覧 ..... 129

### テーブル幅と行数・倍率一覧 ..... 129

### 各機能における使用可能テーブル幅一覧 ..... 130

### 拡大印刷時のテーブル幅と文字の大きさ ..... 130

### デザインロゴ内蔵データ一覧 ..... 131

### 内蔵漢字一覧 ..... 133

### 仕様 ..... 138

### 別売品について ..... 140

### 索引 ..... 141

## 安全上のご注意

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は、お読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。



### 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 絵表示の例



○記号は「してはいけないこと」を意味しています（左の例は分解禁止）。



●記号は「しなければならないこと」を意味しています。

## ⚠ 警告

### 煙、臭い、発熱などの異常について



煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. USBケーブルをはずす。
3. ACアダプターのプラグをコンセントから抜く。
4. お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する。

### ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。

次のことは必ずお守りください。



- 必ず指定品を使用する
- 電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する



- 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない

## ⚠ 警告

### ACアダプター／USBケーブルについて

電源コード／ USB ケーブルは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。

次のことは必ずお守りください。

- 
  - 重いものを乗せたり、加熱しない
  - 加工したり、無理に曲げない
  - ねじったり、引っ張ったりしない
  - アダプター本体にコードを巻きつけない
- 
  - 電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する

### ACアダプター／USBケーブルについて

- 
  - 濡れた手で電源コード／ USB ケーブルやプラグに触れないでください。感電の原因となります。
  - AC アダプター／USB ケーブルは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となります。
  - AC アダプター／USB ケーブルの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となります。
  - 電源コード／ AC アダプター／ USB ケーブルを新聞紙やテーブルクロス、カーテン、布団、毛布などで覆わないようにしてください。火災の原因となります。

## ⚠ 警告

### ACアダプターについて

- 
  - 外出時は、動物・ペットが本機に近づかないようにして、電源コード／ AC アダプターはコンセントから抜いてください。電源コード／ ACアダプターに噛みついた場合、ショート(短絡)により、火災や感電の原因となります。

### 落とさない、ぶつけない

- 
  - 本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。
    1. 電源スイッチを切る。
    2. USBケーブルをはずす。
    3. AC アダプターのプラグをコンセントから抜く。
    4. お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する。

### 分解・改造しない

- 
  - 本機を分解・改造しないでください。感電・やけど・けがをする原因となります。内部の点検・調整・修理はお買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にご依頼ください。

## ⚠ 警告

### 水、異物はさける

-  水、スポーツドリンク、海水、動物・ペットの尿、異物(金属片など)が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。
1. 電源スイッチを切る。
  2. USB ケーブルをはずす。
  3. ACアダプターのプラグをコンセントから抜く。
  4. お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡する。

### 火中に投入しない

-  本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

### 袋をかぶらない、飲み込まない

-  本機が入っていた袋をかぶったり飲み込んだりしないでください。窒息の原因となります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

### 電子レンジでの加熱に使う容器にはラベルを貼らない

-  電子レンジでの加熱に使用する容器には、ラベルを貼らないでください。ラベルに使用している材質に金属が含まれているため、電子レンジで加熱すると発火ややけどの原因となります。また、ラベルを貼ったものが変形することがあります。

## ⚠ 注意

### ACアダプター／USBケーブルについて

ACアダプター／USBケーブルは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

-  ストープ等の熱器具に近づけない
-  プラグを抜くときは、電源コード／USBケーブルを引っ張らない(必ずACアダプター本体／USBケーブルのプラグを持って抜く)
-  ACアダプターのプラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- USBケーブルのプラグはコネクタの奥まで確実に差し込む
- 旅行などで長期間使用しないときはACアダプター／USBケーブルのプラグをコンセント／コネクタから抜く
- ご使用後は電源スイッチを切り、ACアダプターのプラグをコンセントから抜く
- 電源コードのプラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、乾いた布や掃除機で清掃する
- 電源コード(特にプラグ部分)、ACアダプター(特にプラグやジャック部分)の清掃には、洗剤を使用しない

## ⚠ 注意

### ACアダプター／USBケーブルについて

- ❗ AC アダプターは、AC プラグに容易に手が届くようにして、使用する機器の近くのコンセントに差し込んで使用してください。不具合が生じたときには、コンセントからすぐに取りはずせるようにしてください。
- AC アダプターは、湿気のないところで保管ください。
- AC アダプターの接続には、付属の電源コードをご使用ください。
- 付属の電源コードを、本機以外の電気製品には使用しないでください。故障の原因となることがあります。

### コネクター部への接続

- ⊘ コネクター部には、指定されたもの以外は接続しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

### 大切なデータは控えをとる

- ❗ 本機に記憶させた内容は、ノートに書くなどして本機とは別に必ず控えを残してください。本機の故障や修理などにより、記憶内容が消えることがあります。

### 重いものを置かない

- ⊘ 本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

## ⚠ 注意

### 置き場所について

- ⊘ 本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
  - 湿気やほこりの多い場所
  - 調理台のそばなど油煙が当たるような場所
  - 暖房器具の近く、ホットカーベットの、上、直射日光が当たる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

### 不安定な場所に置かない

- ⊘ ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

### 表示画面について

- ⊘ 液晶表示画面を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。  
液晶表示画面のガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶表示画面が割れた場合、表示画面内部の液体には絶対に触れないでください。  
皮膚の炎症の原因となることがあります。
- 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

## ⚠ 注意

### 高温注意

⊘ プリンターヘッドおよびまわりの金属部分には触らないでください。高温になるため、やけどするおそれがあります。

### オートテープカッターに注意する

⊘ 電源を入れたときや印刷中は、プリンターヘッドやテープ通路付近に触れないでください。オートテープカッターが動くことがあり、けがをする恐れがあります。

### JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

この装置は、クラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

## ご使用上の注意

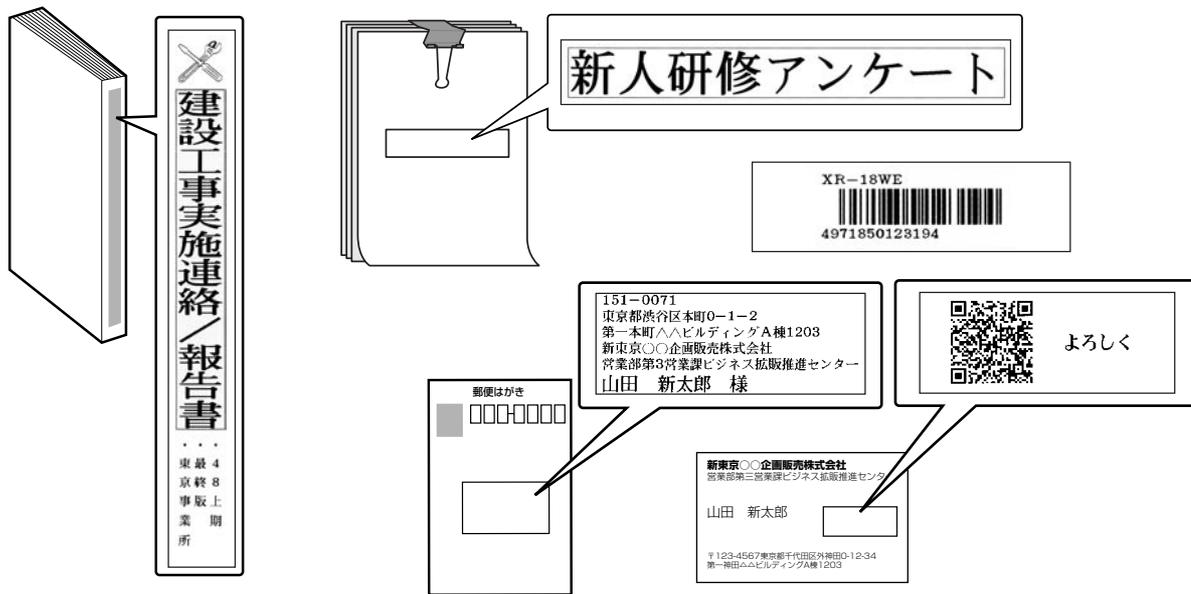
本機を末ながくご愛用いただくために以下の点にご注意ください。

- 直射日光の当たる場所、湿気が多い場所、静電気の発生しやすい場所、急激な温度変化がおこる場所、極端な高低温下での使用は避けてください。使用温度範囲は、10℃～35℃です。
- 強い衝撃や大きな力を加えないようにご注意ください。
- プリンター部分にクリップやピンなどを落とさないでください。
- テープを無理に引き出ししたり、押し込んだりしないでください。
- プリンターヘッドが汚れると、印字が不鮮明になります。この場合は、お手入れの方法(112ページ)をご覧ください。

# こんなことができます

KL-V460 だけで簡単に印刷ができます。

ファイルの背表紙や名前などの定番ラベルから、お好みのレイアウトで作成することができるラベルまで、さまざまな印刷ができます。



## デザインロゴ

オフィスなどの職場、工事や建設などの現場、病院などでよく使う表現を選ばただけで、イラストや文字の入ったアテンション効果に優れたラベルを作ることができます。デザインロゴは、インターネットのダウンロードサイトからパソコン経由で本機に転送することもできます。



# 各部の名前とはたらき



\*バックライトが常に点灯します。

## USBコネクター

パソコンと接続するときに、USBケーブルを接続します。

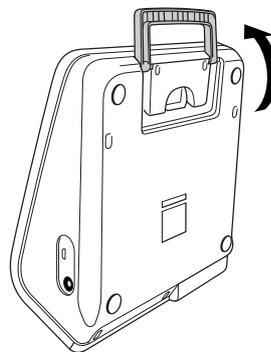
## 持ち運び用ハンドル

## ACアダプター

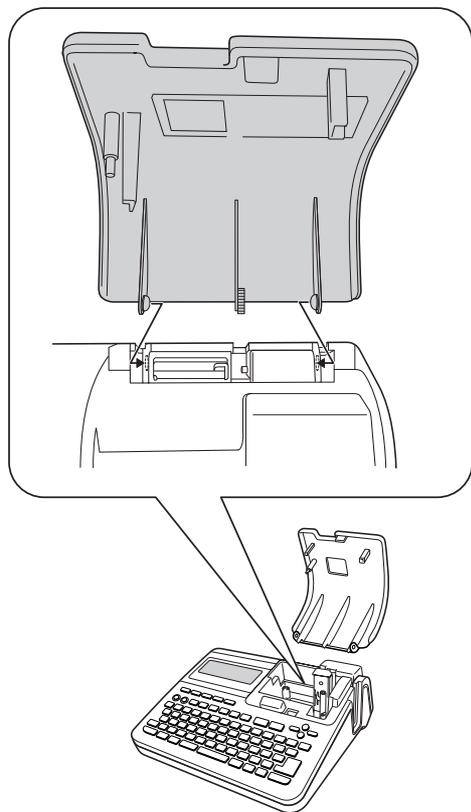
接続用端子  
指定のACアダプターを接続します。

## ■持ち運ぶときは

本機を持ち運ぶときは、図のように持ち運び用ハンドルを引き上げてお使いください。



■テープカートリッジ収納部のカバーが外れてしまったら  
テープカートリッジ収納部のカバーが外れてしまったときは、図のよう  
にセットしてください。カバーを無理な方向に曲げたりねじったりする  
と、突起や穴が破損する恐れがありますのでご注意ください。



## 本機を使う前の準備

### 操作の流れ

#### ACアダプターの接続

13ページ

- ・購入後、はじめて使うときはメモリーの初期化、日時の設定をしてください。(14ページ)
- ・メモリーの初期化をすると本機に記憶したデータが消去されます。必要のないときはメモリーの初期化はしないでください。



#### テープカートリッジの取り付け

17ページ



#### 自由に入力して作る

フリーラベル 22, 37ページ  
フリーラベルの編集機能  
37ページ

#### 用途に応じて作る

用途別ラベル  
バーコードラベル、デザイン  
ロゴなど  
31, 56, 71ページ



#### 印刷する

23ページ



# 電源について

本機を使うときは、電源として指定のACアダプターを使います。  
・ご使用前に、「安全上のご注意」(5～9ページ)を必ずご覧ください。

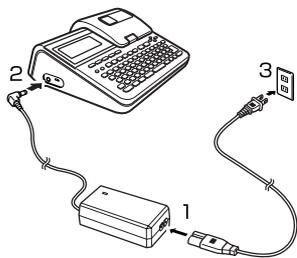
## ACアダプターを使う

指定のACアダプター(AD-A24250L)を使用します。

### ■取り付ける

- 重要**  指定のACアダプター以外は使用しないでください。  
**重要**  パソコンと接続する場合は、ソフトをインストールした後、USBケーブルとACアダプターを接続してください。くわしくは、別紙「はじめにお読みください」の「ソフトとプリンタードライバーをインストールする」「パソコンと接続する」をご覧ください。

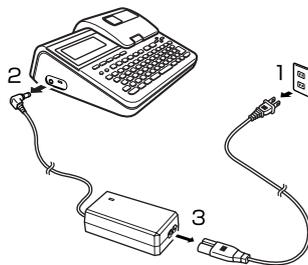
- 1 電源コードとACアダプターを接続します。
- 2 ACアダプターのプラグを、本機のACアダプター接続用端子に差し込みます。
- 3 ACアダプターをご家庭のコンセント<AC100V>に差し込みます。



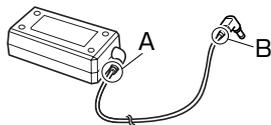
### ■取り外す

- 重要**  印刷中にACアダプターを取り外さないでください。故障の原因となります。
- ・電源を切るときは、必ず  を押してください。
  - ・電源が入っているときや、電源を切った後も表示が画面から完全に消えるまでは、ACアダプターを取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章、本機に登録した文章、外字、コピーした文章、設定された内容が消去されてしまいます。
  - ・USBケーブルを接続している場合は、ACアダプターを取り外す前にパソコンと本機からUSBケーブルを抜き取ってください。

- 1 コンセントからACアダプターのプラグを抜きます。
- 2 本機のACアダプター接続用端子からACアダプターのプラグを抜きます。
- 3 ACアダプターから電源コードを抜きます。



- 重要**  電源コードの両端部分(図のAおよびB)は、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、電源コードの両端部分が折り曲げられた状態で保管しないでください。コードが断線して故障の原因となります。
- 付属の電源コードは本機以外には使用しないでください。



## データの保持について

- 電源が入っているときはACアダプターを取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章、本機に登録した文章、外字、コピーした文章、設定された内容が消去されてしまいます。
- 本機に登録したデータ(文字や文章など)は、ノートなどに控えをとっておいてください。また、本機では、登録したデータをパソコンにバックアップ(保存)することもできます(70ページ)。

## はじめて使うときは「メモリーの初期化」を！

ご購入後、本機をはじめて使うときは、必ず**メモリーの初期化**という操作をします。「メモリーの初期化」をしないと、正しく動かないことがあります。

- 重要**  メモリーの初期化をすると、本機に記憶したデータが消えてしまいますので、はじめて使うとき以外はメモリーの初期化をしないでください。

- 電源が切れていることを確認します。  
画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、**切**を押します。
- 印刷**と**空白**をいっしょに押しなが、**入**を押します。  
**印刷**と**空白**をいっしょに押し続けたまま、**入**から指を離します。  
「メモリー初期化 実行/取消し」が表示されます。
- 実行**を押します。
- 上****下**を押して、現在の日付や時刻の設定をします。  
**左****右**で設定したい項目を選択することができます。
  - 下**を押すと数字が減り、**上**を押すと数字が増えます。
  - 数字を直接入力することもできます。

一日時設定

2013年 1月 1日(木) 0時00分
- 設定が終了したら**実行**を押します。

日付、時刻の設定は、後から変更することもできます。  
日付、時刻の設定については、110ページの「日付、時刻を設定する」をご覧ください。

## メモリーとは

本機内部にあり、作成した文章などを記憶する場所です。

## 「メモリーの初期化」とは

本機が正常な動作をするために、電気的な設定をすることです。「メモリーの初期化」を行うと、画面に表示されている文章とメモリーに記憶されているデータは消えてしまいます。

また、いろいろな設定も製造時に定められた設定に戻ります。ただし、本機にインストールされたデザインロゴのデータはメモリーの初期化をしても消えません。

# 電源を入れる・切る

一度「メモリーの初期化」をしたら、次からは (入) を押すだけで本機が使えます。

## 電源を入れるには…

(入) を押します。



## 電源を切るには…

(切) を押します。



- 画面のコントラストを調整するときは、110ページをご覧ください。

## オートパワーオフ(節電)機能について

何も操作をしないで、約6分間電源を入れたままにしておくと、電源は自動的に切れます。これを**オートパワーオフ機能**といいます。

ふたたび本機を使うときは、(入) を押してください。

- パソコンと接続しているときには、オートパワーオフ機能ははたらきません。

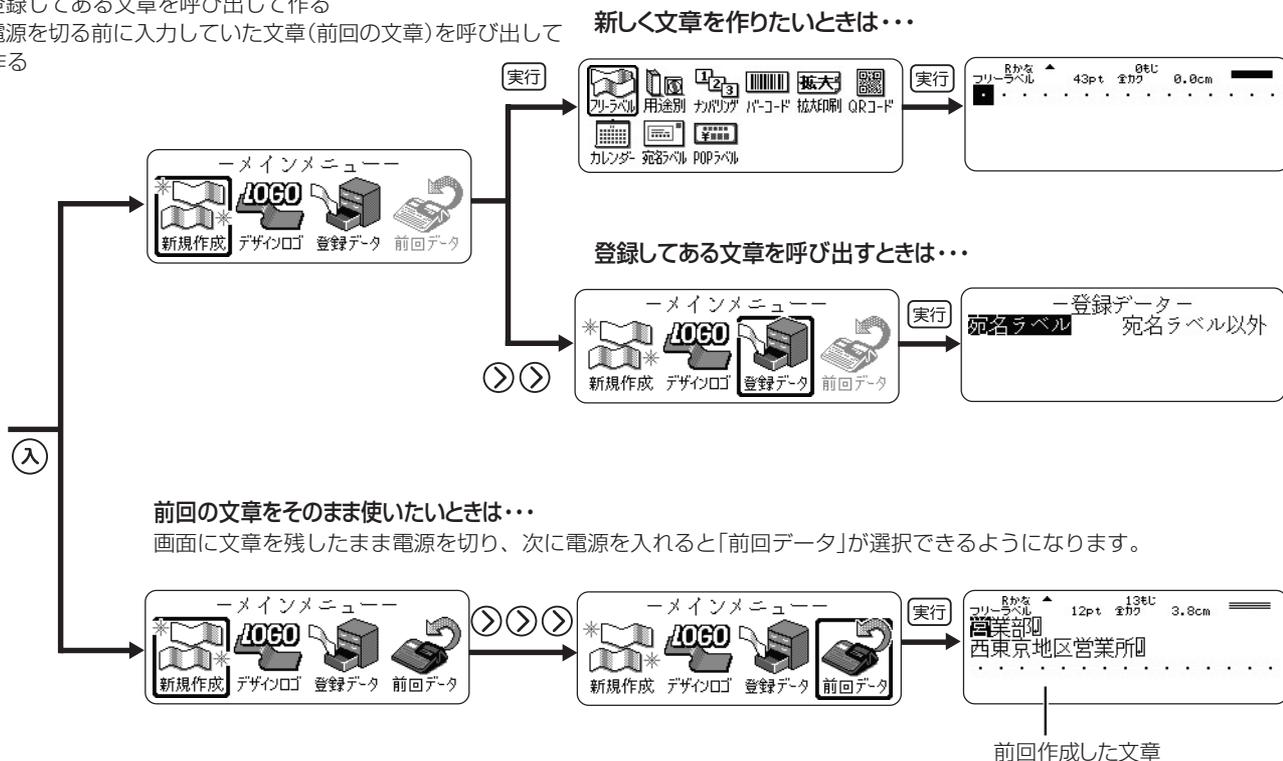
## 印刷する文章の作り方について

本機では、文章の作り方について、次の3つがあります。

- ・新しく文章を作る
- ・登録してある文章を呼び出して作る
- ・電源を切る前に入力していた文章(前回の文章)を呼び出して作る

準備編

電源を入れる・切る



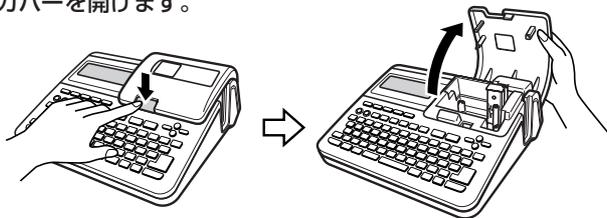
- ・メインメニュー画面で「前回データ」以外を選択したときや、デモ印刷をすると、前回作成したデータは消えてしまいます。大切なデータは、登録してから上記の操作をしてください。(データの登録→69ページ)

# テープカートリッジを取り付ける/取り外す

ラベルを印刷するときには、テープカートリッジが必要です。  
付属品および別売のテープカートリッジをお使いください。  
本機でご使用になれるテープ幅は、3.5mm・6mm・9mm・12mm・  
18mm・24mm・36mm・46mmです。  
テープカートリッジについては、付属の「別売品カタログ」をご覧ください。

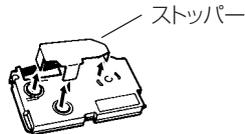
## テープカートリッジを取り付ける

- 1 電源が切れていることを確認します。  
画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、**切**を押します。
- 2 収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。

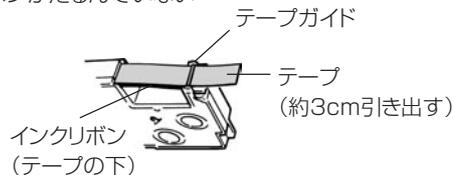


**重要** カバーの開閉時には、「可動範囲以上に動かそうとする」などの無理な力を加えないようにしてください。無理な力を加えると、故障や破損の原因となります。

- 3 テープカートリッジについているストッパーを取り外します。



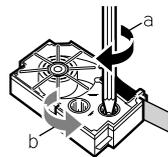
- 4 テープとインクリボンの状態を確認します。
  - ・テープの先が曲がっていない(曲がっていたらハサミで曲がった部分をカットする)
  - ・テープの先がテープガイドを通っている
  - ・インクリボンがたるんでいない



- 重要**
- ・一度引き出したテープを戻すことはできません。
  - ・無理に引き出さないでください。インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。
  - ・インクリボンがたるんだままテープカートリッジをセットすると、インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。

### インクリボンがたるんでいたら、たるみをとります

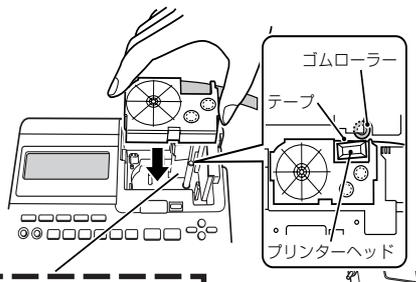
インクリボンがたるんでいたら、たるみを取ります  
インクリボンがたるんでいたら、aのように、右上の軸をえんぴつなどで矢印方向に回します。bの方向に左下の軸が回り始めるまで右上の軸を回してください。  
このとき、テープはいっしょに動きません。



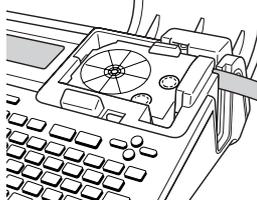
## 5 テープカートリッジをセットします。

インクリボンが引っかからないように注意しながら、テープとインクリボンがプリンターヘッドとゴムローラーの間を通るように取り付けます(下図)。テープカートリッジはカチッと音がするまで奥に押し込んでください。

**重要** 正しくセットしないと、リボン切れの原因となります。



プリンターヘッドおよび周りの金属部分は印刷をすると高温になるため、テープカートリッジの交換は、十分に時間を置いてから行ってください。また、この金属部分には触らないように注意してください。



## 6 テープカートリッジ収納部のカバーを閉めます。



- ・カバーは、カチッと音がするまでしっかりと閉めてください。
- ・テープカートリッジをセットしたら、テープを引き出したり押し込んだりしないでください。

## テープカートリッジを取り外す

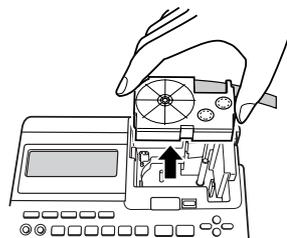
### 1 電源が切れていることを確認します。

画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、**切**を押します。

### 2 収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。

### 3 テープカートリッジの左右に指を入れて、まっすぐ上に引き抜きます。

・印刷直後は、プリンターヘッドが熱くなるため、十分に時間を置いてからテープカートリッジを取り出してください。

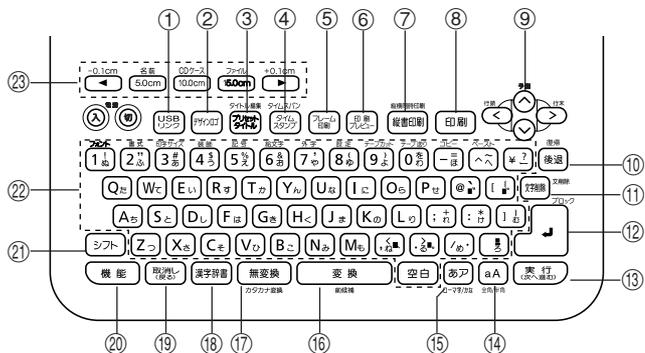


・もし、テープカートリッジが取り出せない場合は、113ページの「こんなときは」を参照して取り出してください。

**重要** 当社では「廃棄物ゼロ」を実現するため、使用済みのテープカートリッジを回収/分解し、再資源化しております。使用済みのテープカートリッジはお買い求めの販売店までお持ちください。

# キーのはたらき

ここではキーの主な使い方について説明します。



- 電源を入れたときやキー操作を間違ったときに鳴るブザー音を消したいときは、109ページをご覧ください。

①		パソコンで作成したデータを本機で印刷するときに押す。
②		デザインロゴを印刷するとき、パソコンからデザインロゴデータをインストールするときに押す。「ラベル印刷」をしているときに  を押し、[デザインロゴ]モードに切り替わる。

③		よく使う登録した単語や文章を呼び出して使うときに押す。 よく使う単語や文章を登録、編集するときは、 を押し、指を離してからこのキーを押す。
④		日付、時刻を入力中の文章に挿入するときに押す。 保存期間、有効期限などの将来の日付、時刻を入力中の文章に挿入するときは、 を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑤		フレーム印刷をするときに押す。 ・フリーラベル以外では使用できません。
⑥		印刷結果を画面で見るときに押す。
⑦		縦書き印刷をするときに押す。 ・縦横同時印刷をするときは、 を押し指を離してからこのキーを押す。 ・フリーラベル以外では使用できません。
⑧		印刷するときに押す。
⑨		文字が入る位置を示した  (カーソル) や、文字編集などのときに範囲を指定する  を動かすときに押す。 ・項目などを選択するときに押す。 ・予測変換の候補を選ぶときに押す。
⑩		カーソルの前の文字を消すときに押す。 ・直前に削除した文字、改行マーク、書式などを復帰するときは、 を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑪		カーソルの上の文字を消すときに押す。 ・入力中の項目の文章をすべて消すときは、 を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑫		改行するときに押す。 ・文章をブロックに分けるときは、 を押し、指を離してからこのキーを押す。(37ページ)

⑬	<b>実行</b>	操作を進めるときに押します。
⑭	<b>aA</b> <small>全角半角</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルファベットの小文字と大文字を使い分けるときに押す。(86ページ)</li> <li>アルファベットの全角と半角を切り替えるときは、<b>機能</b> を押し、指を離してからこのキーを押す。</li> </ul>
⑮	<b>あア</b> <small>ローマ字かな</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひらがなとカタカナを使い分けるときに押す。(79ページ)</li> <li>ローマ字入力とかな入力を切り換えるときは、<b>機能</b> を押し、指を離してからこのキーを押す。</li> </ul>
⑯	<b>変換</b> <small>前後補</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひらがなを漢字などに変換するときを押す。</li> <li>1つ前の変換に戻るとき(前候補)は、<b>機能</b> を押し、指を離してからこのキーを押す。</li> </ul>
⑰	<b>無変換</b> <small>カタカナ変換</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字に変換しないでひらがなのまま確定するときを押す。</li> <li>入力中のひらがなをカタカナに変換するときは、<b>機能</b> を押し、指を離してからこのキーを押す。</li> </ul>
⑱	<b>漢字辞書</b>	漢字辞書を使って漢字を入力するときに押す。(83ページ)
⑲	<b>取消し</b>	操作を戻したり、中止したりするときに押す。
⑳	<b>機能</b>	キーの上下または横に <b>機能</b> と同じ色で書かれている機能を使いたいときは、まずこのキーを押す。
㉑	<b>シフト</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>かな入力するとき、「っ」や「ょ」などの促音・拗音を入れる場合に押す。(80ページ)</li> <li>アルファベットを入力しているとき、1文字だけ大文字(または小文字)を入れる場合に押す。(86ページ)</li> </ul>
㉒	(文字キー)	文字を入れるときに押す。
㉓	(テープ長さダイレクト設定キー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>フリーラベルで長さを設定するときに押す。</li> <li>フリーラベル以外では使用できません。</li> </ul>

**重要!** **機能**と**シフト**の操作には、以下の2つの方法があります。

- 機能** (**シフト**) を押し、指を離してから目的のキーを押す。
  - 機能** (**シフト**) を押しながら目的のキーを押す。
- ・本書の操作説明は、「**機能** (**シフト**) を押し、指を離してから目的のキーを押す」で記載しています。

## キーの表記について

●本文中では、操作手順の中で使うキー(ボタン)を **1!** や **実行** などのように表記しています。

**例** **1!** を押したあとに続けて **実行** を押すときの表記

↓  
**1!** **実行** と押します。

●本機のキーの上下または横に**機能**と同じ色で書かれている機能(「設定」や「カタカナ変換」など)を使うには、**機能** を押し、指を離してから**機能**と同じ色で書かれている機能名のキーを押します。

**例** 「設定」機能を使うときの表記

↓  
**機能** を押し、指を離してから **8!** を押します。

●操作手順の中で、「**⏪** **⏩** **⏴** **⏵** を押して…」 「**⏪** **⏩** を押して…」と表記されているときは、そのキーのどれかを何回か押してください。4つまたは2つのキーすべてを押す必要はありません。

●1つ前の画面に戻りたいときや、操作をやり直したいときは **取消し** を押します。

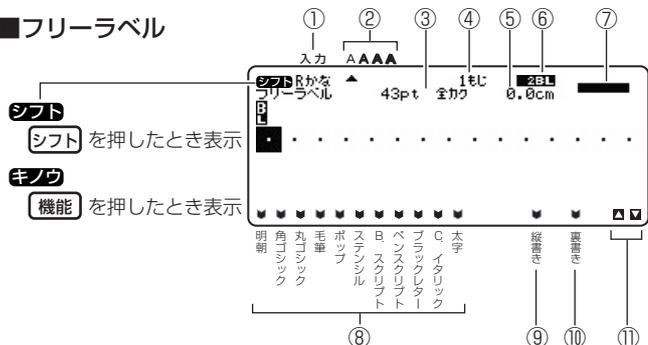
●**取消し** を何回押しても希望の画面に戻らないときは、**切** を押して一度電源を切ります。**入** を押して再び電源を入れて、はじめから操作をやり直してください。

# 画面の見方

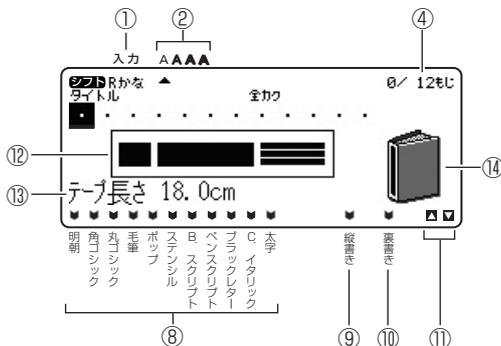
本機の画面には、いろいろなマークが出てきます。ここではそのマークの意味やはたらきについて説明します。

- 画面のコントラストを調整するときは、110ページをご覧ください。

## ■フリーラベル



## ■用途別ラベル



①	入力できる文字の種類や入力方法を示す。(78、91ページ)
②	文字体(フォント)が何になっているかを示す。(96ページ)
③	カーソル上の文字の印字サイズと倍率を示す。(50ページ)
④	フリーラベルでは現在入力している文字数を示す。(22ページ) フリーラベル以外では現在入力している文字数と最大入力可能文字数を示す。(32ページ)
⑤	フリーラベルでのテープ長さを示す。(22ページ)
⑥	フリーラベルでカーソルがあるブロックは何個目かを示す。(37ページ)
⑦	フリーラベルでのレイアウトを示す。(39ページ)
⑧	書体(フォント)が何になっているかを示す。(93ページ)
⑨	縦書きになっていることを示す。(39ページ)
⑩	裏書きになっていることを示す。(41ページ)
⑪	いま見えている画面より上下にも文字などがあることを示す。
⑫	ラベルのレイアウトを示す。(32ページ)
⑬	フリーラベル以外でのテープ長さを示す。(32ページ)
⑭	作成中ラベルの貼付対象、または機能を示す。(32ページ)

# まずは作ってみましょう

準備ができれば、試しに「ラベルの印刷」をしてみましょう。

## ラベルを印刷する

### [印刷例]

営業レポート

1 入 を押して、電源を入れます。

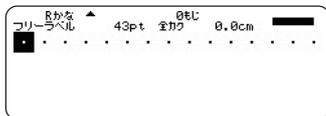


2 ◀ ▶ を押して「新規作成」にし、実行 を押します。



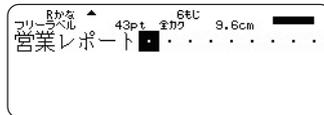
3 ▲ ▼ ◀ ▶ を押して作りたいラベルの種類を選び、実行 を押します。

ここでは「フリーラベル」を選びます。  
 ・フリーラベルで入力できる文字数は、511文字です。



4 文字を入力します。

ここでは「営業レポート」と入力します。



- ・文字の入力方法については、25ページをご覧ください。
- ・ひらがなを漢字に変換したときは、最後に **実行** を押して確定してください。

### ■印刷結果を画面で確認する

印刷する前に、印刷結果を画面で確認することができます。テーブルカードリッジをセットしていないと、印刷結果を画面で確認することはできません。

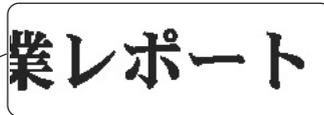
1 印刷プレビュー を押します。

どのように印刷されるのか、そのイメージが画面に流れます



2 じっくりと見たい部分が流れてきたら、実行 を押します。

その部分が止まります



**実行** を押すと、再びプレビュー画面が流れます。

- ・プレビュー表示を中止するときは **取消** を押します。
- ・細い線のある文字や字画の多い漢字は正しくプレビュー表示されない場合があります。

## ■印刷する

作成したラベルは簡単に印刷できます。複数枚を連続して印刷することもできます。また、テープをカットする方法も選ぶことができます。

- ご使用前に、「安全上のご注意」の「オートテープカッターに注意する」(9ページ)を必ずご覧ください。
- ラベルの長さの表示は一応の目安です。ご使用の環境や印刷する内容によっては、実際のラベルの長さとは一致しません。

**重要** 印刷する前に、以下の点にご注意ください。



- 印刷時の注意事項(26ページ)を必ずご覧ください。
- 印刷する前に、「テープカートリッジがセットされていること」、「テープ出口(11ページ)が物でふさがっていないこと」を確認してください。

### 1 文字を入力したら、**実行**を押します。



### 2 **印刷**になっていることを確認して、**実行**を押します。

### 3 **◀▶**を押して、印刷する枚数を指定します。 ここでは「1枚」にします。

- **◀**を押すと数字が減り、**▶**を押すと数字が増えます。
- 数字を直接入力することもできます。一度に、100枚まで指定できます。  
0枚を指定することはできません。

### 4 **✔**を押します。

### 5 **◀▶**を押して、カットモードを指定します。

- ラベル間の台紙を切らずに印刷するときは、「通常」を指定します。
- ラベルごとに切り離すときは、「切り離す」を指定します。
- 自己粘着テープ・布転写テープ・インスタントレタリングテープをセットしているときは、「特殊テープ」を指定します。
- 反射テープ・マグネットテープ・アイロン布テープをセットしているときは、「カットしない」を指定します。  
ここでは「通常」にします。  
カットモードについて詳しくは、26ページをご覧ください。

### 6 **実行**を押します。 印刷が始まります。

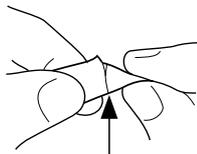
- 印刷を途中でやめるときは、**取消**を押します。

## ラベルを貼る

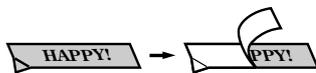
1 必要に応じて、ハサミなどで好きな大きさ・形にします。

2 ラベルの裏をはがして、貼ります。

- ハーフカット部分からはがすと  
ハーフカット部分をゆっくりと  
ひねるようにして、テープを台  
紙からはがします。



- フルカットされたラベルをはがすと  
ラベルの角を折り曲げると、はがしやすくなります。



- ・一度貼ったラベルをはがすと、貼っていた場所にテープのノリが残ることがあります。

**重要** 次のようなものや場所にラベルを貼らないでください。



- ・直射日光や雨が当たるもの
- ・人や動物のからだ
- ・他人の家のへいや電柱など
- ・電子レンジで加熱に使う容器

ラベルが貼りにくいものは…

- ・表面がざらざらしているところ
- ・表面に水や油、ホコリなどがついているところ
- ・特殊なプラスチック材料(シリコン系・PP材など)

## テープを空送りする

印刷する前、した後に、テープを白紙で送ることができます(テープ送り)。



1 **機能** テープ送 **0**と押します。



テープが約23mm送られます。

## テープの余白を「送り無」にしたときは

テープの余白を「送り無」と設定したときは(42ページ)、印刷が終わっても自動的にテープはカットされません。次の手順に従って、テープをカットしてください。

1 **機能** テープカ **9**と押し、テープをカットします。

**重要** テープをカットするときは、本機を傾けないでください。



また、テープを引っばったり、カバーを開けたりしないでください。

## 終了する



- 1 上の画面が表示されているときに $\leftarrow$  $\rightarrow$ を押して**終了**にし、**実行**を2回押します。  
以下の画面に戻ります。



- 「登録」については、69ページをご覧ください。

## 文字の入力について

### ■「営業」を入力します。

ローマ字入力、またはかな入力を選ぶことができます。  
ここでは、ローマ字入力を選びます。(78ページ)

1. **あア**を何回か押して、画面左上に「Rかな」を表示させます。
2. **Eい** **Iい** **Gき** **Yん** **Oる** **Uな**
3. **変換**を何回か押して、「営業」が画面に表示されたら**実行**を押します。

### ■「レポート」を入力します。

1. **あア**を何回か押して、画面左上に「Rカナ」を表示させます。
2. **Rり** **Eい** **Pせ** **Oる** **¥?** **Tか** **Oる**

- 誤った文字を入力したときは、**文字削除** (89ページ)や**後退** (89ページ)を押して、文字を消してから、正しい文字を入力してください。
- 文字入力方法について、詳しくは「入力・編集編」(77ページ)をご覧ください。

## 印刷時の注意事項

印刷するときには以下の点に注意してください。



- 印刷中に、絶対に電源を切らないでください。
- 印刷中に、テープカートリッジ収納部のカバーを絶対に開けないでください(11ページ)。
- 印刷中は、テープ通路付近に触れないでください。オートテープカッターが動くことがあり、けがをする恐れがあります。
- 印刷中に出てきたテープは、「自動的にカットされる」または「印刷が終了する」まで触らないでください。
- 印刷の途中でテープがなくならないように十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなったときは、**[取消]**を押して印刷を中止してください。
- テープ出口のまわりに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープがテープ出口をふさいでしまうと、テープが詰まったり、故障の原因になります。
- 黒い部分の多い文字を印刷したり、連続して印刷すると、プリンターが熱くなり過ぎるのを防止するため“印刷準備中”と表示されて、印刷を一時停止することがあります。プリンターが正常な温度に戻ると自動的に印刷を再開しますので、そのまましばらくお待ちください。
- “印刷準備中”の表示になり、頻繁に印刷が停止する場合は印刷濃度を低く設定してください(110ページ)。
- 1度に印刷されるラベルの長さが極端に長い場合は、印刷できません。ラベルの長さを短くする、または、印刷枚数を減らして、印刷し直してください。

## 印刷とカットモード

### カットモードについて(オートカッター)

複数枚のラベルを印刷するときは、ラベルとラベルの間を自動的に切り離すか切り離さないか選ぶことができます。また、テープによっては、本機のカッターでカットするとカッター部が摩耗し、故障の原因となることがありますので、注意してください。

※下記のテープは特殊なテープです。必ず下表を確認し、「特殊テープ」または「カットしない」に設定して使用してください。

<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自己粘着テープ</li> <li>• 布転写テープ</li> <li>• インスタントレタリングテープ</li> </ul>	特殊テープ
<ul style="list-style-type: none"> <li>• マグネットテープ</li> <li>• 反射テープ</li> <li>• アイロン布テープ</li> </ul>	カットしない

### ■カットのしかたについて

カットのしかたには2つあります。

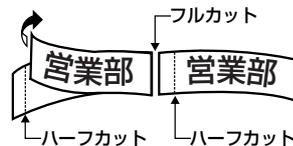
#### ●ハーフカット

台紙はカットせずに、シール部分だけをカットします。はがすときは、ハーフカットした部分からはがしてください。

※「テープ幅の細い3.5mmや6mmテープ」や「薄いメンディングテープ」は、ハーフカットできないことがあります。

#### ●フルカット

台紙もシールもカットします。



## ■4つのカットモード

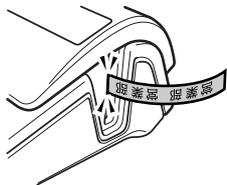
カットモードには4つあります。

- カットモードは、「印刷する」の手順5(23ページ)で設定します。
- 余白の設定によって、カットのしかたと余白部分の長さは異なります。詳しくは「カットのしかたと余白について」(29ページ)をご覧ください。
- 書式で「余白 送り無」に設定したときは、どのカットモードを選択しても、フルカットとハーフカットはされません。(24ページ)
- テープの長さが下記のとときは、テープカットされないことがあります。印刷終了後、ハサミなどで切ってください。

余白小	余白中	余白大
約30mm 以下	約37mm 以下	約47mm 以下

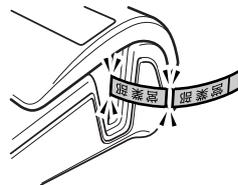
### ●通常

- ラベル間はハーフカットされます。台紙がつながっているので、ラベルがバラバラになることはありません。
- 先頭には余白がつき、はがしやすいようにハーフカットされます。
- すべての印刷が終了すると、フルカットされます。



### ●切り離す

- ラベルごとにフルカットします。  
※2枚以上印刷するとき、カットされたラベルがテープ出口をふさがないようにご注意ください。テープ出口をふさいでしまうと、テープ詰まりや故障の原因となります。
- 各ラベルの先頭には余白がつき、はがしやすいようにハーフカットされています。



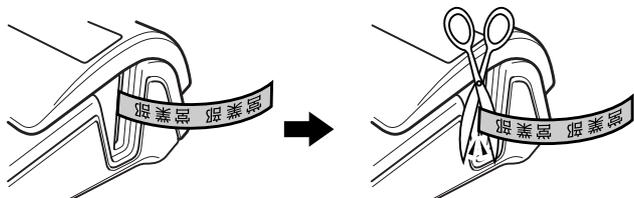
### ●特殊テープ

- 自己粘着テープ・布転写テープ・インスタントレタリングテープに印刷するとき設定します。
- 各ラベルごとにフルカットされます。
- 「余白 小」「余白 中」を設定してあるときは、印刷中に、余分なテープが自動的にフルカットされます。



●カットしない

- ラベル間はカットしません。
- テープをカットするための余白を入れずに印刷できるので、ラベルが節約できます。
- マグネット・反射テープ・アイロン布テープに印刷するときは、必ず「カットしない」に設定してください。
- 印刷終了後、**機能** を押し、指を離してから **0** を押してテープ送りをしたあと、ハサミなどでラベルをカットしてください。



**反射テープ、マグネットテープ、アイロン布テープについて**

反射テープ、マグネットテープ、アイロン布テープは特殊な処理をしてあるテープです。

カットするときは、フルカット/ハーフカットを行わずに、下記の手順に従ってハサミなどをお使いください(アイロン布テープは、必ず、布などを切る裁ちばさみをお使いください)。

なお、本機のフルカット/ハーフカットで**反射テープ**や、**マグネットテープ**、**アイロン布テープ**をカットすると、カッター部分の寿命が短くなり、ハーフカッター部分が破損することがあります。ご注意ください。

- 書式の全文書式で、余白を「送り無」にする(42ページ)  
またはカットモードで「カットしない」にする
- 印刷する
- 機能** **0** と押して、テープ送りをする
- 反射テープ、マグネットテープまたはアイロン布テープを取り出し、ハサミなどを使ってカットする

※ご使用後は、必ず本機から取り出して保管してください。

## カットのしかたと余白について

- ・カットモードと余白の設定によって、カットのしかた(フルカット/ハーフカット)と余白の長さは異なります。
- ・下記の余白の長さは標準値であり、個々の条件によって誤差が生じることがあります。

カットモード		通 常			切り離す			特殊テープ			カットしない		
カットの タイミ ング	余白	部分の 先頭の カット な	ッの1 枚終 了の カ と	トラ印 刷終 了の カ ッの	部分の 先頭の カット な	ッの1 枚終 了の カ と	トラ印 刷終 了の カ ッの	部分の 先頭の カット な	ッの1 枚終 了の カ と	トラ印 刷終 了の カ ッの	部分の 先頭の カット な	ッの1 枚終 了の カ と	トラ印 刷終 了の カ ッの
		余白小	カット	ハーフ カット	ハーフ カット	フル カット	ハーフ カット	フル カット	フル カット	フル カット	フル カット	フル カット	無し
	余白	18mm	3mm	3mm	18mm <sup>※1</sup> 5mm <sup>※2</sup>	3mm	3mm	23mm	3mm	3mm	23mm	3mm	3mm
余白中	カット	ハーフ カット	ハーフ カット	フル カット	ハーフ カット	フル カット	フル カット	フル カット	フル カット	フル カット	無し	無し	無し
	余白	11mm	10mm	10mm	11mm <sup>※1</sup> 5mm <sup>※2</sup>	10mm	10mm	23mm	10mm	10mm	23mm	10mm	10mm
余白大	カット	ハーフ カット	ハーフ カット	フル カット	ハーフ カット	フル カット	フル カット	無し	フル カット	フル カット	無し	無し	無し
	余白	5mm	21mm	21mm	5mm <sup>※1</sup> 5mm <sup>※2</sup>	21mm	21mm	-	21mm	21mm	-	21mm	21mm
送り無	カット	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し	無し
	余白	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1：1枚目の印刷のとき

※2：2枚目以降の印刷のとき

# ラベル作成編

## ラベル作成の流れ

ラベルを印刷するときは、以下の手順で行います。

### ACアダプターの接続

13ページ

購入後、はじめてお使いのときは、メモリーの初期化、日時の設定をしてください(14ページ)。メモリーの初期化をすると本機に記憶されたデータや日時設定が消去されます。必要のないときはメモリーの初期化はしないでください。

### テープカートリッジの取り付け

17ページ

### 自由に入力して作る

フリーラベル  
37ページ  
フリーラベルの編集機能  
37ページ

### 用途に応じて作る

用途別ラベル  
バーコードラベルなど  
31、56ページ

## 操作の流れ

### 1 ラベルの種類を選ぶ

フリーラベル ..... 37ページ  
用途別ラベル ..... 31ページ  
ナンバリング ..... 33ページ  
バーコード ..... 56ページ  
QRコード ..... 59ページ  
拡大印刷 ..... 35ページ  
POPラベル ..... 63ページ  
カレンダーラベル.. 64ページ  
宛名ラベル ..... 66ページ

登録してある  
データ呼び出  
して使うときは  
(69ページ)

前回作成した  
データを使う  
ときは  
(16ページ)

### 2 文字を入力する(78ページ)

### 3 文字を修飾する

書体(フォント)を変える(93ページ)、文字を目立たせる(文字体)  
(96ページ)

ラベルを印刷(23ページ)・登録(69ページ)・終了する

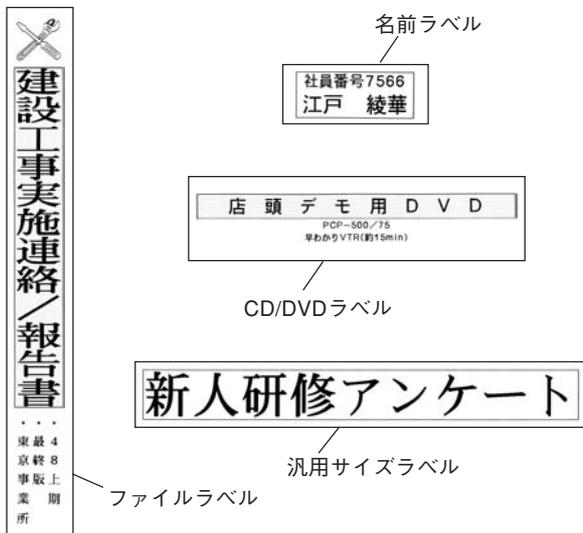
## 用途に応じて作る

# フォーマットを選んで作る(用途別ラベル)

本機には、豊富なラベルのフォーマットが内蔵されており、用途に応じたラベルが簡単に作れます。

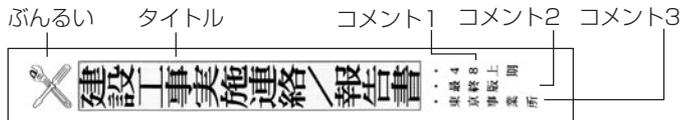
※ここで紹介するラベルは、本機で作成できるラベルの一例です。

### 用途別ラベル



・CD/DVDラベル・名前ラベル・ファイルラベル・汎用サイズラベル(紙の資料や書類ケースなどに適したサイズのラベル)があります。用途に応じて選択してください。

### 【印刷例】



(18mm幅テープ/ファイル/ファイル背(薄)/大3)

重要! 127ページをご覧ください。フォーマットに適した幅のテープカートリッジをセットしてください。

## フォーマットを選ぶ

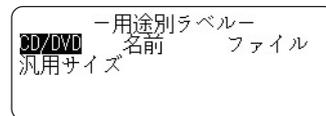
1 (入) を押して、電源を入れます。



2 (左) (右) を押して「新規作成」を選び、(実行) を押します。



3 (上) (下) (左) (右) を押して「用途別」を選び、(実行) を押します。



#### 4 を押して作成するラベルの種類を選び、**実行**を押します。

ここでは「ファイル」を選びます。  
 ここでは「ファイル背(薄)」を選びます。  
 フォーマット選択画面が表示されます。



#### フォーマット選択画面の見方

ここでは、例として、「ファイル背(薄)」の画面を説明します。

ラベルの種類を示します。



ラベルを貼る位置を示します。

対応するテープ幅を示します。

- ⑨⑱……使用できるテープ幅には、○または○が表示されます。
- ⑱……最も適したテープ幅には○が表示されます。
- ✕……使用できないテープ幅には✕がつきます。

#### 5 を押して、「ファイル」ラベルの種類を選び、**実行**を押します。

ここでは「ファイル背(薄)」を選びます。



#### 6 を押してフォーマットを選び、**実行**を押します。

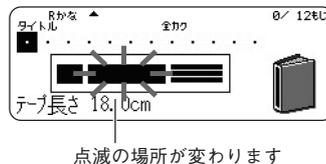
詳しくは「用途別ラベルフォーマット一覧」(127ページ)をご覧ください。

ここでは「大3」を選びます。  
 文字入力画面が表示されます。



#### 7 画面の絵文字を必要に応じて変更し、**実行**を押します。

- 選んだフォーマットの種類や項目によって、絵文字が入力されていたり、入力されていなかったりします。
- 他の絵文字に変えるときは、88ページをご覧ください。



## 8 文字を入力し、**実行**を押します。

ここでは「タイトル」「コメント1」「コメント2」「コメント3」に入力します。

- 枠がつけられるフォーマットの場合は、**機能**を押し指を離してから**43**を押して「装飾」の「文字修飾」に入って、「枠付「あり／なし」のどちらかを選ぶことができます。

これでラベルデータが完成しました。



- ラベルデータを印刷するときは→23ページ
- ラベルデータを登録するときは→69ページ

### 印刷の書式を設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の書式を設定することができます。

- 印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
- 「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する

上記の設定をするには、文字入力中に**機能**を押し、指を離してから**23**を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

## 通し番号のついたラベルを作る(ナンバリング)

ページ番号や通し番号がついたラベルを作る(連番印刷)ことができます。

**重要** 3.5mm幅のテープカートリッジは使用できません。



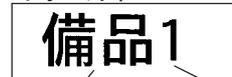
### ナンバリングの種類

#### ・フォーマット1



ナンバー

#### ・フォーマット2



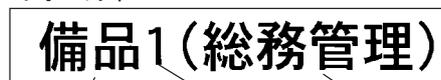
コメント(99文字まで) ナンバー

#### ・フォーマット3



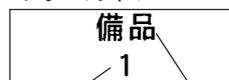
ナンバー コメント(99文字まで)

#### ・フォーマット4



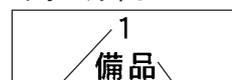
コメント1(99文字まで) ナンバー コメント2(99文字まで)

#### ・フォーマット5



ナンバー コメント(99文字まで)

#### ・フォーマット6



ナンバー コメント(99文字まで)

- 印刷するたびに、「ナンバー」が一つずつ繰り上がっていきます。

## 【印刷例】

備品No.15(総務管理)

備品No.16(総務管理)

備品No.17(総務管理)

「備品No.15(総務管理)」～「備品No.17(総務管理)」のラベルを印刷します。

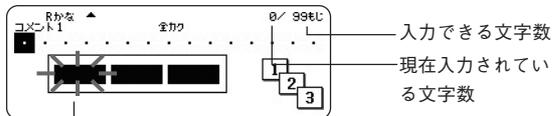
**重要** ナンバリング印刷では、指定枚数分を連続して印刷します。印刷の途中でテープがなくならないように、十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなってしまったときは、**取消**を押して印刷を中止してください。

1 **入**を押して、電源を入れます。

2 **左** **右**を押して「新規作成」を選び、**実行**を押します。

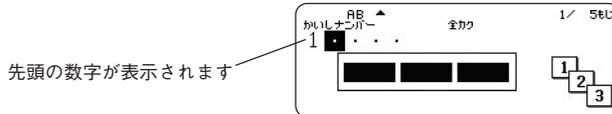
3 **上** **下** **左** **右**を押して「ナンバリング」を選び、**実行**を押します。

4 **左** **右**を押してフォーマットを選び、**実行**を押します。  
ここでは「4」を選びます。



点滅しています  
(この部分の入力ができるという意味です)

5 「コメント1」の文字を入力し、**実行**を押します。  
ここでは「備品」と入力します。



6 ナンバリングの先頭になる数字に変更し、**実行**を押します。  
ここでは、「No.15」～「No.17」のラベルを作るので、「15」を入力します。

- 先頭になる数字を変更するときは、数字を削除して入力し直してください。5桁まで入力できます。

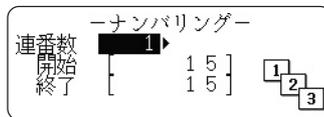
7 「コメント2」の文字を入力し、**実行**を押します。  
ここでは「(総務管理)」と入力します。



8 **上** **下** **左** **右**を押してナンバリングの形を選び、**実行**を押します。

ここでは「No.1」を選びます。

9 **左** **右**で**印刷**を選び、**実行**を押します。



10 数字キー(または◀▶)を押して連番として印刷する枚数を設定し、連番の開始と終了の番号を確認してから[実行]を押します。

ここでは、15、16、17番を印刷するので、「3」を設定します。

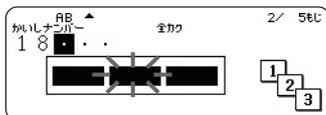
・1~100までを入力できます。



11 ◀▶を押してカットモードを設定し、[実行]を押します。

・カットモードについて詳しくは、26ページをご覧ください。印刷が開始されます。終了すると、右の画面が表示されます。

- ・ナンバー「99999」の次は、「00000」が印刷されます。
- ・「長さオーバー 印刷できません」と表示されたときは120ページをご覧ください。
- ・「長さが短すぎてカットできませんがよろしいですか?」と表示されたときは120ページをご覧ください。
- ・「指定したテープ長より長くなりますがよろしいですか?」と表示されたときは118ページをご覧ください。



表示される番号は、作成するラベルによって異なります。

重要! 指 • テープ出口のまわりに、カットされたテープがたまらないようにしてください。カットされたテープが出口をふさいでしまうと、テープが詰まったり、故障の原因になります。

・ラベルデータを登録するときは→69ページ

### 印刷の書式を設定したい

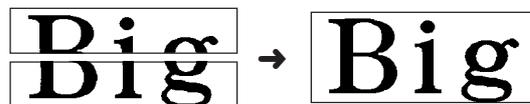
文字の入力中に、お好みで印刷の書式を設定することができます。

- ・ラベルの長さを設定する(3.0~30.0cmの範囲)
- ・印刷方向の「横書き/縦書き」を設定する
- ・「裏書き」印刷の「する/しない」を設定する

上記の設定をするには、文字入力中に[機能]を押し、指を離してから[2]を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

## 大きなラベルを作る(拡大印刷)

本機では、46mm幅のテープまで使用できますが、それよりも大きなラベル(最大184mm幅)も作ることができます。文字を何枚かのテープに分けて印刷し、それを並べて貼って、1枚のラベルにします。



文字を2枚のテープに分けて印刷

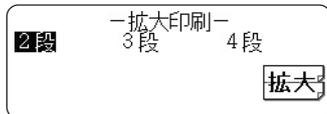
2枚を並べて貼ると、1枚のラベルが完成

重要! 指 36mm幅以上のテープカートリッジをセットしてください。

[印刷例] Big (36mm幅テープ/2段)

- 1 (入) を押して、電源を入れます。
- 2 ◀▶を押して「新規作成」を選び、[実行]を押します。
- 3 (入)(入)◀▶を押して「拡大印刷」を選び、[実行]を押します。

## 4 文字を入力し、**実行**を押します。



## 5 ◀ ▶ を押して拡大する文字の大きさを設定し、**実行**を押します。

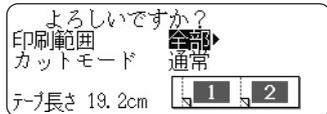
2段とは、「2枚のテープに分けて印刷する」という意味です。

テープ幅	文字の大きさ		
	2段	3段	4段
36mm	72mm	108mm	144mm
46mm	90mm	135mm	180mm

ここでは「2段」を選びます。

## 6 ◀ ▶ で印刷を選び、**実行**を押します。

・拡大印刷では、印刷プレビュー(22ページ)は見る事ができません。



## 7 ◀ ▶ を押して何段目を印刷するかを設定し、**実行**を押します。

ここでは「全部」を選びます。

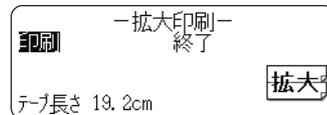
## 8 ◀ ▶ を押してカットモードを設定し、**実行**を押します。

印刷が始まります。

- ・カットモードについて(26ページ)
- ・文字数の多い大きなラベルを印刷する場合、1本のテープですべての段を印刷できない場合があります。テープの残量を確認しながら1段ずつ印刷することをおすすめします。印刷の途中でテープが終了した場合は、**取消し**を押して印刷を終了し、テープを交換した後、再度、印刷操作をしてください。

- ・黒い部分の多い文字を印刷したり、連続して印刷すると、プリンターが熱くなり過ぎるのを防止するため「印刷準備中」の表示になって、印刷を一時停止することがあります。プリンターが正常な温度に戻ると自動的に印刷を再開しますので、そのまましばらくお待ちください。
- ・「印刷準備中」の表示になり、頻繁に印刷が停止する場合は印刷濃度を低く設定してください。

2段目の印刷が終わったら、この画面になります。



テープを2段並べて貼ります

### 印刷の書式を設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の書式を設定することができます。

- ・印刷方向の「横書き／縦書き」を設定する
- ・「裏書き」印刷の「する／しない」を設定する

上記の設定をするには、文字入力中に**機能**を押し、指を離してから $\left(\frac{2.5}{2.3}\right)$ を押して、書式設定画面を表示させ、設定をします。

# 自由に入力して作る(フリーラベル)

ここでは自由に入力してラベルを作る(フリーラベル)方法について説明します。

## フリーラベルを作る

操作を簡単に説明すると、以下のようになります。

- 1 (入) を押して、電源を入れます。
- 2 (←) (→) を押して「新規作成」にし、(実行) を押します。
- 3 (↑) (↓) (←) (→) を押して「フリーラベル」を選び、(実行) を押しません。
- 4 自由に文字を入力します。
  - ・フリーラベルの作り方について詳しくは22ページをご覧ください。

# 文章をブロックに分ける

下の印字例の「営業計画書」「国内営業部 営業第三課」は、それぞれ独立したかたまりです。このかたまりを**ブロック**といいます。ブロックごとに書式や行数を設定することができますので、いろいろなラベルを自由に作ることができます。

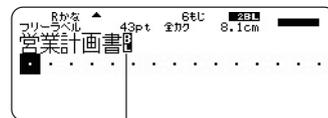
営業計画書 国内営業部  
営業第三課

1つのブロック

1つのブロック  
・2行(38ページ)  
・縦書き(39ページ)

[印刷例] 「営業計画書」「国内営業部 営業第三課」を別々のブロックに分ける

- 1 最初のブロックの文字を入力します。  
ここでは「営業計画書」と入力します。
- 2 (機能) を押し、指を離してから (↩) を押します。  
「営業計画書」が1つのブロックになります。

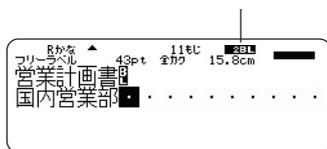


ブロックマーク  
(画面だけの印なので印刷されません)

### 3 次のブロックの文字を入力します。

ここでは「国内営業部」と入力します。

カーソルの位置が何ブロック目にあるかをあらわします



- ブロックマークを消すときは、「」の位置にカーソルを合わせ、「**文字削除**」を押します。
  - ※**後退**を押してもマークを削除することはできません。
- ブロックに分けることができるのは、16個までです。

### 4 続けて文字を入力します。

ここでは「 営業第三課」と入力します。

- 2行のラベルについてはこのページをご覧ください。
- 縦書きの設定については39ページをご覧ください。
- ラベルデータを印刷するときは→23ページ
- ラベルデータを登録するときは→69ページ

文章を完成させたあとでブロックに分けるには文字を入力したあとで、ブロックに分けることもできます。分けたい位置にカーソルを移動させ、「**機能**」を押し、指を離してからを押します。

## 2行以上のラベルを作る

2行以上の文章を含むラベルを作ることができます。  
作れる行数は、セットしてあるテープの幅によって違います。

**重要**  3.5mm幅テープでは、2行以上のラベルは作れません。

テープの幅	最大行数
3.5mm	1行
6mm	2行
9mm	3行
12mm	5行

テープの幅	最大行数
18mm	8行
24mm	10行
36mm	10行
46mm	10行

- テープの幅と行数に合わせて、自動的に文字の大きさは変わります。  
(ジャストフィット印刷)
- 文字の大きさを自由に決めた場合(48ページ)も、文字の大きさは行数に合わせて自動的に変わります。

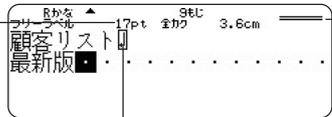
[印刷例] 顧客リスト  
最新版

1 1行目を入力します。  
ここでは「顧客リスト」と入力します。

2 を押します。

### 3 2行目を入力します。 ここでは「最新版」と入力します。

文字の大きさが行数に合わせて自動的に変わります。



改行マークが入ります  
(画面だけの印なので印刷されません)

作っているラベルのレイアウト(イメージャー表示)線の数は行数を表わし、線の太さは文字の大きさをイメージであわします。

- 文字を全部入力した後に、行を変えることもできます。行を変えたい位置で、を押します。
- 改行を取り消すときは、を押してマークを削除します。  
※を押してもマークを削除することはできません。
- イメージャー表示は、行数やサイズの設定によっては「5/8」というような表示になります。これは、「行数は8行で、カーソルが合っているのは5行目」という意味です。
- セットされているテープ幅に合わない行数にすると、「行数オーバー印刷できません」と表示され、印刷することはできません。そのときは行数を減らしてください。
- ラベルデータを印刷するときは→23ページ
- ラベルデータを登録するときは→69ページ

#### こんなラベルを作るには？

[印刷例] ジャストフィット印刷(48ページ)

顧客リスト  
最新版 営業部

顧客リスト最新版  
営業部

[画面例]

顧客リスト  
最新版  
営業部

顧客リスト最新版  
営業部

ブロックマークを入れます  
(37ページ)

文字の大きさを行ごとに決めます  
(51ページ)

## ラベルの書式を決める

ラベルの長さ・文字間隔・文字のバランスなど、ラベルをどのようなルール(書式)で作るのかを決めます。

ブロックごとの書式を決めることもラベル全体の書式を決めることもできます。

### ブロックごとに書式を決める

ブロック(37ページ)ごとに、印刷方向や文字のバランスなどを設定します。

#### ■設定できる内容

ブロック書式では、次のような設定ができます。

方向	文字の向きを横書きにするか、縦書きにするかを決めます。 
文字割付	ブロック中での文字のバランスを決めます。→46ページ参照
文字ピッチ	文字と文字のピッチ(間隔)を決めます。 
ブロック長	ブロックの長さを決めます。→40ページ参照

#### ■設定する

- 文章を入力し、ブロックに分けます。
- 書式を決めるブロックにカーソルを合わせます。  
そのブロック内であれば、カーソルの位置はどこでも構いません。

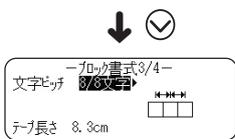
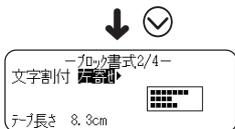
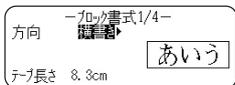
3 **機能** を押し、指を離してから **2** を押します。  
 ブロックが1つだけの場合には手順6に進んでください。このときは、ブロック書式と全文書式が続けて設定できます。

4 **◀ ▶** を押して**ブロック書式**を選び、**実行**を押します。

5 **◀ ▶** を押して**このブロックのみ**を選び、**実行**を押します。  
 ・すべてのブロックを共通の書式にするときは**◀ ▶** を押して**全ブロック**にします。

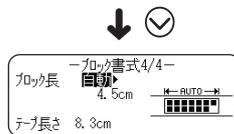
6 各項目を設定します。

- ・ **↑ ↓** を押して設定項目を選びます。
- ・ **◀ ▶** を押して希望の項目を表示させます。



設定項目	内容
方向	文字を縦書きにするか横書きにするかを選ぶ
文字割付	ブロックの中での文字のバランス(左寄せ/均等/中寄せ/右寄せ)を設定する→46ページ参照
文字ピッチ	文字と文字の間隔(8/8~12/8、16/8、24/8文字)を指定する(7段階) (◀ ▶) を押すと間隔が変わり、それに合わせてテープ長さの数値も変わる ※ 「文字割付」を「均等」、「ブロック長」を「固定」とした場合は、文字間隔の指定はできません。

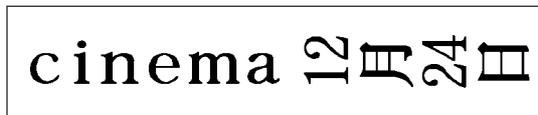
設定項目	内容
ブロック長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自動:文字数に合わせて自動的にブロックの長さを調整する</li> <li>・ ブロックの長さを任意に設定するときは<b>◀ ▶</b> を押して「固定」を選ぶ →43ページ参照</li> </ul>



7 各項目を設定したら、**実行**を押します。

こんなラベルを作るには…

[印刷例]



[画面例]



記号の「12」(グループ=数字) 記号の「24」(グループ=数字)

記号の入力について詳しくは、87ページをご覧ください。

- ① 「12月24日」のブロックにカーソルを合わせる。
- ② **機能** を押し、指を離してから **2** を押して、「ブロック書式」→「このブロックのみ」→「縦書き」とする。

↓  
印刷する

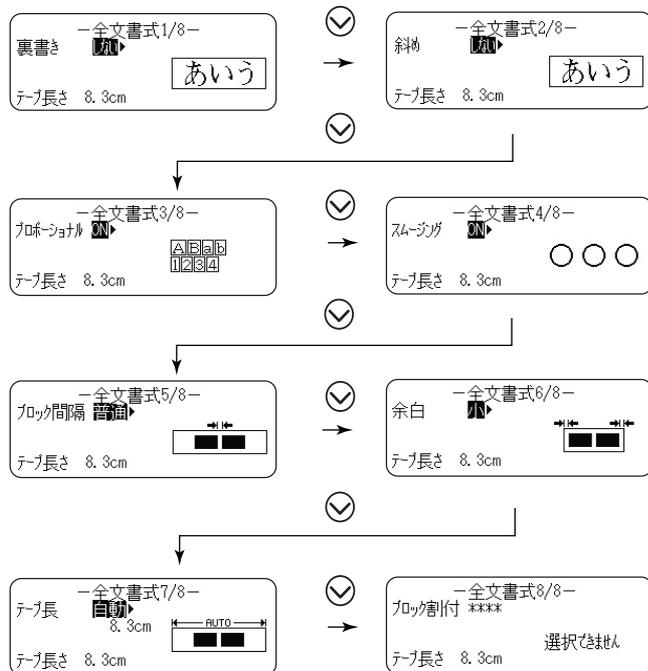


3 (⏪) (⏩) を押して **全文書式** を選び、**実行** を押します。

4 各項目を設定します。

- (⏪) (⏩) を押して設定項目を選びます。
- (⏪) (⏩) を押して希望の項目を表示させます。

設定項目	内容
裏書き	文字を裏書きで印刷するかしないかを選ぶ。裏書きにしないときは「しない」を選ぶ
斜め	文字を斜めに印刷するときは「する」を、斜めに印刷しないときは「しない」を選ぶ
プロポーショナル	ON : アルファベット・数字に適した文字ピッチに調整する OFF : アルファベット・数字の文字ピッチが、かな・漢字まじりの文章に適した文字ピッチになる
スムージング	外字の文字のラインを滑らかにするか、しないかを選ぶ
ブロック間隔	ブロックとブロックの間隔を選ぶ (普通/広い/密着)
余白	ラベルの前後につくスペースの長さを選ぶ (小/送り無/大/中)
テープ長	<ul style="list-style-type: none"> <li>•自動 : 文字数に合わせて自動的にラベルの長さを調節する</li> <li>•ラベル全体の長さを任意に設定するときは、(⏪) (⏩) を押して「固定」を選ぶ → 45ページ</li> </ul>
ブロック割付	ラベル全体に対するブロックの位置を選ぶ → 47ページ ※テープ長さを「固定」にしたときのみ有効 (左寄せ/均等/中寄せ/右寄せ)



5 各項目を設定したら、**実行** を押します。

## 余白について

ラベルの前後につくスペースを余白といいます。  
次の3種類の余白を選べます。



テープの長さが短い(余白小のとき:約30mm、余白中のとき:約37mm、余白大のとき:47mm)場合には、余白カットをしないことがあります。印刷が終わった後で、ハサミなどで余白をカットしてください。



- ・「送り無」と設定し、連続して印刷すると、ラベルとラベルを密着させて印刷することができます。
- ・「送り無」と設定したときは、テープは自動的にカットされません。テープをカットするときは、**機能**を押し、指を離してから**9**を押してください。先頭のラベル余白は、ハサミなどでカットしてください。

## ラベルの長さを自由に決める

ラベルは文字の大きさや文字数に合わせて最適な長さで印刷されます。  
ここではラベルの長さを自由に設定する方法を説明します。

ラベルの長さを決める方法には、次の3つがあります。

- ブロックごとの長さを決めて、ラベルの長さを設定する(ブロック長固定)。
  - ラベル全体の長さを自由に設定する(テープ長固定)。
  - CD/DVDのケース・ファイル用のラベルなど、よく作るラベルの長さを設定する(テープ長さダイレクト設定キー)。
- ・ラベルの長さの表示は一応の目安です。ご使用の環境や印刷する内容によっては、実際のラベルの長さと完全には一致しません。

### ブロックの長さを設定する(ブロック長固定)

ブロック(37ページ)の長さを決めることにより、ラベル全体の長さを決めることができます。

- 1 文字を入力し、ブロックに分けます。
  - ・ブロックの分けかた(37ページ)
- 2 長さを決めるブロックにカーソルを移動します。  
そのブロック内であればカーソルの位置はどこでも構いません。
- 3 **機能**を押し、指を離してから**23**を押します。  
ブロックが1つだけの場合には、手順6に進んでください。
- 4 **◀▶**を押して**ブロック書式**を選び、**実行**を押します。

- 5 ◀ ▶ を押して**このブロックのみ**を選び、**実行**を押します。
- すべてのブロックを共通の書式にするときは ▲ ▼ を押して**全ブロック**にします。

- 6 ▲ ▼ を押して、「ブロック長」を画面に表示させます。



- 7 ◀ ▶ を押して、「ブロック長 **固定**」にします。

- 8 ▼ を押します。



数値が反転します

- 9 数値キー、または ◀ (減) ・ ▶ (増) を押して、ブロックの長さを設定します。

- 直接数字を入力することもできます。
- ブロックの長さを入力されている文字により、次のようになります。



- 10 **実行** を押します。

### イメージャー表示について

「ブロック長 **固定**」を選べると、画面右上のイメージャー表示は次のようになります。

指定通りの長さで印刷できる



指定通りの長さで印刷されるが、文字は横方向に縮まる



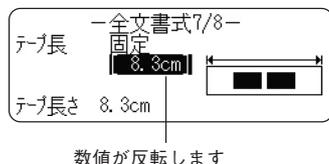
指定の長さより長く印刷される\*



\* 文字が印刷方向に50%縮小されて印刷されます。また、印刷されたテーブルは指定より長くなります。

## ラベル全体の長さを自由に設定する(テープ長固定)

- 1 文字を入力します。
- 2 **機能** を押し、指を離してから **2.5** を押します。  
ブロックが1つだけの場合には、手順4に進んでください。
- 3 **◀ ▶** を押して **全文書式** を選び、**実行** を押します。
- 4 **▲ ▼** を押して、「テープ長」を画面に表示させます。
- 5 **◀ ▶** を押して、「テープ長 **固定**」にし **▼** を押します。



- 6 数値キーまたは **◀** (減) ・ **▶** (増) を押して、ラベルの長さを設定し、**実行** を押します。
  - ・ 直接数字を入力することもできます。
  - ・ 入力されている文字に合わない長さになると、「テープ長固定エラー」となり、次のような表示になります。

[9.5cm]  
↑  
指定通りに印刷

8.2cm]  
↑  
指定したテープ長より長くなって印刷

## CD・DVD用のラベルなどを簡単に設定する(テープ長さダイレクト設定キー)

テープ長さダイレクト設定キーを使えば、CD、DVD用のラベルなど、よく作成するラベルの長さを簡単に設定できます(ダイレクト設定)。また、同じ長さを簡単に設定できるので、長さのそろった複数のラベルも簡単に作成できます。

長さを設定  
しないとき

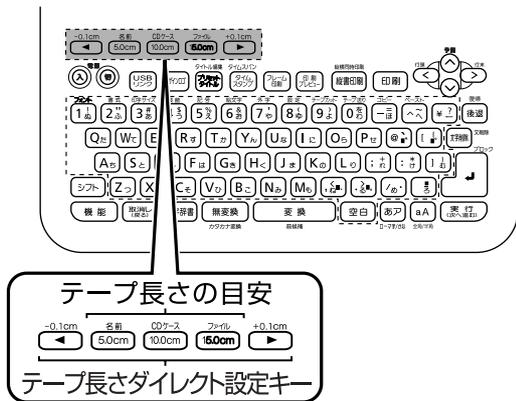


- 重要!**  ・ブロックを使っているときは、ラベルの長さの設定は、書式の「テープ長」「ブロック長」で行ってください。  
テープ長さダイレクト設定キーで設定すると、設定した値よりも長くなる場合があります。
- ・テープ長さダイレクト設定キーで設定した長さは、テープ長固定と連動します。また、テープ長さダイレクト設定キーで設定すると、「ブロック長：固定」「文字割付：均等」「ブロック割付：均等」に設定されます(ブロック長が固定されるのは、ブロックが1つのときだけです)。
  - ・フリーラベル以外では、テープ長さダイレクト設定キーは無効となります。
  - ・使用するテープカートリッジの幅や種類によって、テープ長さに誤差が生じる場合があります。

## 設定できる長さ

テープ長さダイレクト設定キー	適したもの
15.0cm	ペーパーファイル・バインダーなど
10.0cm	CDケース、DVDケースなど
5.0cm	名前シールなど

※1mm単位で長さを調整することもできます。



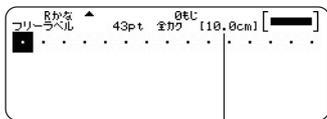
## 設定する

【例】 CD・DVDケース用のラベルの長さを設定する

1 **10.0cm**を押します。

**▶**を押すと長くなり、**◀**を押すと短くなります。

・文字入力とはラベルの長さを設定する前でも設定した後でもかまいません。



長さが10.0cmに変わります。

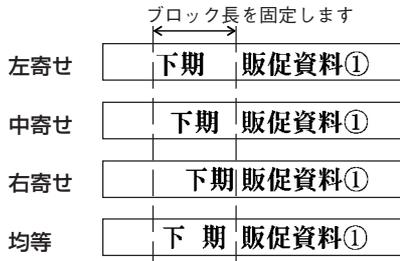
## 文章のバランスを整える(割付)

文字や文章のバランスを整えることができます。

## ブロック内で文字のバランスを整える

ブロック内での文字のバランスを選ぶことができます。

【例】 「下期」のバランスを整えます。



1 文字を入力し、ブロックに分けます。

・ブロックの分けかた(37ページ)

2 割付の対象になるブロックにカーソルを合わせ、**機能**を押し、指を離してから**2%**を押します。

ここでは「下期」にカーソルを合わせます。  
ブロックが1つだけの場合には、手順5に進んでください。

3 **◀▶**を押して**ブロック書式**を選び、**実行**を押します。

4 **◀▶**を押して**このブロックのみ**を選び、**実行**を押します。

5 を押して「文字割付」の設定画面にします。



6 を押して、割付の種類を表示させます。

を押すたびに、**均等** **中寄せ** **右寄せ** **左寄せ** と割付の種類が変わります。

7 を押して、「ブロック長」を画面に表示させます。

8 を押して「ブロック長 **固定**」にし、 を押します。



9 数値キー、または (減)・ (増) を押して、元のブロック長より長い数値にし、**実行** を押します。

2行以上の文章のときは、「ブロック長 自動」を選んで、割付することができます。そのときは次のように文字数の少ない方が割付の対象になります。

左寄せ

下期  
販促資料①

中寄せ

下期  
販促資料①

右寄せ

下期  
販促資料①

均等

下期  
販促資料①

## ラベル内のブロックのバランスを整える

ラベル全体に対しての、ブロックのバランスを選びます。

左寄せ  開発部  
食品課 **江藤まこと**

均等  開発部  
食品課 **江藤まこと**

中寄せ  開発部  
食品課 **江藤まこと**

右寄せ  開発部  
食品課 **江藤まこと**

**重要** ブロックの割付は、「テープ長 固定」と設定されているときのみ有効です。

1 文字を入力し、ブロックに分けます。

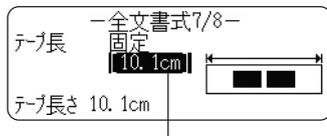
・ブロックの分けかた(37ページ)

2 **機能** を押し、指を離してから を押します。  
ブロックが1つだけの場合には、手順4に進みます。

3 を押して**全文書式**を選び、**実行**を押します。

4 を押して、「テープ長」を画面に表示させます。

5 を押して、「テープ長 固定」にし、 を押します。



数値が反転します

6 数値キー、または (減)・ (増) を押して、希望の数字(ラベルの長さ)にします。  
元の長さより長い数値にします。

7 を押して、「ブロック割付」の設定画面にします。



8 を押して、希望の割付の種類を表示させ、 を押します。  
 を押すたびに、**均等** **中寄せ** **右寄せ** **左寄せ** と割付の種類が変わります。

## 文字の大きさを決める

ラベルを作ると、最適な文字サイズで印刷されます。これは、セットされているテープの幅と文章の行数に合わせて、最適な文字サイズを自動的に設定しているためです(ジャストフィット印刷)。

ここではジャストフィット印刷ではなく、文字の大きさを選択して決める方法を説明します。

●文字の大きさは、次の2つの方法で決めることができます。

- 文字単位で大きさを決める
- 行単位で大きさを決める

**重要** 「34pt(12mm)」などの「mm」はおおよその大きさです。文字によってはこの大きさよりも小さくなる場合がありますのでご注意ください。

### 文字単位で大きさを決める

「ポイント」と「倍率」を変更することができます。

① ポイント

15段階で指定できます。

あ  
6pt  
(2mm)

あ  
9pt  
(3mm)

あ  
12pt  
(4mm)

あ  
14pt  
(5mm)

あ  
17pt  
(6mm)

あ  
20pt  
(7mm)

あ  
26pt  
(9mm)

あ  
34pt  
(12mm)

あ  
43pt  
(15mm)

あ あ あ

51pt  
(18mm)

59pt  
(21mm)

68pt  
(24mm)

あ あ

85pt  
(30mm)

102pt  
(36mm)

あ

119pt  
(42mm)

② 倍率

下付 上付 半角

あ あ あ

3/4倍角 全角

あ あ

1.5倍 倍角

あ あ

①と②は、重ねて指定できます。

**重要** 「下付」「上付」「半角」は、ひらがな・カタカナ・アルファベット・数字・記号の一部のみが対象になります。

上付

議事録※1

下付

167センチ

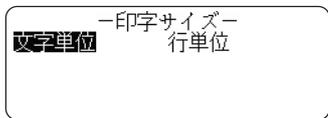
【例】 「終日禁煙」の「終日」を12pt、1.5倍にする

文字の大きさ 12pt 1.5倍角 ジャストフィット印刷



1 文字を入力します。

2 **機能** を押し、指を離してから **3** を押します。  
「ポイント変更できません」と表示されたときは、5へ進みます。



3 **◀▶** を押して **文字単位** を選び、**実行** を押します。



4 **◀▶** を押して変更したいポイントを選び、**✔** を押します。  
ここでは「12pt(4mm)」を選択します。  
変更しない場合は、「変更しない」を選択するか、何も選択せずに **◀▶** を押します。

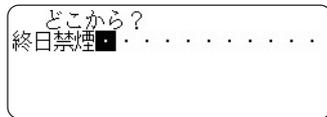
・変更の必要がない項目では、そのまま **◀▶** を押すと、「変更しない」に設定されます。

この場合、サイズマークは表示されません。

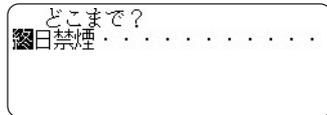
・文字サイズを小さくすると、文字によっては読みにくくなる場合があります。

5 **◀▶** を押して変更したい倍率を選び、**実行** を押します。  
ここでは「□1.5倍」を選択します。

・変更の必要がない項目では、そのまま **◀▶** を押すと、「変更しない」に設定されます。

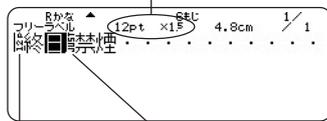


6 **◀▶** を押して大きさを変える最初の文字にカーソルを合わせ、**実行** を押します。  
ここでは「終」を指定します。



7 **◀▶** を押して大きさを変える最後の文字を選び、**実行** を押します。  
ここでは **終日** にします。

カーソルがある文字の大きさ



サイズマーク  
(印刷される文字の大きさ)

ジャストフィットマーク  
(このマーク以降の文字はジャストフィット印刷されます。)

## 行単位で大きさを決める(フォーマット選択)

行単位で文字サイズを設定するときは、下のフォーマットから選びます。

- 文章の行数とセットされているテーブルトリッジの幅によっては、異なるフォーマットを選んでも印刷結果が同じになることがあります。

行数	フォーマット	46mm幅	36mm幅	24mm幅	18mm幅	12mm幅	9mm幅
1行	A	17pt	14pt	9pt	9pt	9pt	9pt
	B	34pt	26pt	17pt	17pt	17pt	17pt
	C	51pt	34pt	26pt	26pt	26pt	17pt
	D	68pt	51pt	34pt	34pt	26pt	17pt
	E	85pt	59pt	43pt	43pt	26pt	17pt
	F	102pt	68pt	51pt	43pt	26pt	17pt
	G	119pt	85pt	59pt	43pt	26pt	17pt
2行	A	43pt	34pt	20pt	17pt	12pt	6pt
	B	43pt	34pt	20pt	17pt	12pt	6pt
	C	26pt	17pt	9pt	9pt	9pt	6pt
	D	26pt	17pt	9pt	9pt	9pt	6pt
	E	17pt	14pt	9pt	9pt	9pt	6pt
	F	34pt	26pt	17pt	17pt	12pt	12pt
	G	34pt	26pt	17pt	17pt	12pt	12pt
	H	17pt	14pt	9pt	9pt	9pt	6pt
	E	26pt	17pt	14pt	14pt	9pt	6pt
	F	43pt	34pt	20pt	20pt	14pt	12pt
	G	43pt	34pt	20pt	20pt	14pt	12pt
	H	34pt	26pt	17pt	14pt	9pt	6pt
	A	51pt	43pt	26pt	20pt	14pt	12pt
	B	51pt	43pt	26pt	20pt	14pt	12pt
	C	51pt	43pt	26pt	20pt	14pt	12pt
	D	51pt	43pt	26pt	20pt	14pt	12pt
	E	51pt	43pt	26pt	20pt	14pt	12pt
	F	51pt	43pt	26pt	20pt	14pt	12pt
	G	51pt	43pt	26pt	20pt	14pt	12pt
	H	34pt	26pt	17pt	14pt	9pt	6pt

### ポイントの指定を取り消すには

⬆️⬇️⬅️➡️を押して、取り消したいサイズマークにカーソルを合わせて **文字削除** を押します。

### 倍率の指定を取り消すには

手順5で、⬅️➡️を押して **■全角** を選び、**実行** を押します。

### サイズマーク・ジャストフィットマークについて

画面だけに表示され、印刷されません。

### 縦書きと横書きでは印刷結果が異なることがあります

例えば、倍角の場合、横書きでは横長に、縦書きでは縦長に印刷されます。

### 「行単位で大きさを決める」が指定されている場合には

さらに「文字単位で大きさを決める」の倍率のみを変更することができます。この場合、ポイントを「変更しない」に設定してください。

### フリーラベル以外でも倍率を変更できます

- 変更できる機能  
用途別、ナンバリング、バーコード(コメントのみ)、QRコード(コメントのみ)、POP、拡大、宛名(郵便番号以外)
- 変更できるサイズ  
倍率(全角、3/4倍角、半角、上付、下付)のみ  
※1.5倍角、倍角には変更できません。  
※「拡大」では、上付、下付には変更できません。  
※「宛名」では、3/4倍角には変更できません。  
※ポイントは変更できません。

行数	フォーマット	46mm幅	36mm幅	24mm幅	18mm幅	12mm幅	9mm幅
3行	A	26pt 26pt 26pt	20pt 20pt 20pt	14pt 14pt 14pt	12pt 12pt 12pt	6pt 6pt 6pt	6pt 6pt 6pt
	B	17pt 17pt 17pt	14pt 14pt 14pt	9pt 9pt 9pt	9pt 9pt 9pt	6pt 6pt 6pt	6pt 6pt 6pt
	C	17pt 17pt 34pt	14pt 14pt 26pt	9pt 9pt 17pt	9pt 9pt 17pt	6pt 6pt 12pt	6pt 6pt 6pt
	D	17pt 34pt 17pt	14pt 26pt 14pt	9pt 17pt 9pt	9pt 17pt 9pt	6pt 12pt 6pt	6pt 6pt 6pt
	E	34pt 17pt 17pt	26pt 14pt 14pt	17pt 9pt 9pt	17pt 9pt 9pt	12pt 6pt 6pt	6pt 6pt 6pt
	F	17pt 34pt 34pt	17pt 26pt 26pt	9pt 17pt 17pt	9pt 14pt 14pt	6pt 9pt 9pt	6pt 6pt 6pt
	G	34pt 17pt 34pt	26pt 17pt 26pt	17pt 9pt 17pt	14pt 9pt 14pt	9pt 6pt 9pt	6pt 6pt 6pt
	H	34pt 34pt 17pt	26pt 26pt 17pt	17pt 17pt 9pt	14pt 14pt 9pt	9pt 9pt 6pt	6pt 6pt 6pt
	I	20pt 20pt 43pt	17pt 17pt 34pt	12pt 12pt 20pt	9pt 9pt 17pt	6pt 6pt 14pt	6pt 6pt 6pt
	J	20pt 43pt 20pt	17pt 34pt 17pt	12pt 20pt 12pt	9pt 17pt 9pt	6pt 14pt 6pt	6pt 6pt 6pt
	K	43pt 20pt 20pt	34pt 17pt 17pt	20pt 12pt 12pt	17pt 9pt 9pt	14pt 6pt 6pt	6pt 6pt 6pt

行数	フォーマット	46mm幅	36mm幅	24mm幅	18mm幅	12mm幅	9mm幅
4行	A	20pt 20pt 20pt 20pt	17pt 17pt 17pt 17pt	12pt 12pt 12pt 12pt	9pt 9pt 9pt 9pt	6pt 6pt 6pt 6pt	6pt 6pt 6pt 6pt
	B	17pt 17pt 17pt 34pt	14pt 14pt 14pt 26pt	9pt 9pt 9pt 17pt	9pt 9pt 9pt 17pt	6pt 6pt 6pt 9pt	6pt 6pt 6pt 9pt
	C	17pt 17pt 34pt 17pt	14pt 14pt 26pt 14pt	9pt 9pt 17pt 9pt	9pt 9pt 17pt 9pt	6pt 6pt 9pt 9pt	6pt 6pt 9pt 6pt
	D	17pt 34pt 17pt 17pt	14pt 26pt 14pt 14pt	9pt 17pt 9pt 9pt	9pt 17pt 9pt 9pt	6pt 9pt 6pt 6pt	6pt 9pt 6pt 6pt
	E	34pt 17pt 17pt 17pt	26pt 14pt 14pt 14pt	17pt 9pt 9pt 9pt	17pt 9pt 9pt 9pt	9pt 6pt 6pt 6pt	9pt 6pt 6pt 6pt

※フレーム印刷時は、小さくなります。



- 表にないテープ幅や行数のときは行単位で大きさを決めることはできません。
- 文字単位で印字サイズを設定した後では、行単位で設定できません。

[例] 営業2課  
西東京地区 1行目：1.7倍(14pt) (2行・フォーマットE)  
2行目：2.3倍(20pt) (18mm幅テープ)

1 文字を入力します。

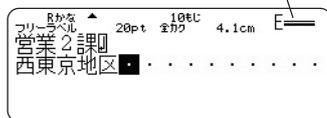
2  を押し、指を離してから  を押します。

3   を押して **行単位** を選び、 を押します。



4     を押してフォーマットを選び、 を押しま  
す。

選んだフォーマット



次の場合、行単位の文字サイズの設定は解除されます。

- ・行数を変更したとき
- ・文字単位で文字の大きさを指定したとき(48ページ)

### 小さな文字について

6ptの文字、9ptおよび12ptの上付/下付の文字では、次のようになります。

- ・フォントの設定は、無効です(すべて同じフォントで印刷されます)。
- ・文字体の設定は、無効です(「標準」になります)。
- ・プロポーショナルの設定は、無効です(OFFになります)。
- ・文字修飾では、枠や下線が文字と重なります。
- ・絵文字や外字の場合は、きれいに印刷できないことがあります。

# フレームをつける

フリーラベルの文章にいろいろなフレームをつけることができます。  
フレームの一覧は126ページをご覧ください。

**重要** 3.5mm幅テープにフレームをつけることはできません。



【印刷例】



(18mm幅テープ/フレーム番号=52)

**1** 文字を入力します。

**2** を押します。

**3** を押して使うフレームを選び、 を押し  
ます。  
ここでは を選びます。

**4** で を選び、 を押します。

**重要** フレーム印刷では、テープの長さ設定(43ページ)をしても、設定した長さより長くなる場合があります。



**5** 数字キー(または )を押して印刷枚数を設定し を押し  
ます。  
1~100枚まで設定できます。

**6** を押してカットモードを設定し を押します。  
印刷が開始されます。  
・カットモードについて(26ページ)  
・書式で「斜め する」と設定してあっても、フレームつき印刷では  
標準で印刷されます。  
・「文字修飾」の「枠付」の指定は無効になります。

## フレーム印刷できる行数

テープ幅によって、フレーム印刷できる行数は異なります。

テープ幅	フレーム印刷できる行数
3.5mm	—
6mm	1行以内
9mm	2行以内
12mm	4行以内

テープ幅	フレーム印刷できる行数
18mm	6行以内
24mm	8行以内
36mm	10行以内
46mm	10行以内

# 縦書きのラベルを作る

フリーラベルの入力中、または入力後の確認画面(23ページ「印刷する」の手順1の画面)表示中に<sup>縦書印刷</sup>を押すだけで、簡単に縦書きのラベルを印刷することができます。また、縦書きと横書きのラベルを一度に印刷することもできます。

縦書印刷

資料ファイル

縦横同時印刷

資料ファイル 資料ファイル

縦書き(1枚目)、横書き(2枚目)がセットで印刷されます。

- フリーラベル以外では、<sup>縦書印刷</sup>や<sup>機能</sup>は無効となります。フリーラベル以外で縦書きのラベルを作成するときは、<sup>機能</sup>を押し、指を離してから<sup>23</sup>を押して、書式設定画面を表示させ、印刷方向の「縦書き」を設定してください。

1 文字を入力します。

2 <sup>縦書印刷</sup>を押します。

縦書きと横書きのラベルを一度に印刷するときは、<sup>機能</sup>を押し、指を離してから<sup>縦横同時印刷</sup>を押します。

3 数字キー(または<sup>◀ ▶</sup>)を押して印刷枚数を設定し、<sup>✓</sup>を押します。

1~100枚まで設定できます。

- ブロック書式(39ページ)で、縦書きと横書きを混在した文章を作成した場合は<sup>縦書印刷</sup>で印刷すると、すべて縦書きになります。また、<sup>縦横同時印刷</sup>で印刷すると、すべて縦書きと横書きになります。

4 <sup>◀ ▶</sup>を押してカットモードを設定し、<sup>実行</sup>を押します。印刷が開始されます。

- カットモードについて(26ページ)

**重要!** 印刷するときは、26ページの注意事項をご覧ください。

■「平成27年9月」、「15年9月」などのラベルの作り方

[印刷例]

平成27年の月

- 「27」や「15」などは、記号一覧(123ページ)の記号を使用すると、簡単に上の例のようなラベルを作ることができます。記号の入力方法については、87ページをご覧ください。
- 現在の日付や時刻を入力するタイムスタンプ機能や、有効期限などの将来の日付や時刻を入力するタイムスパン機能を使用した場合には、そのまま縦書きで印刷するだけで上の例のようなラベルを簡単に作ることができます。
- タイムスタンプ(101ページ)
- タイムスパン(102ページ)

# バーコードラベルを作る

バーコードラベルを作ることができます。

## バーコードのタイプ

### (1) EAN系

JAN-13(日本)/EAN-13(ヨーロッパ)

JAN-8(日本)/EAN-8(ヨーロッパ)

UPC-A(アメリカ)

UPC-E(アメリカ)

### (2) ITF

### (3) CODE39

### (4) CODABAR(NW-7)

- 重要**
- 12mm幅以上のテープカートリッジを使用してください。
  - バーコードの上部にコメントをつけることができます(60文字まで)。
  - 印刷したバーコードは、正確に読み取れるかどうかを確認してからご使用ください。正確に読み取れないときは、以下の調節をしてください。

印刷濃度を薄くする(110ページ)

大きく印刷する(57ページの手順7で設定)

カットモードを「特殊テープ」または「カットしない」にする(26ページ)

- バーコードラベルに適したテープは、次のとおりです。

- 白テープに黒文字(WE)
- 白テープに青文字(WEB)
- 黄色テープに黒文字(YW)

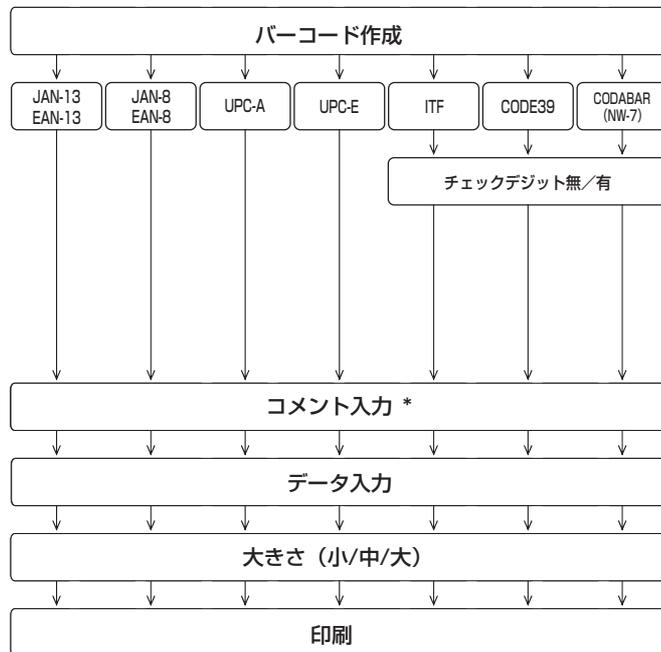
※( )内はテープの型番です。

[印刷例]



(18mm幅のテープカートリッジを使用)

## ■バーコードラベル作成の流れ



\* コメントを入力しないときは、そのまま **実行** を押して次に進んでください。

1 (入) を押して、電源を入れます。

2 (左) (右) を押して「新規作成」を選び、(実行) を押します。

3 (上) (下) (左) (右) を押して「バーコード」を選び、(実行) を押します。



4 (上) (下) (左) (右) を押してバーコードのタイプを選び、(実行) を押します。

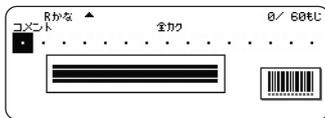
ここでは「JAN-13」を選びます。

- バーコードタイプをITF、CODE39、CODABAR としたときは、この後にチェックデジットの有無を選び、(実行) を押します。

5 コメント(0～60文字)を入力し、(実行) を押します。

ここでは「XR-18WE」と入力します。

- コメントを入力しない場合は、そのまま(実行) を押します。



6 データ(12桁の数字)を入力し、(実行) を押します。

ここでは「497185012319」と入力します。

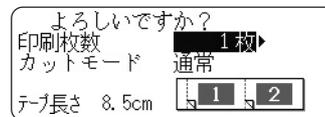
7 (左) (右) を押してバーコードラベルの大きさを選び、(実行) を押します。

ここでは「中」を選びます。

- 大きくするほどテープの長さは長くなります。



8 (左) (右) を押して印刷を選び、(実行) を押します。



9 数字キー(または(左) (右))を押して印刷枚数を設定し、(下) を押します。

1～100枚まで設定できます。

10 (左) (右) を押してカットモードを設定し、(実行) を押します。

印刷が開始されます。

- カットモードについて(26ページ)
- ラベルデータを登録するときは(69ページ)

## バーコードの仕様

バーコード	チェック デジット ※1	印刷される 桁数 ※3	入力する 桁数 ※4	自動的につく桁数		入力文字種 ※8
					チェック デジット※1	
JAN-13 EAN-13	有	13桁	12桁	—	1桁	数字0～9
JAN-8 EAN-8	有	8桁	7桁	—	1桁	数字0～9
UPC-A	有	12桁	11桁	—	1桁	数字0～9
UPC-E	(有)※2	6桁	6桁	—	—	数字0～9
ITF	無	4～22桁	4～22桁 偶数のみ ※5	—	—	数字0～9
	有	4～22桁	3～21桁 奇数のみ ※6	—	1桁	
CODE39	無	4～22桁	2～20桁	2桁※7	—	数字0～9 アルファベット A～Z
	有	4～22桁	1～19桁	2桁※7	1桁	記号 「-」「.」「空白」 「\$」「/」「+」「%」
CODABAR (NW-7)	無	4～22桁	4～22桁	—	—	数字0～9 記号 「-」「\$」「:」 「/」「.」「+」
	有	4～22桁	3～21桁	—	1桁	アルファベット (先頭、末尾のみ)※9 A～D

- ※1 「チェックデジット」とは読み取り確認コードのことで、入力データより自動的に計算されます。JAN/EAN-13・JAN/EAN-8・UPC-A・ITFの“有”においては、印刷される桁数の末尾に付きます。また、CODE39の“有”・CODABARの“有”においては、印刷される桁数の末尾の1桁前に付きます。
- ※2 UPC-Eのチェックデジットの表示はされますが、バーコード下に数字として印刷されることはありません。
- ※3 バーコード下に印刷される桁数は「入力する文字数+自動的につく文字数」となります。
- ※4 この桁数に満たないときは、エラーメッセージが表示され、印刷ができません。また、この桁数以上の桁数を入力することもできません。
- ※5～6 ITFは印刷される桁数が偶数でなければならないので、以下のようになります。
- ※5 ITFのチェックデジット“無”で、入力する桁数が奇数のときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。先頭に“0”を付けて、もういちど入力し直してください。
- ※6 ITFのチェックデジット“有”で、入力する桁数が偶数のときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。先頭に“0”を付けて、もういちど入力し直してください。
- ※7 CODE39では、スタートコード(先頭)“\*”・ストップコード(末尾)“\*”が固定されます。
- ※8 この文字種以外の文字が含まれて入力されているときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。
- ※9 CODABARでは、スタートコード(先頭)・ストップコード(末尾)は、“A・B・C・D”のいずれかを使用します。また、先頭もしくは末尾に“A・B・C・D”以外の文字が入力されているときは、エラーメッセージが表示され印刷ができません。

# QRコードラベルを作る

QRコードラベルを作ることができます。

QRコードとは、2次元コードの1種です。携帯電話に名前、電話番号、URLなどを読み取らせるなどの使い方があります。本機では株式会社NTTドコモの携帯電話(QRコードに対応した機種)で読み取りや登録ができる形式でラベルに印刷されます。QRコードの読み取りや登録については、お使いの携帯電話の取扱説明書などをご覧ください。

## 印刷できるQRコードのタイプ

- 1 電話帳(NTTドコモ電話帳登録)
- 2 ブックマーク(NTTドコモブックマーク登録)
- 3 フリーテキスト



- ・18mm～46mm幅のテープカートリッジを使用してください。
- ・本機で印刷するQRコードはモデル2に対応しています。モデル1には対応していません。
- ・本機で印刷するQRコードは誤り訂正レベルがM(15%)となります。
- ・印刷したQRコードは、正確に読み取れるかどうかを確認してからご使用ください。正確に読み取れないときは、以下の調節をしてください。  
印刷濃度を薄くする(110ページ)
- ・QRコードラベルに適したテープは、次のとおりです。
  - 白テープに黒文字(WE)
  - 白テープに青文字(WEB)
 ※ ( )内はテープの型番です。
- ・QRコードを大量に連続印刷すると、正確に読み取れない場合があります。

- ・ラベルを縦書きにしても、QRコードは回転しません。
- ・電話帳のフリガナ項目でカタカナの濁音文字、半濁音文字は、QRコード印刷時に清音と濁点、半濁点の2文字に変換されます。変換後の各サイズでのフリガナ項目の文字数までがQRコードに印刷されます。

例：「バ」 → 「ハ」「ヴ」

「パ」 → 「ハ」「°」

- ・電話帳のフリガナ項目で「ワ、ヰ、エ、カ、ケ」は、QRコード印刷時に以下のように変換されます。

「ワ」 → 「ワ」

「ヰ」 → 「イ」

「エ」 → 「エ」

「カ」 → 「カ」

「ケ」 → 「ケ」

- ・入力する文字列に「¥」「:」「;」「,」がある場合、携帯電話で読み取るときの制御文字の関係で、それぞれ以下のように2文字に変換されてQRコードで印刷されます。

- 電話帳の「フリガナ」の項目

「¥」 → 「¥¥」

「:」 → 「¥:」

「;」 → 「¥;」

「,」 → 「¥,」

- 電話帳の「E-mail」の項目

「¥」 → 「¥¥」

「:」 → 「¥:」

「;」 → 「¥;」

- ブックマークの「URL」の項目

「¥」 → 「¥¥」

「:」 → 「¥:」

「;」 → 「¥;」

上記の制御文字の関係で「QRコード印刷の詳細仕様」(60ページ)の入力可能文字数を下回る数の文字を入力しても、すべての文字がQRコードで印刷されないことがあります。QRコードで印刷された文字だけを携帯電話で読み取ることができます。

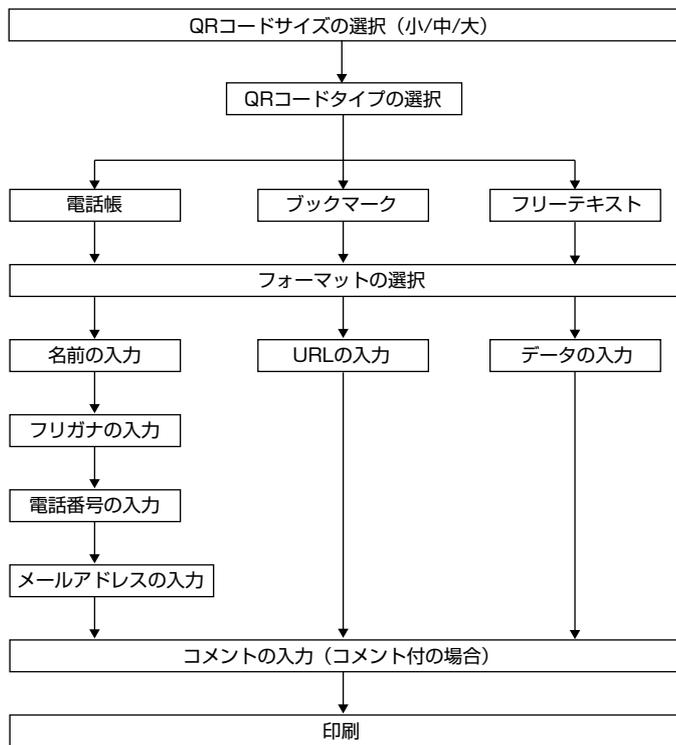
## ■QRコード印刷の詳細仕様

サイズ	タイプ	フォーマット	文字印刷	入力項目	文字数
「小」	電話帳	1.QRコードのみ	なし	名前	6
				フリガナ	4
				TEL	12
				E-mail	30
		2.データ付	4行	名前	6
				フリガナ	4
				TEL	12
				E-mail	30
		3.コメント付	1行	名前	6
				フリガナ	4
				TEL	12
				E-mail	30
			コメント	32	
			URL	74	
			コメント	32	
	ブックマーク	1.QRコードのみ	なし	URL	74
		2.データ付	1行	URL	74
		3.コメント付	1行	URL	74
	フリーテキスト	1.QRコードのみ	なし	データ	52
				データ	52
2.データ1行付		1行	データ1	26	
			データ2	26	
3.データ2行付		2行	データ	52	
			コメント	32	
4.コメント1行付		1行	データ	52	
			コメント1	32	
5.コメント2行付		2行	データ	52	
	コメント1		32		
	コメント2		32		

サイズ	タイプ	フォーマット	文字印刷	入力項目	文字数
「中」	電話帳	1.QRコードのみ	なし	名前	20
				フリガナ	20
				TEL	20
				E-mail	55
		2.データ付	4行	名前	20
				フリガナ	20
				TEL	20
				E-mail	55
		3.コメント付	1行	名前	20
				フリガナ	20
				TEL	20
				E-mail	55
			コメント	32	
			URL	142	
			コメント	32	
	ブックマーク	1.QRコードのみ	なし	URL	142
		2.データ付	1行	URL	142
		3.コメント付	1行	URL	142
	フリーテキスト	1.QRコードのみ	なし	データ	93
				データ	93
2.データ1行付		1行	データ1	31	
			データ2	31	
			データ3	31	
3.データ3行付		3行	データ	93	
			コメント	32	
4.コメント1行付		1行	データ	93	
			コメント	32	
5.コメント3行付		3行	データ	93	
			コメント1	32	
	コメント2		32		
			コメント3	32	

サイズ	タイプ	フォーマット	文字印刷	入力項目	文字数
「大」	電話帳	1.QRコードのみ	なし	名前	32
				フリガナ	32
				TEL	26
				E-mail	80
		2.データ付	4行	名前	32
				フリガナ	32
				TEL	26
				E-mail	80
				コメント	32
	3.コメント付	1行	名前	32	
			フリガナ	32	
			TEL	26	
			E-mail	80	
			コメント	32	
	ブックマーク	1.QRコードのみ	なし	URL	202
		2.データ付	1行	URL	202
		3.コメント付	1行	URL コメント	202 32
	フリーテキスト	1.QRコードのみ	なし	データ	131
		2.データ1行付	1行	データ	131
3.データ4行付		4行	データ1	32	
			データ2	32	
			データ3	32	
			データ4	32	
4.コメント1行付		1行	データ コメント	131 32	
5.コメント4行付		4行	データ	131	
			コメント1	32	
			コメント2	32	
			コメント3	32	
	コメント4		32		

## ■QRコードラベル作成の流れ



- QRコードラベル作成時(コメント入力時を除く)はQRコード専用記号(124ページ)を入力することができます。ただし、記号一覧(123ページ)の記号や、絵文字一覧の絵文字(124ページ)、外字(104ページ)を入力することはできません。コメント入力時は通常どおり記号、絵文字、外字の入力ができます。

QRコードのデータ構成の関係で入力可能な文字を上記のように区別しております。

- QRコード専用記号は、以下の操作で入力します。
  - 1.88ページ「その他の記号」の手順1の操作をします。
  2. で入力したい記号を選び、 を押します。

【例】



上記の印刷例に沿って操作を説明します。

- 1 を押して、電源を入れます。
- 2 を押して「新規作成」を選び、 を押します。

- 3 を押して「QRコード」を選び、 を押します。



- 4 を押してQRコードのサイズを選び、 を押します。

- 5 を押してQRコードのタイプを選び、 を押します。  
ここでは「電話帳」を選びます。

- 6 を押してフォーマットを選び、 を押します。  
ここでは「3」を選びます。

フォーマットは以下の3種類から選びます。

- 1：QRコードのみ印刷
- 2：QRコードと入力したデータを印刷
- 3：QRコードとコメントを印刷

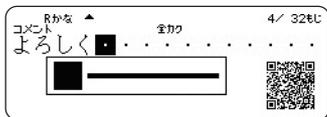
- 7 名前を入力し、 を押します。  
ここでは「田中 大介」を入力します。

- 8 自動的に入力されたフリガナが正しいかどうか確認し、必要に応じて修正してください。正しくフリガナが入力できたら、 を押します。  
ここでは「タナカタ」と表示されます。

- 9 電話番号を入力し、 を押します。  
ここでは「0009998888」と入力します。

10 メールアドレスを入力し、**実行**を押します。  
ここでは「d-tnk@casio.co.jp」と入力します。

11 コメントを入力し、**実行**を押します。  
ここでは「よろしく」と入力します。



12 **左**/**右**を押して**印刷**を選び、**実行**を押します。

13 数字キー(または**左**/**右**)を押して印刷枚数を設定し、**決定**を押します。

1~100枚まで設定できます。

14 **左**/**右**を押してカットモードを設定し、**実行**を押します。  
印刷が開始されます。

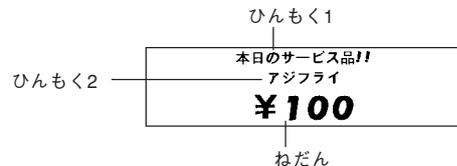
- ・カットモードについて(26ページ)
- ・ラベルデータを登録する(69ページ)

## 値札・メニューラベルを作る(POPラベル)

商品の値札やメニューラベルを作ることができます。

**重要!** 9mm幅以上のテープカートリッジを使用してください。

[印刷例]



1 **入**を押して、電源を入れます。

2 **左**/**右**を押して「新規作成」を選び、**実行**を押します。

3 **上**/**下**/**左**/**右**を押して「POPラベル」を選び、**実行**を押します。



4 **左**/**右**を押してラベルの種類を選び、**実行**を押します。  
ここでは「値札(18mm幅)」を選びます。



- 5 **◀ ▶**を押してラベルの大きさを選び、**実行**を押します。  
ここでは「大3」を選びます。
- 6 文字(ひんもく1)を入力し、**実行**を押します。  
ここでは「本日のサービス品!!」と入力します。
- 7 2段目の文字(ひんもく2)を入力し、**実行**を押します。  
ここでは「アジフライ」と入力します。
- 8 3段目の文字(ねだん)を入力し、**実行**を押します。  
ここでは「¥100」と入力します。
- 9 **◀ ▶**を押して**印刷**を選び、**実行**を押します。
- 10 数字キー(または**◀ ▶**)を押して印刷枚数を設定し、**✓**を押します。  
1~100枚まで設定できます。
- 11 **◀ ▶**を押してカットモードを設定し、**実行**を押します。  
印刷が開始されます。

- ・カットモードについて(26ページ)
- ・ラベルデータを登録する(69ページ)

## カレンダーラベルを作る

1ヶ月分のカレンダーラベルを作ることができます。  
作成できる年月の範囲は、2000年1月~2099年12月までです。



- ・18mm幅以上のテープカートリッジを使用してください。
- ・1日単位または曜日単位で休日指定できます。  
休日は枠付きで印刷されます。
- ・曜日の並び順を、日曜優先または月曜優先に切り替えることができます。
- ・36mm幅、46mm幅のテープカートリッジ使用時には、  
フォントの指定ができます(和文4書体のみ)。

[印刷例]

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

- 1 **入**を押して、電源を入れます。
- 2 **◀ ▶**を押して「新規作成」を選び、**実行**を押します。
- 3 **↑ ↓ ◀ ▶**を押して「カレンダー」を選び、**実行**を押します。

—カレンダー印刷—

20 **15**年 1月



- 4 ◀ ▶ を押して「年」と「月」を移動して、数字キー（または ▲ ▼）を押して年月を指定し、**[実行]** を押します。  
ここでは「2015年3月」を指定します。

- 5 ▲ ▼ ▶ ◀ を押してカーソルを移動し、**[1b]** を押すと休日に指定されます。  
ここでは「日」、「土」、および「20日」を休日指定します。

- ・休日に指定されると反転表示となります。
- ・曜日上で指定するとその曜日(縦1列)が、日にち上で指定すると1日単位で休日が指定されます。
- ・休日指定された日にちの上でもう1度 **[1b]** を押すと指定が解除されます。



- 6 **[2b]** を押して、曜日先頭が日曜か月曜かを設定し、**[実行]** を押します。  
ここでは「日曜」に設定します。

- ・ **[2b]** を押すごとに日曜先頭と月曜先頭が切り替わります。

- 7 ◀ ▶ を押して**[印刷]**を選び、**[実行]** を押します。

- 8 数字キー（または ◀ ▶）を押して印刷枚数を設定し、▼ を押します。  
1～100枚まで設定できます。

- 9 ◀ ▶ を押してカットモードを設定し、**[実行]** を押します。  
印刷が開始されます。

- ・カットモードについて(26ページ)
- ・ラベルデータを登録する(69ページ)

# 宛名ラベルを作る

封筒やハガキなどの宛名ラベルを作ることができます。

- 重要**  ・24mm幅以上のテープカートリッジを使用してください。  
・宛名は100件まで、グループに分けて登録できます。

## 【印刷例】

(住所：2行/会社・所属：2行)

151-0071  
東京都渋谷区本町0-1-2  
第一本町ハビルディングA棟1203  
新東京〇〇企画販売株式会社  
営業部第3営業課ビジネス拡販推進センター  
山田 新太郎 様

## ■各項目の最大文字数

行	1行	2行	3行	4行	5行	6行	
入力項目	郵便番号	住所		会社・所属		名前	敬称
最大文字数	7文字	20文字	20文字	20文字	20文字	15文字	3文字

## 宛名の入力

- 1  を押して、電源を入れます。
- 2   を押して「新規作成」を選び、**実行**を押します。

- 3     を押して「宛名ラベル」を選び、**実行**を押します。

宛名ラベル  
新規登録 一覧表示 終了

使用量 0/100件

- 4   を押して「新規登録」を選び、**実行**を押します。

- 5 数字キーを押して郵便番号(7桁)を入力し **変換**を押すと郵便番号から住所に変換し、自動的に入力されます。

- ・郵便番号を入力せずに **実行**を押すと、住所の入力に進みます。
- ・変換する候補が複数ある場合は、  を押して希望の候補を選んでください。

1510071 1/1  
東京都渋谷区本町

- 6 変換された住所を確認し、**実行**を押します。

- 7 住所の続きを入力し、**実行**を押します。

- ・住所は2行まで入力できます(最大40文字)。
- ・1行は20文字までです。区切りの良いところで  を押して改行してください。20文字を超えると自動的に改行されます。

## 8 会社・所属を入力し、**実行**を押します。

- ・会社・所属は2行まで入力できます(最大40文字)。
- ・1行は20文字までです。区切りの良いところで**↩**を押して改行してください。20文字を超えると自動的に改行されます。

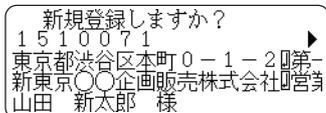
## 9 名前を入力し、**実行**を押します。

名前は最大15文字まで入力できます。

## 10 敬称を入力し、**実行**を押します。

敬称は「～様」が初期設定されています。  
変更したい場合は、必要に応じて修正、削除してください。

## 11 **Ⓐ** **Ⓧ**を押して登録したいグループを選び、**実行**を押します。



## 12 登録内容を確認し、**実行**を押します。

登録内容が表示しきれず、右に隠れた文字がある場合は、**⏪** **⏩**を押して画面をスクロールさせて確認してください。

## 13 登録が完了すると、「登録完了」と表示されて、手順3の画面に戻ります。**実行**を押します。

引き続き、他の宛名を登録する場合は、手順4～13を繰り返してください。

## 宛名ラベルの印刷

### 1 **入**を押して、電源を入れます。

### 2 **⏪** **⏩**を押して「登録データ」(または「新規作成」)を選び、**実行**を押します。

### 3 **⏪** **⏩**(手順2で「新規作成」を選んだ場合は、**Ⓐ** **Ⓧ** **⏪** **⏩**)を押して「宛名ラベル」を選び、**実行**を押します。

### 4 **⏪** **⏩**を押して「一覧表示」を選び、**実行**を押します。

### 5 **Ⓐ** **Ⓧ**を押して印刷したいグループを選び、**実行**を押します。

「グループなし」が3つのグループのどれか、または「すべて」が選べます。

### 6 **Ⓐ** **Ⓧ**を押して「グループ一括印刷」を選び、**実行**を押します。

### 7 「一括印刷しますか?」と表示されたら、**実行**を押します。

### 8 **⏪** **⏩**を押してカットモードを設定し、**実行**を押します。

印刷が開始されます。印刷枚数の指定はできません。

- ・カットモードについて(26ページ)

### 1件ずつ印刷するには

- ① 手順6で $\triangleleft$  $\triangleright$ を押して **詳細表示** を選び、**実行** を押します。
- ②  $\triangleleft$  $\triangleright$ を押して印刷したい宛名を選び、**実行** を押します。
- ③  $\triangleleft$  $\triangleright$ を押して **印刷** を選び、**実行** を押します。  
以下、手順8へ進みます。

### 宛名の内容を修正するには

- ① 手順6で $\triangleleft$  $\triangleright$ を押して **詳細表示** を選び、**実行** を押します。
- ②  $\triangleleft$  $\triangleright$ を押して修正したい宛名を選び、**実行** を押します。
- ③  $\triangleleft$  $\triangleright$ を押して **修正** を選び、**実行** を押します。
- ④ 修正の確認メッセージが表示されたら**実行**を押します。
- ⑤ 「宛名の入力」の手順5～10と同様の手順で内容を修正し、**実行**を押します。
- ⑥ 上書き登録の確認メッセージが表示されるので、**実行**を押すと「登録完了」と表示され、宛名の内容が修正されます。

### 宛名の内容を流用するには

- ① 手順6で $\triangleleft$  $\triangleright$ を押して **詳細表示** を選び、**実行** を押します。
- ②  $\triangleleft$  $\triangleright$ を押して流用したい宛名を選び、**実行** を押します。
- ③  $\triangleleft$  $\triangleright$ を押して **流用** を選び、**実行** を押します。
- ④ 流用の確認メッセージが表示されたら**実行**を押します。
- ⑤ 「宛名の入力」の手順5～10と同様の手順で内容を修正し、**実行**を押します。
- ⑥ 新規登録の確認メッセージが表示されるので、**実行**を押すと「登録完了」と表示され、宛名が新規登録されます。

### 宛名の内容を削除するには

- ① 手順6で $\triangleleft$  $\triangleright$ を押して **詳細表示** を選び、**実行** を押します。
- ②  $\triangleleft$  $\triangleright$ を押して削除したい宛名を選び、**実行** を押します。
- ③  $\triangleleft$  $\triangleright$ を押して **削除** を選び、**実行** を押します。
- ④ 削除の確認メッセージが表示されたら**実行**を押します。
- ⑤ 「削除完了」と表示され、宛名が削除されます。

### グループ名を変更するには

- ① 手順6で $\triangleleft$  $\triangleright$ を押して **グループ名変更** を選び、**実行** を押します。
  - ② グループ名を変更し**実行**を押すと、「登録完了」と表示されて新しいグループ名に変更されます。
- ※ 登録データのないグループではグループ名は変更できません。  
また、「グループなし」のグループ名は変更できません。

# 作成したデータを登録する・呼び出す

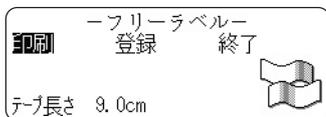
作成したデータをメモリーに記憶させておくことができます。記憶させることを**登録**といいます。

登録しておけば、いつでも呼び出して印刷したり、また内容を修正して違うデータを作ることができます。

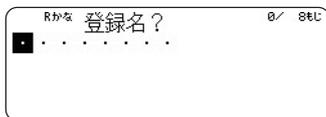
## データを登録する

データに名前をつけて登録します。

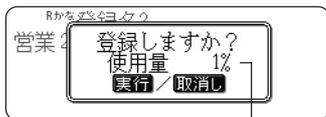
文字の入力後、**実行**を押すとこの画面になります



1 **◀▶**を押して**登録**を選び、**実行**を押します。



2 登録名を入力し、**実行**を押します。  
登録名は8文字まで入力できます。外字、半角の入力はできません。



すでに登録されているデータがどのくらいあるかを示します

3 **実行**を押します。

## 登録名

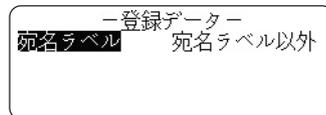
記憶させるときは、データに名前(登録名)をつけます。これは、あとでデータの内容を呼び出すときに、名前を探すためです。

「登録完了」と表示され、最初の画面に戻ります。

## 登録したデータを呼び出す

登録したデータは、作成方法画面(31ページの手順1の画面)から呼び出します。

1 **◀▶**を押して「登録データ」を選び、**実行**を押します。



2 **◀▶**を押して**宛名ラベル以外**を選び、**実行**を押します。



3 **◀▶**を押して**データ呼出し**を選び、**実行**を押します。



4 **▲▼**を押して呼び出したいデータの登録名を探し、**実行**を押します。

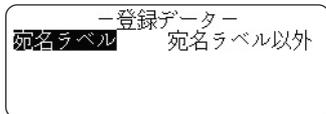
データが呼び出されます。

必要に応じて、修正・印刷してください。

## 登録したデータを削除する

登録したデータは、作成方法画面(22ページ「ラベルを印刷する」の手順1の画面)から削除することができます。

- 1 ◀▶を押して「登録データ」を選び、**実行**を押します。



- 2 ◀▶を押して**宛名ラベル以外**を選び、**実行**を押します。

- 3 ◀▶を押して**データ削除**を選び、**実行**を押します。



- 4 ⒶⒷを押して削除したいデータの登録名を探し、**実行**を押します。  
「削除しますか?」と表示されます。

- 5 **実行**を押します。

- ・「削除完了」と表示され、他に登録文章があるときは、その登録名が表示されます。  
引き続き、削除することができます。
- ・データ削除の操作をやめるときは**取消**を押します。

## データのバックアップをする(DATA STOCK TOOL)

バックアップ用のソフト「DATA STOCK TOOL」を使うと、本機で登録したデータをパソコンに保存することができます。万一、登録データが消失したときは、保存しておいたデータを読み出して、保存したときと同じ状態に戻すこともできます。バックアップは、メインメニュー表示中に行うことができます。



**重要** バックアップできるのは、宛名ラベル、フリーラベルなどの登録データおよび、外字、プリセットタイトル、ユーザー辞書などのデータです。設定、コピー・ペースト、前回データはバックアップできません。

- 1 別紙の「はじめにお読みください」を参照して、以下の準備をします。

- ・「ソフトとプリンタードライバーをインストールする」の説明にしたがって、DATA STOCK TOOLとプリンタードライバーをパソコンにインストールする。
- ・「パソコンと接続する」の説明にしたがって、本機とパソコンをUSBケーブル(市販のもの)で接続する。

- 2 本機の**機能**を押し、指を離してから**8**を押します。

- 3 ⒶⒷ◀▶を押して、**バックアップ**を選び、**実行**を押します。  
画面に「通信準備完了」と表示されていることを確認します。

- 4 パソコン側で、Windowsの「スタート」メニューから「すべてのプログラム」→「CASIO」→「DATA STOCK TOOL」→「DATA STOCK TOOL」とクリックします。

これ以降の操作については、DATA STOCK TOOLの操作画面で、[ヘルプ]ボタンをクリックして表示される説明をご覧ください。

# デザインロゴ編

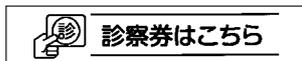
## ロゴ入りのラベルを印刷する(デザインロゴ)

オフィスなどの職場、工事や建設などの現場、病院などでよく使う表現を選ぶだけで、イラストや文字の入ったアテンション効果に優れたラベルを作ることができます。

デザインロゴは、インターネットのダウンロードサイトからパソコン経由で本機に転送することもできます。ダウンロードサイトには、使用する場面に合わせたデザインロゴが用意されています。

### [印刷例]

・通常印刷



・拡大印刷



デザインロゴの転送から印刷までの手順は以下のようになります。

1

ダウンロードサイトからデザインロゴをパソコンにダウンロード



2

デザインロゴをパソコンから本機に転送



3

本機で印刷

・本機にはあらかじめ「職場で使える分別ラベル」「現場で使える注意ラベル」「現場で使える注意ラベル2」「病院で使える案内ラベル」の4種類のデザインロゴが内蔵されています。

内蔵されているデータを使って、本機だけで印刷することができます。

操作については、「デザインロゴを印刷する」(74ページ)をご覧ください。

・本機内蔵のデザインロゴについては、デザインロゴ内蔵データ一覧(131ページ)をご覧ください。

・デザインロゴを印刷できるのは、12mm、18mm、24mm、36mm、46mm幅のテープです。

※拡大印刷ができるのは、36mm、46mm幅のテープのみです。

## パソコンにデザインロゴをダウンロードする

インターネットに接続して、デザインロゴをダウンロードする操作を説明します。



**重要** お使いのパソコンがインターネットに接続できる環境であることを確認してください。

### ■パソコン側の操作

1 別紙の「はじめにお読みください」をご覧ください。デザインロゴ転送ソフト「デザインロゴチェンジャー」とKL-V460用の「プリンタードライバー」をインストールしてください。

・事前にインストール済みのときは、上記の操作は必要ありません。

2 Windowsの「スタート」メニューから「すべてのプログラム」→「CASIO」→「DESIGNLOGO CHANGER」→「DESIGNLOGO CHANGER」とクリックして起動します。

・インストール時の設定によっては上記の操作と異なることがあります。

3  データダウンロード をクリックします。

ブラウザが起動し、ダウンロードサイトにアクセスします。お使いのパソコンのブラウザの画面上にダウンロードサイト (<http://casio.jp/d-stationery/nameland/designlogo/>) が表示されます。

**重要**   (オンラインカタログ) をクリックすると、デザインロゴのブラウザが起動し、デザインロゴのデザイン一覧が確認できるカタログサイトが表示されます。こちらからデザインロゴをダウンロードすることもできます。

4 ダウンロードしたいデザインロゴを選び、[ダウンロード] をクリックします。

5 「ファイルのダウンロード」ダイアログが表示されるので [保存 (S)] をクリックします。

6 「名前を付けて保存」ダイアログが表示されるので任意のフォルダに保存します。

**重要**  ・ダウンロードするデザインロゴはグループ単位になります。個別にはダウンロードすることができません。  
・ダウンロードしたデザインロゴは、本機でのみ使用可能です。パソコンでは使用できません。

## ダウンロードしたデザインロゴを本機に転送する

ダウンロードしたデザインロゴのデータを本機に転送する操作と、本機にインストールされているデザインロゴの名称を確認する操作を説明します。

**重要**  ・デザインロゴは、本機に最大4フォルダまでインストールすることができます。

すでにデザインロゴがインストールされているフォルダにインストールすると、デザインロゴデータは上書きされて、古いデータは失われます。

・デザインロゴのデータを本機にあらかじめ内蔵されていたデータに戻すときは、デザインロゴ転送ソフト「デザインロゴチェンジャー」と同じフォルダに用意してあるデータをお使いください。なお、ダウンロードサイトにも、本機にあらかじめ内蔵されていたデータを用意しております。

### ■本機側の操作

1 電源が切れていることを確認します。

画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、 を押します。

2 ACアダプター、USBケーブルを使って、パソコンと本機を接続します。

・接続について詳しくは、別紙の「はじめにお読みください」をご覧ください。

3  を押して、電源を入れます。

4   を押して「デザインロゴ」を選び、 を押します。

・上記の操作の代わりに  を押しても同じ画面に進めます。

5   を押して **データインストール** を選び、 を押します。

- 6 ◀▶を押して**受信**を選び、**実行**を押します。  
・画面に「通信準備完了」と表示されていることを確認します。

**重要**！  
・パソコンと本機で通信をするときには、通常は**USB接続**を押しますが、デザインロゴデータをインストールするときには、

**USB接続**を押してもインストールできません。

必ず、上記の操作をしてください。

- ・データ受信中には、ACアダプターやUSBケーブルを絶対に抜かないでください。

## ■パソコン側の操作

- 1 Windowsの「スタート」メニューから「すべてのプログラム」→「CASIO」→「DESIGNLOGO CHANGER」→「DESIGNLOGO CHANGER」とクリックして起動します。

・インストール時の設定によっては、上記の操作と異なることがあります。

- 2 **本体メモリ確認**をクリックします。

本機にインストールされているデザインロゴの名称が表示されます。



- 3 デザインロゴの名称を参考に、内容を更新したいフォルダの**参照**をクリックして、ダウンロードサイトからダウンロードしたデザインロゴのファイルを指定します。

・誤ったフォルダを指定してしまった場合は、**キャンセル**をクリックすると、そのフォルダの指定を取り消すことができます。

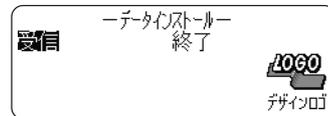
**重要**！  
・ファイルを指定していないフォルダについては、転送しても本機にインストールされているデザインロゴの内容は変わりません。

- 4 **転送**をクリックします。

- 5 確認ダイアログで「はい(Y)」をクリックして本機にデザインロゴを転送します。

## ■本機側の操作

- 1 通信が正常に終了した場合には「通信完了」が表示され下の画面に戻ります。



- 2 ◀▶を押して**終了**を選び、**実行**を2回押し、メインメニュー画面に戻ります。

・これで、転送したデザインロゴを使用することができます。

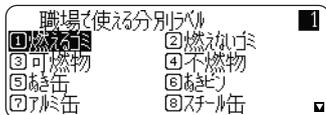
## デザインロゴを印刷する

デザインロゴの印刷は、すべて本機側の操作です。

1 (⊕) を押して、電源を入れます。

2 (◀) (▶) を押して「デザインロゴ」を選び、(実行) を押します。  
・上記の操作の代わりに (F4) を押しても同じ画面に進めます。

3 (▲) (▼) を押してフォルダを選び、(実行) を押します。



4 (▲) (▼) (◀) (▶) でデータを選びます。

・デザインロゴ内蔵データ一覧(131ページ)や、オンラインカタログ(<http://casio.jp/d-stationery/nameland/designlogo/catalog/O1.html>)で番号を確認し、数字キーで番号を入力して選択することもできます。

5 (印刷) を押すと、選択しているロゴのデザインを確認することができます。  
・このとき表示されるのは「通常 1 段(中)」で印刷した場合のデザインです。

6 じっくりと見たい部分の流れきたら、(実行) を押して画面を停止させます。

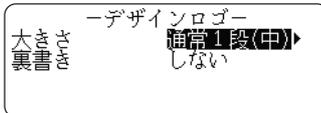
(実行) を押すと、再びプレビュー画面が流れます。

・プレビュー表示を中止するときは、(取消) を押します。

7 (実行) を押します。

8 (◀) (▶) を押して、印刷する大きさを選びます。

・1枚のテープに印刷する通常印刷と、何枚かのテープに分けて印刷したラベルを貼り合わせ、大きなデザインロゴを作る拡大印刷が選べます。



通常印刷をする場合には「通常 1 段」を選びます。

- ・「通常 1 段」は、横方向の大きさを「小」「中」「大」の3種類から選べます。
- ・拡大印刷は「拡大2段」、「拡大3段」、「拡大4段」から選べます。2段とは「2枚のテープに分けて印刷する」という意味です。  
※拡大印刷ができるのは、36mm/46mm幅のテープのみです。
- ・印刷したときのデザインロゴの大きさは75ページのとおりです。
- ・「裏書き」にしたいときには、(▼) を押して、(◀) (▶) でするを選びます。

・本機内蔵のデザインロゴにおける印刷時の大きさ

(サイズはいずれも縦×横で記載)

大きさ	テーブル幅	46mm幅	36mm幅	24mm幅	18mm幅	12mm幅	9mm幅以下	備考
通常1段	小	40×135mm	32×108mm	20×67.5mm	16×54mm	10×36mm	(不可)	
	中	40×180mm	32×144mm	20×90mm	16×72mm	10×45mm	(不可)	
	大	40×270mm	32×216mm	20×135mm	16×108mm	10×54mm	(不可)	
拡大2段		80×360mm	64×288mm	(不可)	(不可)	(不可)	(不可)	通常1段(中)×2倍
拡大3段		120×540mm	96×432mm	(不可)	(不可)	(不可)	(不可)	通常1段(中)×3倍
拡大4段		160×720mm	128×576mm	(不可)	(不可)	(不可)	(不可)	通常1段(中)×4倍

[印刷例]

・通常1段「小」



・通常1段「中」



・通常1段「大」



9 **実行** を押します。

10 **◀ ▶** を押して **印刷** を選び、 **実行** を押します。

11 **▲ ▼ ◀ ▶** で印刷枚数、カットモードを指定します。  
 拡大印刷を選んだ場合は印刷枚数の代わりに「全部」「1段目」などから印刷する項目を選びます。

・カットモードについて(26ページ)

12 **実行** を押します。  
 ・印刷が開始されます。

## デザインロゴデータを削除する

ここでは、本機に登録してあるデザインロゴのデータを削除する操作を説明します。

### ■本機側の操作

1 72ページの「ダウンロードしたデザインロゴを本機に転送する」の手順6までを操作します。

### ■パソコン側の操作

1 Windowsの「スタート」メニューから「すべてのプログラム」→「CASIO」→「DESIGNLOGO CHANGER」→「DESIGNLOGO CHANGER」とクリックして起動します。

・インストール時の設定によっては、上記の操作と異なることがあります。

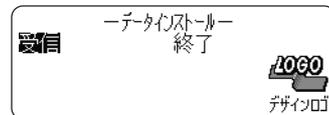
2 **ⓘ**(機能)をクリックして、機能メニューを開きます。

3 「本体側デザインロゴデータの削除 (D)」をクリックします。

4 「インストールされているデータを全て削除します。よろしいですか?」という確認ダイアログが表示されるので「はい(Y)」をクリックします。

### ■本機側の操作

1 通信が正常に終了した場合には「通信完了」が表示され下の画面に戻ります。



2 **◀ ▶** を押して **終了** を選び、 **実行** を2回押し、メインメニュー画面に戻ります。



本機にインストールされていたデータは全て削除されました。



インストールされているデータは、フォルダ単位ではなく一括して削除されます。

# 入力・編集編

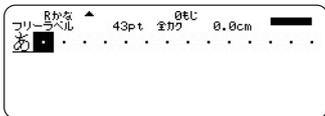
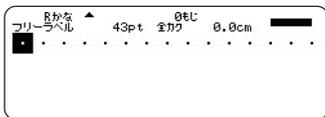
文字の入力や編集についての基本的な説明をします。また、装飾の指定や外字の作り方についても説明しています。

## カーソルのはたらきと動かし方

画面上で点滅している■をカーソルといいます。

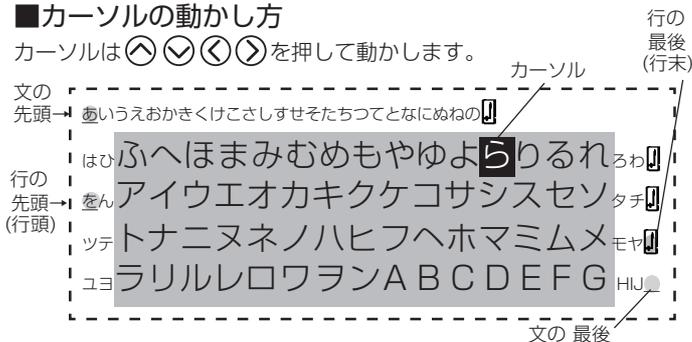
カーソルとは、文字を入れる位置を示した目印のことです。

文字キーを押すと、カーソルの位置に文字が入ります。



### ■カーソルの動かし方

カーソルは(↑)(↓)(←)(→)を押して動かします。



	左にカーソルが移動する		右にカーソルが移動する
	上にカーソルが移動する※		下にカーソルが移動する※
を押し、指を離してから を押す	行の先頭にカーソルが移動する	を押し、指を離してから を押す	行の最後にカーソルが移動する
を押し、指を離してから を押す	文の先頭にカーソルが移動する※	を押し、指を離してから を押す	文の最後にカーソルが移動する※

※フリーラベルなど2行以上の表示ができるところで有効です。

スクロールとは  
画面に隠れている文字を見るためには、(←)(→)を押して、隠れている部分にカーソルを動かします。これをスクロールといいます。  
(←)(→)を押した方向に文字がないときは、カーソルは動きません。)

# ローマ字入力?それともかな入力?

キーを押して文字を画面に表すことを、**入力**といいます。  
文字を入力する方法には、ローマ字入力とかな入力があります。

## ・ローマ字入力とは…

アルファベットを使ったローマ字よみでひらがななどを入力する方法です。

## ・かな入力とは…

直接ひらがななどを入力する方法です。

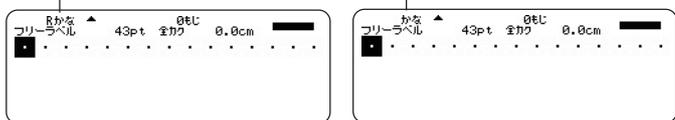
購入後はじめて使うときや、メモリーの初期化をした後では、ローマ字入力の状態になっています。

## ローマ字入力とかな入力を切り替える

**[機能]** を押し、指を離してから **[あア]** を押し

ローマ字入力を示します

かな入力を示します



・「ab」「AB」が画面左上に表示されているときは、まず **[あア]** を押し、「Rかな」または「かな」を表示させます。

### 「設定」で切り換えるには

- 1 **[機能]** を押し、指を離してから **[88]** を押しします。
- 2 **[↑][✓]** を押して「入力設定」を選び、**[実行]** を押しします。
- 3 **[↑][✓][←][→]** を押して「ローマ字入力」または「かな入力」を選び、**[実行]** を押しします。

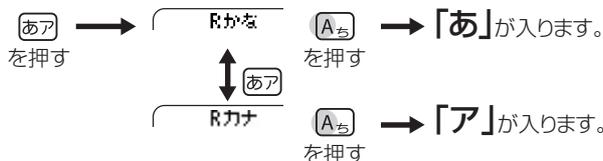
# 入力する文字の切り替え方法

文字キーは、1つで数種類の文字が入力できるようになっています。  
**[あア]** や **[aA]** を押し、ひらがな・カタカナ・アルファベット・記号が入力できるように、切り換えます。

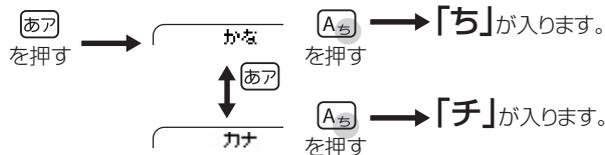
ここでは **[あち]** を例にとって、説明します。

## ひらがな・カタカナの入力

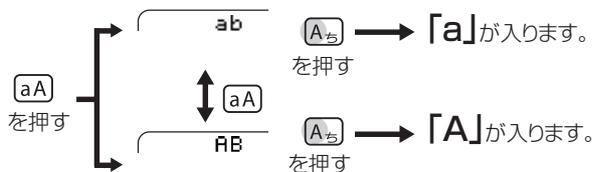
### ■ローマ字入力の場合



### ■かな入力の場合



## アルファベット(大文字・小文字)の入力



# ひらがな・カタカナの入力

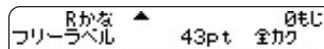
ここではローマ字入力で説明します。

## ひらがなの入力

【例】 さくら

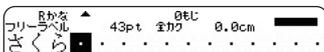
1 **あア**を何回か押して、画面左上に「Rかな」を表示させます。

- かな入力のときは、「かな」を表示させます。(78ページ)



2 **Sと Aち Kの Uな Rせ Aち**と押します。

- かな入力のときは、**Xさ H< Oら**と押します。

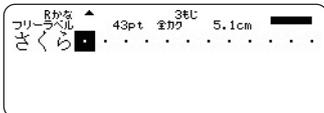


ひらがなを入力している最中は、文字に下線が表示されます。

3 **無変換**または**実行**を押します。

「さくら」が確定します。

- 「無変換」とは、漢字に変換しないでひらがなのまま確定するという意味です。

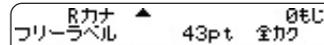


## カタカナの入力

【例】 サクラ

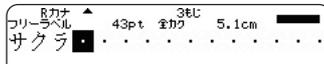
1 **あア**を何回か押して、画面左上に「Rカナ」を表示させます。

- かな入力のときは、「カナ」を表示させます。(78ページ)



2 **Sと Aち Kの Uな Rせ Aち**と押します。

- かな入力のときは、**Xさ H< Oら**と押します。



カタカナを入力すると、そのまま確定されます。

ひらがなで文字を入力して、カタカナに変換する(カタカナ変換)

例 サクラ

- ① ひらがなで「さくら」と入力します。
- ② さくらとなっているときに、**機能**を押し、指を離してから

**無変換**を押します。

カタカナ変換

さくらが「サクラ」に確定されます。

## いろいろな文字の入力方法

	例	ローマ字入力	かな入力
促音	いった	[I <sub>い</sub> ] [T <sub>た</sub> ] [T <sub>た</sub> ] [A <sub>あ</sub> ]	[E <sub>い</sub> ] シフト [Z <sub>つ</sub> ] [Q <sub>た</sub> ]*
拗音	きょう	[K <sub>の</sub> ] [Y <sub>ん</sub> ] [O <sub>の</sub> ] [U <sub>な</sub> ]	[G <sub>き</sub> ] シフト [9 <sub>よ</sub> ] [4 <sub>う</sub> ]*
濁音	ぼく	[B <sub>の</sub> ] [O <sub>の</sub> ] [K <sub>の</sub> ] [U <sub>な</sub> ]	[H <sub>ば</sub> ] [M <sub>の</sub> ] [H <sub>の</sub> ]
半濁音	ぱぱ	[P <sub>せ</sub> ] [A <sub>ち</sub> ] [P <sub>せ</sub> ] [A <sub>ち</sub> ]	[F <sub>は</sub> ] [I <sub>の</sub> ] [F <sub>は</sub> ] [I <sub>の</sub> ]
句点	。	[S <sub>の</sub> ]	シフト [S <sub>の</sub> ]
読点	,	[U <sub>な</sub> ]	シフト [U <sub>な</sub> ]
長音	ー	[Y <sub>の</sub> ]	[Y <sub>の</sub> ]
中点	・	シフト [U <sub>な</sub> ]	シフト [U <sub>な</sub> ]
を		[W <sub>の</sub> ] [O <sub>の</sub> ]	シフト [O <sub>の</sub> ]
ん		[N <sub>の</sub> ] [N <sub>の</sub> ]	[Y <sub>ん</sub> ]
ヴ		「Rカナ」表示のときに [V <sub>の</sub> ] [U <sub>な</sub> ]	「カナ」表示のときに [4 <sub>う</sub> ] [M <sub>の</sub> ]
カ		[X <sub>の</sub> ] [K <sub>の</sub> ] [A <sub>の</sub> ] または [K <sub>の</sub> ] シフト [A <sub>の</sub> ]	シフト [T <sub>た</sub> ]
ケ		[X <sub>の</sub> ] [K <sub>の</sub> ] [E <sub>い</sub> ] または [K <sub>の</sub> ] シフト [E <sub>い</sub> ]	シフト [I <sub>の</sub> ]
空白		[空白]	[空白]

\* [シフト] を押し、指を離してから文字キーを押すと小文字(促音・拗音)になりますが、「つやゆあいう」など促音・拗音にすることができる文字に限りです。

- ・ローマ字よみの詳細については、「ローマ字入力一覧」(122ページ)をご覧ください。
- ・.(カンマ)。(ピリオド)の入力方法については、86ページをご覧ください。

## 漢字の入力

漢字を入力するには、まずその漢字の「よみ」をひらがなで入力します(例:「花」→「はな」)。

ひらがなから漢字に変えることを**変換**といいます。使いたい漢字が表示されたら、**確定**します。

ひらがなから漢字に変換する方法は、次のとおりです。

- ・入力した「よみ」から予測された変換候補を選ぶ
- ・「よみ」を入力して変換する
- ・漢字辞書で漢字を呼び出す(「読み」の他、「総画数」、「部首」、「区点コード」から検索することができます)

### 入力した「よみ」から予測された変換候補を選ぶ(予測変換)

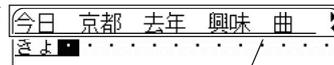
文字を入力すると、予測される語句が、自動的に候補として表示されます。その候補を選ぶことで漢字などを効率的に入力できます。

- ・入力した文字から予測できる言葉がないときは変換候補が表示されません。
- ・予測変換の機能を使わないように設定することもできます。(111ページ)

### 【例】 京都旅行

#### 1 ひらがなで「きょ」と入力します。

画面上段に「きょ」で始まる言葉が並んで表示されます。



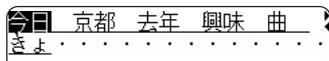
- ・変換したことのある語句が優先的に表示されます(学習機能)。
- ・さらに入力すると、「よみ」にあわせて候補が変わっていきます。

予測変換の候補を表示

- ・「よみ」を長くするほど、候補が絞り込まれます。

## 2 Ⓐを押します。

画面上段にカーソルが移動します。



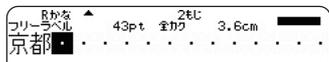
## 3 ⒸⒹを押して「京都」を選びます。



## 4 実行を押します。

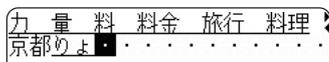
「京都」が確定されます。

- 続きがある場合は、次の文字を入力しても「京都」が確定されます。



## 5 ひらがなで「りよ」と入力します。

画面上段に「りよ」で始まる言葉が並んで表示されます。



## 6 Ⓐを押します。

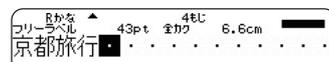
画面上段にカーソルが移動します。



## 7 ⒸⒹを押して「旅行」を選び、実行を押します。

「旅行」が確定されます。

- 候補の中に入力したい語句が見つからない場合は、Ⓐを押して「よみ」を入力し直してください。それでも見つからない場合は、「よみ」を最後まで入力し、変換を押してください。



→「よみ」を入力してから変換する(82ページ)

### 思い通りの漢字に変換されないのはなぜ？

次のようなことが考えられます。

- 「週(しゅう)」を「しゅう」と入力している
- 「図(ず)」を「づ」と入力している
- 「通り(とおり)」を「とうり」と入力している

## 「よみ」を入力してから変換する

「よみ」を入力してから、漢字などに変換します。  
カタカナ語の「よみ」から、英語に変換できる語句もあります。

例：「れぽーと」**変換**→「report」など

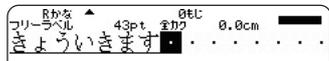
また、よく使う語句を辞書に登録しておくこともできます。

- よく使う語句を辞書に登録する(ユーザー辞書→106ページ)

### 【例】 今日行きます

#### 1 「きょういきます」をひらがなで入力します。

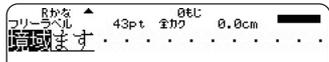
- 一度に32文字まで入力できます。



#### 2 **変換**を押します。

「きょういき」と「ます」という2つの言葉と認識されたため、「境域」と変換されます。

- 変換したことのある候補が優先的に表示されます(学習機能)。

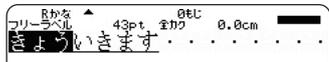


「境域」が反転表示されます

#### 3 **⏪**を2回押します。

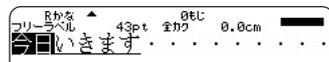
「きょういき」を「きょう」という言葉に区切るためです。

- ⏪**または**⏩**で、区切る場所を変えられます。



#### 4 **変換**を何回か押して、「きょう」を「今日」にします。

**変換**を押すたびに、「きょう」に当てはまる候補が次々と表示されます。

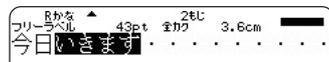


- 機能**を押し、指を離してから**変換**を押す、または**⏪**を押すと、1つ前の候補が表示されます(前候補)。

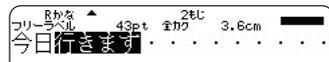
#### 5 **⏩**を押します。

「今日」が確定されます。

- まとめて確定する場合は、**実行**を押します。



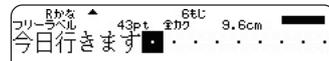
#### 6 **変換**を何回か押して、「いきます」を「行きます」にします。



#### 7 「行きます」が表示されたら、**実行**または**⏩**を押します。

「行きます」が確定されます。

- 続きがある場合は、次の文字を入力しても、「行きます」が確定されます。

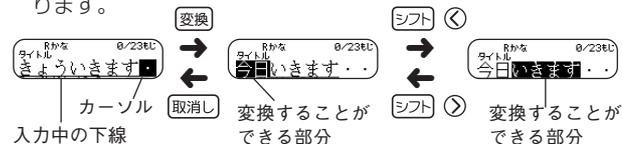


## 表示について

カーソルは、文字が入る位置を示した目印で、黒い四角形が点滅して画面に表示されます。

ひらがなを漢字に変えるときの反転表示は、「現在変換することができる部分」を示した印です。

- 変換が2つ以上に分かれる場合は、**[シフト]**を押し、指を離してから**⊙**(または**⊚**)を押すと、反転表示を右(または左)に動かすことができます。
- 反転表示されているときに**[取消し]**を押すと、「よみ」の状態に戻ります。



## 変換中の操作について

操作	内容
<b>[変換]</b>	次の候補を表示
<b>[機能]</b> を押し、指を離してから <b>[変換]</b> を押し、または <b>⊙</b> を押す	前の候補を表示
<b>⊙</b> または <b>⊚</b>	区切る場所(変換する「よみ」の長さ)を変更
<b>[シフト ⊙]</b> または <b>[シフト ⊚]</b>	変換することができる部分(注目文節)を移動
<b>⊙</b>	変換することができる部分(注目文節)までを確定
<b>[実行]</b>	すべて確定
続けて文字入力	すべて確定してから文字入力
<b>[取消し]</b>	「よみ」の状態に戻る

## 漢字辞書を使って漢字を呼び出す

漢字の読みや、画数などから漢字を呼び出すことができます。

漢字の呼び出し方は、4種類あります。

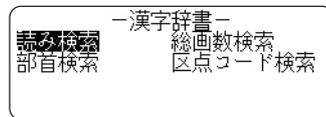
- 「読み」 読みから該当する漢字を呼び出します。
- 「総画数」 総画数から該当する漢字を呼び出します。
- 「部首」 部首から該当する漢字を呼び出します。
- 「区点コード」 漢字の一覧表から入力したい文字を見つけます(JIS区点コード)。

**重要** 漢字辞書機能は文字が入力できる画面で有効です。ただし、文字が未確定のときや、変換中、記号や文字修飾などの選択画面などでは漢字辞書は使えません。

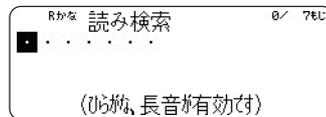
## 読みから呼び出す

**[例]** 「拳」という漢字を呼び出す

1 **[漢字辞書]** を押します。



2 **⊙** **⊚** **⊙** **⊚** を押して **[読み検索]** を選び、**[実行]** を押します。





3 「拳」の部首の「手」は4画なので **4** と入力し、**実行** を押しま

す。  
4画の部首の一覧が表示されま

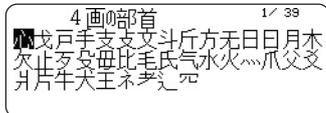
す。  
部首の候補が他にもあるときは  
Ⓐ Ⓑ を押すと続きを見るこ  
とができます。

・1～17画まで入力できます。

4 Ⓐ Ⓑ Ⓒ Ⓓ を押して **手** を選び、**実行** を押しします。

「手」が部首の漢字の一覧が表示

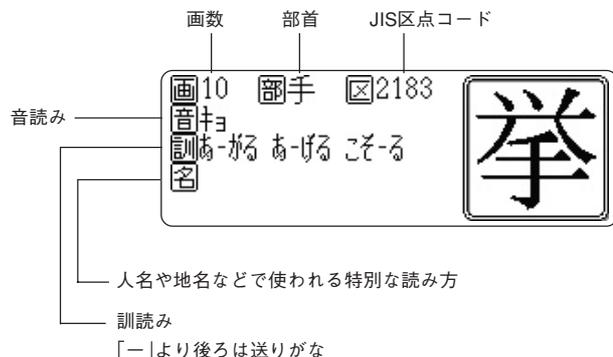
されます。  
データに続きがあるときは  
Ⓐ Ⓑ を押すと続きを見るこ  
とができます。



- ・読みでの検索は「音読み」、「訓読み」、「人名や地名などで使われる特別な読み方」のいずれでも検索できます。
- ・フォントのデザインにより同じ漢字でも字の形が異なることがあります。
- ・部首は代表的なものを採用しています。学説によっては別の部首とするものもあります。
- ・JIS外漢字の区点コードは「-----」と表示されます。
- ・JIS規格には収録されていても、多くの辞書で読みも意味も不明として取り扱われている漢字は読みが表示されません。
- ・漢字辞書機能で呼び出した場合は、漢字の学習機能(80、82ページ)ははたらきません。
- ・文字が入力されたときは、そのときのカーソル位置のサイズや装飾などに合わせて入力されます。
- ・単位の名称を漢字で表すもの(米：メートル、弗：ドルなど)は訓読みに含め、ひらがなで表示しています。

### ●漢字辞書詳細表示について

呼び出した漢字については、次のような詳細な情報が表示されます。



## アルファベットや数字の入力

アルファベット、数字の入れ方を説明します。

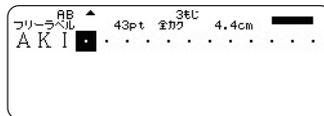
### アルファベット(大文字)の入力

【例】 A K I

1 [aA]を何回か押して、画面の左上に「A B」を表示させます。

2 [A] [K] [I] と押します。

アルファベットは、キーを押したと同時に、その文字に確定されます。



・カンマ(,) ピリオド(.)を入力するには  
画面の左上に「A B」または「a b」と表示されているときに、次のキーを押します。

カンマ： [ , ]      ピリオド： [ . ]

・大文字と小文字が混ざった文章を簡単に入力するには  
「A B」表示のとき … [シフト] を押し、指を離してから文字キーを押すと、その文字だけ小文字になります

例 TAKESHI's

「a b」表示のとき … [シフト] を押し、指を離してから文字キーを押すと、その文字だけ大文字になります。

例 English

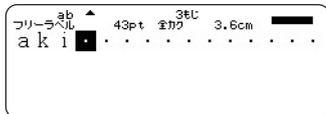
## アルファベット(小文字)の入力

【例】 a k i

1 (aA)を何回か押して、画面の左上に「a b」を表示させます。

2 (A) (K) (I)と押します。

アルファベットは、キーを押したと同時に、その文字に確定されます。



## 数字の入力

【例】 1 2 3

### ■ローマ字入力の場合

1 (1) (2) (3)と押します。

2 (実行)を押して、確定します。

・ (変換)を押すと、数字を漢数字に変換することもできます。

例：「123」(変換)→「一二三」など  
「12 がつ」(変換)→「十二月」など

### ■かな入力の場合

1 (aA)を押して、画面の左上に「a b」または「AB」を表示させます。

2 (1) (2) (3)と押します。

## 記号の入力

普通の文字のほかにも、いろいろな記号を入れることができます。

### キーに印刷されている記号

②キーの右上に印刷された記号



①キーの左に印刷された記号

### ■ローマ字入力の場合

① (:\*)を押すと → 「:」が入ります。

② (シフト)を押し、指を離してから (:\*)を押すと → 「\*」が入ります。

### ■かな入力の場合

① (aA) → (AB) (:\*) → 「:」が入ります。  
押すと

または



② (aA) → (AB) (シフト)を押し、指を離してから (:\*)を押すと → 「\*」が入ります。

または



## その他の記号

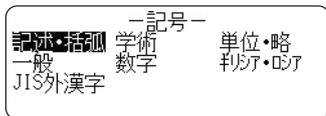


記号は「記述・括弧」「学術」「単位・略」「一般」「数字」「ギリシア・ロシア」「JIS外漢字」の7つのグループに分かれています。123ページの記号一覧を見ながら、使いたい記号がどのグループに入っているのかを確認してください。

【例】  (グループ=単位・略)

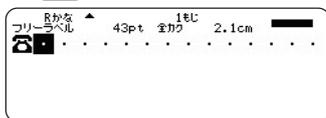
1  を押し、指を離してから  を押します。

記号のグループ名



2     を押して **単位・略** にし、  を押します。

3     を押して  にし、  を押します。



## 絵文字の入力

内蔵の絵文字を使うことができます。絵文字は20のグループに分かれています。

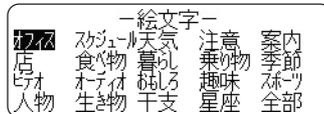
124～126ページの絵文字一覧を見ながら、使いたい絵文字がどのグループに入っているか確かめてください。

また、文字体の指定は無効です。

【例】  (グループ=食べ物)

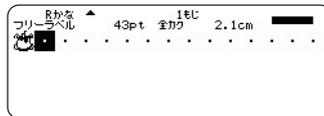
1  を押し、指を離してから  を押します。

絵文字のグループ名



2     を押して **食べ物** にし、  を押します。

3     を押して  にし、  を押します。



# 文字を修正・削除するとき

文字を間違えて入力したときの直し方と、入力してあるすべての文字を削除する方法を説明します。

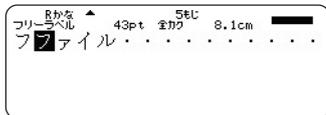
フリーラベルでは、範囲を指定して削除することもできます。

## 間違った文字を消す

■文字を1文字ずつ消す(カーソルの上の文字を消す)

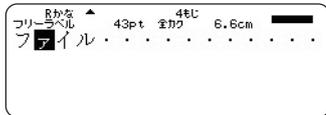
[例] 「フファイル」の「フ」を消して、「ファイル」に直す

1 ⏪ ⏩ を何回か押して、「フ」にカーソルを合わせます。



2 **文字削除** を押します。

「ファイル」になります。



■文字を1文字ずつ消す(カーソルの前の文字を消す)

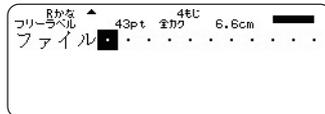
[例] 「ファイルル」の最後の「ル」を消して、「ファイル」に直す

1 消したい文字の次の文字にカーソルを合わせます。



2 **後退** を押します。

「ファイル」になります。



確定前に文字を消すには…

**ふぶあいる**など、文字に **■** が重なっているとき(確定前)に文字を消すときも、**文字削除** または **後退** を押して消します。また、**取消し** を押すと、**■** が重なっている文字がすべて消えます。

## すべての文字を消す(文削除)

入力中の項目の文章をすべて消します。

1 **機能** を押し、指を離してから **文字削除** を押しします。

- 文削除をやめるときは、**取消し** を押しします。
- フリーラベルでは「全文削除」と「部分削除」の選択画面が表示されますので、ここで「全文削除」を選んで **実行** を押しします。

削除しますか？  
ファイル・・・・・・・・・・

2 **実行** を押しします。

- 画面にあった文字はすべて消えます

## ■範囲を決めて消す(フリーラベルのみ)

消したい部分の始めと終わりを指定して消す方法です。

【例】 「あおきおさむ」を「おさむ」にする

1 **機能** を押し、指を離してから **文字削除** を押しします。

2 **左向き** / **右向き** を押しして **部分削除** を選び、 **実行** を押しします。

操作をやめるときは **取消し** を押しします。

どこから？  
あおきおさむ ■・・・・・・・・・・

3 **左向き** / **右向き** を押しして消したい部分の最初の文字にカーソルを合わせ、 **実行** を押しします。

ここでは「あ」にカーソルを合わせます。

どこまで？  
あおきおさむ・・・・・・・・・・

4 **左向き** / **右向き** を押しして消したい部分の最後の文字を指定し、 **実行** を押しします。

ここではあおきにします。

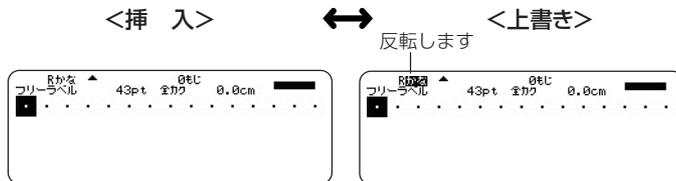
フリーラベル ▲ 43pt 全角 5.1cm  
あおき  
おさむ・・・・・・・・・・

## 間違った文字を直す

間違った文字を直す方法は、文字の入力方法が「挿入」状態になっているか、「上書き」状態になっているかで違ってきます。

## ■「上書き」にすると

**シフト** を押し、指を離してから **あ** を押しします。

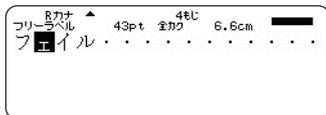


もう一度 **シフト** を押し、指を離してから **あ** を押しすと、「挿入」状態に戻ります。

【例】 「フェイル」を「ファイル」になおす

## ■間違った文字を消して正しい文字を入力する(「挿入」状態)

1 ⏪ ⏩ を押して「エ」にカーソルを合わせます。



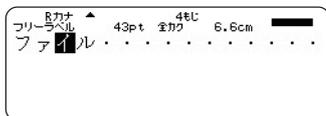
2 **文字削除** を押します。

「エ」が削除され、「イ」が「エ」の位置に移動します。

3 「ア」を入力します。

・「ア」は **シフト** を押し、指を離してから

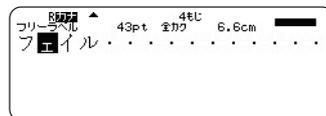
**A** を押して入力します。



「ア」が「イ」の前に入力されます

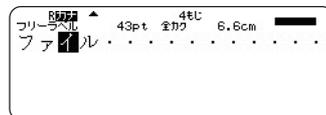
## ■間違った文字の上に正しい文字を入力する(「上書き」状態)

1 ⏪ ⏩ を押して「エ」にカーソルを合わせます。



2 「ア」を入力します。

「エ」が「ア」になります



### 「設定」で切り換えるには

- 1 **機能** を押し、指を離してから **8%** を押します。
- 2 ⏪ ⏩ ⏪ ⏩ を押して「入力設定」を選び、**実行** を押します。
- 3 ⏪ ⏩ を押して「挿入」または「上書き」を選び、**実行** を押します。

### 文字を入れるときは

「上書き」のときは、入力済みの文字が消されて新たな文字に入れ替わります。間違っても必要な文字を入れ替えることがないように、文字を入力するときは「挿入」にすることをおすすめします。

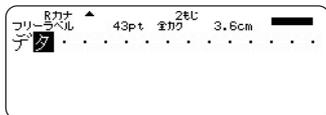
## 文字が抜けていたら…

「挿入」状態のときには、文字を追加することができます。(90ページ)

### 【例】 「タ」を「データ」にする

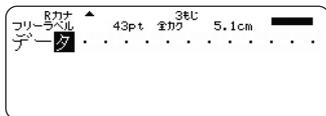
#### 1 ⏪ ⏩ を押して、「タ」にカーソルを合わせます。

「タ」の前に文字を入力するためです。



#### 2 「ー」(長音)を入力します。

「タ」の前に「ー」が入り、「データ」になります



## 復帰機能について

文字入力状態のとき、**機能** を押し、指を離してから **後退** を押すと、直前に削除した文字などを一度だけ元に戻すことができます。ただし、削除後に文字を入力するなど別の操作をした場合は、元に戻すことはできません。また、一部の特殊な入力状態では、お使いになれません。復帰できる内容は以下の通りです。

- **文字削除**、**後退** によって削除された文字、およびその文字のフォントや文字装飾。
- 「文削除」(全文削除、部分削除)によって削除された文字列、およびその文字列のフォーマット選択、書式、フォント、文字装飾。
- **文字削除** によって削除された改行マーク、および削除のときに消失したフォーマット選択。
- **文字削除** によって削除されたブロックマーク、および削除のときに消失したフォーマット選択やブロック書式。
- **文字削除**、**後退** によって削除された印字サイズマーク、および削除のときに消失した印字サイズ。

### 確定前に文字を直したり追加するには…

ふえているなど、文字に下線が引かれているとき(確定前)に文字を直したり追加するときも上と同じ操作で直します。

### 「上書き」で文字を直すときは

直す文字数に注意してください。直す文字数よりも多く入力してしまうと、必要な文字まで新しい文字に入れ替わってしまいます。

# 書体(フォント)を変える

入力済みの文字の形(書体)を、和文8書体・英数20書体の中から選ぶことができます。

また電源を入れたときの書体を決める設定方法についても説明します。

## ■和文書体

明朝体		角ゴシック体	
普通	太字	普通	太字
亜あ	亜あ	亜あ	亜あ
丸ゴシック体		毛筆体	
普通	太字	普通	太字
亜あ	亜あ	亜あ	亜あ

- ・メモリーリセット後は、「和文：明朝」、「英数：和文と同じ」、「太さ：普通」に設定されています。

## ■英数書体

明朝体		角ゴシック体	
普通	太字	普通	太字
A2	A2	A2	A2
丸ゴシック体		毛筆体	
普通	太字	普通	太字
A2	A2	A2	A2
ポップ		ステンシル	
普通	太字	普通	太字
A2	A2	A2	A2
ボールドスク립ト		ペンスクリプト	
普通	太字	普通	太字
A2	A2	A2	A2
ブラックレター		センチュリーイタリック	
普通	太字	普通	太字
A2	A2	A2	A2

- ・英数書体は、次の文字が指定の対象になります。
  - ・アルファベット(A～Z a～z)
  - ・数字(1 2 3 4 5 6 7 8 9 0)
  - ・記号の一部( , . ? ! ~ ( ) ¥ % スペース)

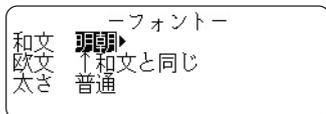
## 入力済みの文字の書体を変える

### 【例】ヒーリングMUSIC集

(「ヒーリング」「集」を角ゴシック体に、「MUSIC」をボールドスク립トにする)

1 文字を入力します。

2 **機能** を押し、指を離してから **1.4** を押しします。



3 **1.4** **1.5** を押して和文の項目を反転表示させ、**1.6** **1.7** を押して**角ゴシック**を選び、**1.8** を押しします。

(和文の書体の種類を選びます。)



4 英数の項目が反転表示するので、**1.6** **1.7** を押して**ボールドスク****リ****フト**を選び、**1.8** を押しします。

(英数の書体の種類を選びます。)

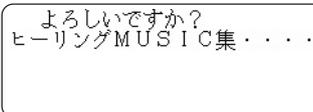
5 **1.9** **1.10** を押して太さを選び、**実行** を押しします。  
太さは「普通」、「太字」から選びます。

6 **1.11** **1.12** **1.13** **1.14** を押して設定の範囲を選び、**実行** を押しします。

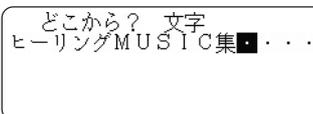
- **全文**：フォーマット単位で設定されます。
- **ブロック**：ブロック単位で設定されます。
- **行**：項目単位で設定されます。
- **文字**：文字単位で設定されます。

※フリーラベル以外では、「ブロック」「文字」は選べません。

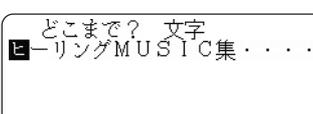
フリーラベルで「全文」の範囲指定を選択したときは、**実行** を押しします。設定後、文字入力画面に戻ります。



フリーラベルで「全文」以外の範囲指定を選択したときは、右のような範囲指定の画面が表示されます。手順7、8で範囲を指定します。



7 **1.15** **1.16** を押して書体を変える最初の文字にカーソルを合わせ、**実行** を押しします。



8 **1.17** **1.18** を押して、書体を変える最後の文字にカーソルを合わせ、**実行** を押しします。

設定後、文字入力画面に戻ります。



角ゴシック  
ボールドスク  
リフト

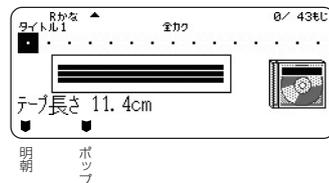
## 電源を入れたときの書体を決める

- 1 **機能** を押し、指を離してから **83** を押します。
- 2 **⏪** **⏩** **⏴** **⏵** を押して **初期フォント** にし、 **実行** を押します。
- 3 **⏪** **⏩** を押して和文の項目を反転表示させ、 **⏴** **⏵** を押してフォントを選び、 **⏴** を押します。
- 4 英数の項目が反転表示するので、 **⏴** **⏵** を押してフォントを選び、 **⏴** を押します。
- 5 **⏴** **⏵** を押して太さを選び、 **実行** を押します。  
太さは「普通」、「太字」から選びます。
- 6 新規入力の「文字入力画面」を表示させます。  
文字を入力すると、指定したフォントで入ります。  
設定は設定後の新規入力時から有効です。

●「登録データ」や「前回データ」を選択し、呼び出したデータを使う場合は、現在の書体ではなくそのデータの作成時の書体が優先されます。

### 画面表示について

- 入力中の文字の書体を **▼** で示します。



- 書体が太字で指定されていても、文字体が「白抜」「影付」「立体」のときは普通の太さで印刷されます。
- 印字サイズが小さいときや画数の多い文字のときは、太字で印刷すると読みにくいことがあります。その場合は、太さを「普通」に指定するか、書体を変更してみてください。
- 英数書体は書体ごとに大きさ、バランスが設定されていますので、混在させるとバランスが不釣り合いになることがあります。特に「ペンスクリプト」の小文字・数字はかなり小さめですので、ご注意ください。

### 小さな文字について

6ptの文字、9ptおよび12ptの上付/下付の文字では、次のようになります。

- フォントの設定は、無効です(すべて同じフォントで印刷されます)。
- 文字体の設定は、無効です(「標準」になります)。
- プロポーションナルの設定は、無効です(OFFになります)。
- 文字修飾では、枠や下線が文字と重なります。
- 絵文字や外字の場合は、きれいに印刷できないことがあります。

# 文字を目立たせる

文字を「白抜」「影付」「立体」にして目立たせることができます(文字体)。

※絵文字・外字は、文字体の指定はできません。

標準

住所録

影付

住所録

白抜

住所録

立体

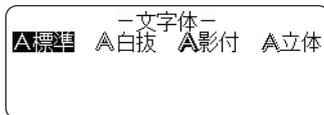
住所録

1 文字を入力します。

2 **機能** を押し、指を離してから **(4)** を押します。

•「文字修飾」が指定できない機能やフォーマットの場合には、手順4に進みます。

3 **◀ ▶** を押して **文字体** を選び、**実行** を押します。



4 **◀ ▶** を押して文字体の種類を選び、**実行** を押します。

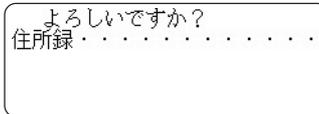
• **標準** を選ぶと、指定済みの文字体を通常の文字に戻すことができます。

5 **⤴ ⤵ ◀ ▶** を押して設定の範囲を選び、**実行** を押します。

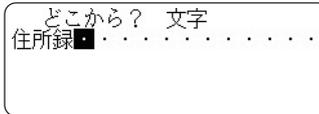
- **全文** : フォーマット単位で設定されます。
- **ブロック** : ブロック単位で設定されます。
- **行** : 項目単位で設定されます。
- **文字** : 文字単位で設定されます。

※フリーラベル以外では、「ブロック」「文字」は選べません。

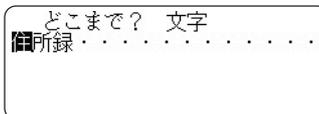
フリーラベルで「全文」の範囲指定を選択したときは、**実行** を押します。設定後、文字入力画面に戻ります。



フリーラベルで「全文」以外の範囲指定を選択したときは、右のような範囲指定の画面が表示されます。手順6、7で範囲を指定します。

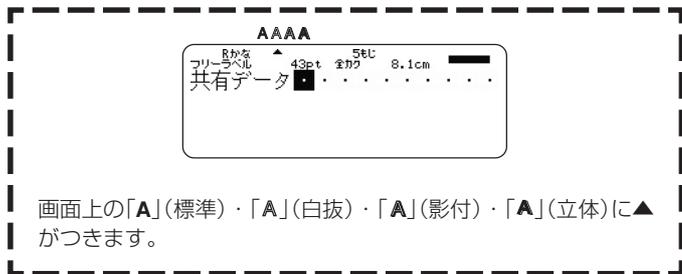


6 **◀ ▶** を押して、文字体を変える最初の文字にカーソルを合わせ、**実行** を押します。



7 ◀ ▶ を押して、文字体を変える最後の文字にカーソルを合わせ、**実行**を押します。

- 設定後、文字入力画面に戻ります。



## 文字に飾りをつける

フリーラベルでは、文字に網を重ねたり、下線をつけたり、枠をつけたることができます。

また、用途別ラベルやPOPラベルでは、フォーマットにより枠をつけることができます。

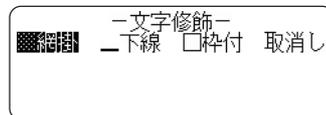
網 掛	下 線	枠付(文字)	枠付(詳細)
修飾	修飾	修飾	修飾

### 文字修飾を指定する

1 文字を入力します。

2 **機能** を押し、指を離してから **43** を押します。

3 ◀ ▶ を押して **文字修飾** を選び、**実行** を押します。



4 ◀ ▶ を押して文字修飾の種類を選び、**実行** を押します。

- **取消し** を選ぶと、指定済みの文字修飾を取り消すことができます。

5 を押して文字修飾する部分を指定し、 を押します。

- **詳細**：文字のかたまりに指定するとき

例 大安売りの店

- **ブロック**：ブロック単位で指定するとき
- **行**：行単位で指定するとき
- **文字**：1文字ずつ指定するとき

例 大安売りの店

どこから？ 詳細  
大安売りの店 . . . . .

6 を押して、文字修飾する最初の文字にカーソルを合わせ、 を押します。

どこまで？ 詳細  
 大安売りの店 . . . . .

7 を押して、文字修飾を指定する最後の文字にカーソルを合わせ、 を押します。

- 設定後、文字入力の画面に戻ります。

フリックで文字を移動  
43pt 全角 9.6cm  
大安売りの店 . . . . .

### こんな文字修飾もできます

網掛、下線、枠付の飾りを重ねてつけることもできます。1つの飾りをつけたあとに、別の飾りを重ねてつけます。

**特売**

網掛+枠付(詳細)

**特売**

網掛+下線

**特売**

網掛+下線+枠付(文字)

※文字の大きさによっては、枠付と下線を重ねると、枠と下線が重なって印刷されることがあります。

## 文字修飾を取り消す

1 を押し、指を離してから を押します。

2 を押して**文字修飾**を選び、 を押します。

3 を押して **取消し** にし、 を押します。

一部の文字修飾を取り消したいときは、 を押して取り消したい文字修飾を選び、 を押します。

4 を押して**文字**にし、 を押します。

5 を押して、文字修飾を取り消したい最初の文字にカーソルを合わせ、 を押します。

6 を押して、文字修飾を取り消したい最後の文字にカーソルを合わせ、 を押します。

一部の文字修飾を取り消したいときは、ここで の代わりに を押します。

# よく使う語句を登録する/呼び出す (プリセットタイトル)

よく使う単語や文章を登録しておき、文字の入力中に呼び出して挿入することができます。

入力できる文字種に制限があるなど、一部の特殊な入力状態では、お使いになれません。

- 最大49文字の語句を50種類まで登録できます。
- お買い上げの状態では、以下の20種類の語句が登録されています(21～50の30種類は未登録)。修正や書き換えが可能です。

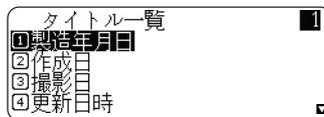
1. 製造年月日
2. 作成日
3. 撮影日
4. 更新日時
5. 交換日
6. 購入日
7. 保存期間
8. 有効期間
9. まで保管
10. まで有効
11. 交換期限
12. 賞味期限
13. 品質保持期限
14. 消費期限
15. 税込¥
16. 本体価格¥
17. BACKUP DATA
18. BEST ALBUM
19. http://
20. E-mail:
- 21～50: (未登録)

## プリセットタイトルを呼び出す

文字を入力中に、プリセットタイトルを呼び出して挿入します。

- 1 を押します。

登録されている語句が表示されます。



- 2  を押して、挿入したい語句を選び、**実行**を押します。
  - 数字キーでも呼び出すことができます。

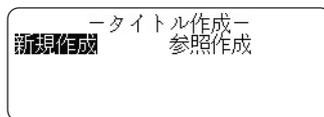
## 新しくプリセットタイトルを作る

文字を入力してプリセットタイトルを作り、登録します。

- 1 を押し、指を離してから を押します。

- 2  を押して**作成**を選び、**実行**を押します。

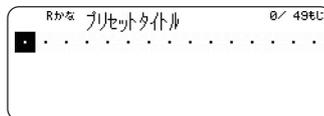
文字入力エリアに文字が無いときは、手順3の画面が表示されます。



- 3  を押して語句の作り方を選び、**実行**を押します。

**新規作成**と**参照作成**から選びます。

- 新規作成…最初から文字を入力して作ります。
- 参照作成…入力中の文字をベースに作ります。



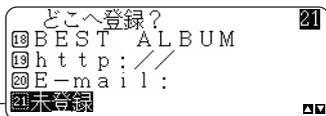
4 文字を入力し、**実行**を押します。

**参照作成**を選んだときは、入力中の文字が表示されます。必要に応じて修正して**実行**を押してください。

- ・記号、絵文字、外字も使うことができます。
- ・書体、文字体、書式を指定することはできません

5 **△****▽**を押して登録する場所を選びます。

「未登録」と表示されている場所は、データが登録されていません。



6 **実行**を押すと、「よろしいですか?」と表示されるので、よければ**実行**を押します。

- ・別の場所に登録したいときは、**取消し**を押します。これで登録は完了です。

#### 参照作成のときには

- ・参照した内容に、サイズマーク、改行マーク、ブロックマークが含まれる場合、空白に置き換わります。
- ・1/4角の文字は半角に置き換わります。
- ・入力中の文字が49文字以上ある場合には、先頭から49文字分が参照できます。

### プリセットタイトルを修正する

登録したプリセットタイトルを、呼び出して修正します。

1 **機能**を押し、指を離してから**△****▽**を押します。

2 **◀****▶**を押して**修正**を選び、**実行**を押します。

3 **△****▽**を押して修正する語句を選び、**実行**を押します。

4 語句を修正し、**実行**を押します。

5 **△****▽**を押して登録する場所を選び、**実行**を押します。「よろしいですか?」と表示されます。

- ・別の場所に登録したいときは、**取消し**を押します。

6 **実行**を押します。これで修正は完了です。

### プリセットタイトルを削除する

登録したプリセットタイトルを削除します。

1 **機能**を押し、指を離してから**△****▽**を押します。

2 **◀****▶**を押して**削除**を選び、**実行**を押します。

3 **△****▽**を押して削除する語句を選び、**実行**を押します。「よろしいですか?」と表示されます。  
・別の語句を削除したいときは、**取消し**を押します。

4 **実行**を押します。削除されたプリセットタイトルの欄は「未登録」になります。

## 日付や時刻をデータに挿入する

資料やディスクの作成日など、現在の日付や時刻をデータに挿入することができます(タイムスタンプ)。また、有効期限や保存期間など、指定した期間が経過した時点の日付や時刻をデータに挿入することができます(タイムスパン)。

タイムスタンプの印刷例

エンジンオイル  
交換日2015年9月6日

タイムスパンの印刷例

会社名	☆○レンタル会社
レンタル物件	パーソナルコンピューター
レンタル期限	2018年9月5日

タイムスタンプとタイムスパンの印刷例

加工年月日	2015年9月6日
消費期限	2015年9月16日

## 現在の日付や時刻をデータに挿入する(タイムスタンプ)

日付や時刻の表示形式は、以下の14の形式から選べます。

平成27年10月26日  
H27.10.26  
2015年10月26日  
2015/10/26  
2015-10-26  
平成27年10月  
2015年10月  
2015/10  
10月26日  
10/26  
10月26日(月)  
10/26(月)  
13時30分  
13:30

(現在の日時が「2015年10月26日 13:30」の場合)

1 タイムスタンプ  
を押します。

現在の日付、時刻を1秒表示した後、日付や時刻の入力形式を選ぶ画面が表示されます。

日付、時刻を設定する→110ページ

2  を押して日付や時刻の入力形式を選び、**実行**を押します。  
画面に現在の日付や時刻が挿入されます。

## 指定期間が経過後の日付や時刻をデータに挿入する(タイムスパン)

1 **機能** を押し、指を離してから **タイムスパン** を押します。

ータイムスパンー

0年 0ヶ月 0日 0時間 0分

2 **↑ ↓ ← →** を押して期間を指定します。

- ・「年」「月」「日」「時」「分」の各項目間には **← →** を押します。数字を指定するときは **↑ ↓** を押します。
- ・直接数字を入力することもできます。
- ・各項目の指定可能範囲は以下のとおりです。  
年：0～30  
月：0～36  
日・時・分：0～99
- ・各項目を指定するときには以下の点に注意してください。
  - 年月のどちらか一方でも「0」でないときには、現在日も含めて計算します。  
例：現在の日付が2015年1月10日のときに年「1」を指定すると2016年1月9日になります。
  - 指定した値では、該当日がないときには、その月の最後の日になります。  
例：1月31日の1ヶ月後を指定すると2月28日になります。

3 **実行** を押します。

- ・「タイムスパン」の下に表示された年月日、時刻でよいか確認してください。
- ・変更したいときは、**取消し** を押して期間を指定し直してください。

よろしいですか？

2015年 9月 5日(土) 13時44分

2015年 12月 4日(金) 13時44分

4 **実行** を押します。

指定した期間後の、日付や時刻で表示された入力形式を選ぶ画面が表示されます。

5 **↑ ↓** を押して日付や時刻の入力形式を選び、**実行** を押します。

画面にご指定の日付や時刻が挿入されます。

# 入力した文字をコピーする・貼り付ける (コピー・ペースト)

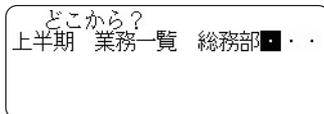
文字をコピーし、呼び出して挿入することができます。

入力できる文字種に制限があるなど、一部の特殊な入力状態では、お使いになれません。

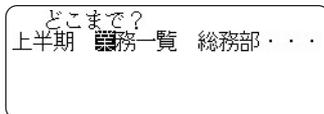
## 文字をコピーする

1 文字を入力します。

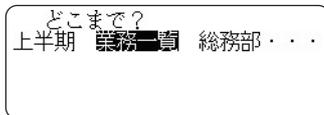
2 **機能** を押し、指を離してから **コピー** を押しします。



3 **戻る** **確認** **戻る** **進む** を押して、コピーをする最初の文字にカーソルを合わせ、**実行** を押しします。



4 **戻る** **確認** **戻る** **進む** を押して、コピーをする最後の文字にカーソルを合わせ、**実行** を押しします。

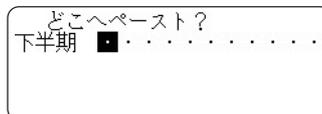


- ・「コピー完了」と表示された後、文字入力画面に戻ります。
- ・コピーは1個だけ取り込むことができます。新たな文字列をコピーすると、以前コピーした文字列は消去されます。

## コピーした文字を貼り付ける(ペースト)

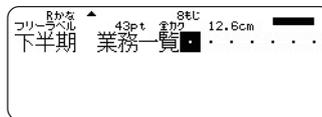
1 文字入力画面で **機能** を押し、指を離してから **ペースト** を押しします。

- ・「どこへペースト?」と表示されます。画面に文字が入力されていないときは、1の操作をすると文字が貼り付けられます。この場合、2の操作は不要です。



2 **戻る** **確認** **戻る** **進む** を押して、文字を貼り付ける場所にカーソルを合わせ、**実行** を押しします。

- 指定した場所に文字が貼り付けられます。



- ・項目に入力できる最大文字数を超えるときは、超過した文字は貼り付けられず、「文字数オーバー ペーストできなかった文字があります」と表示されます。
- ・書体、文字体、文字修飾は貼り付けた位置の指定に従います。
- ・文字は「挿入」(90ページ)で貼り付けられます。「上書き」に設定されているときも「挿入」で貼り付けられます。
- ・コピーした文字にサイズマーク、改行マーク、ブロックマークがある場合、フリーラベル以外のラベルに貼り付けたときは、倍率マーク、改行マーク、ブロックマークが削除された状態で貼り付けられます。
- ・拡大印刷など上付、下付で入力できない状態で貼り付けたときは、コピーした上付、下付の文字は半角に置き換わります。

# オリジナルの文字(外字)を作る

○や□などのように、本機にない文字や記号を自分で作ることができます(外字)。10文字まで本機の中に登録(記憶)しておくことができます。外字では、文字体の指定は無効です。

外字を作る方法には、次の2つがあります。

- ・はじめから自分で作る(新規作成)  
…まったくオリジナルな外字を作るとき
- ・本機の中にある文字を利用して作る(参照作成)  
…○や□のように、既存の文字が利用できるとき

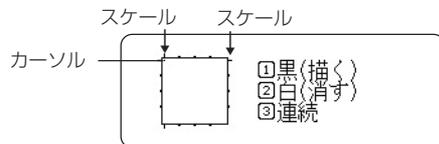
## はじめから自分で作る(新規作成)

[例] 

- 1 **機能** を押し、指を離してから **7** を押しします。
- 2 **◀ ▶** を押しして**作成**を選び、**実行** を押しします。
- 3 **◀ ▶** を押しして**新規作成**を選び、**実行** を押しします。
  - ・手順1で画面に何も文字がなかったり、カーソルの位置に文字がなかった場合は、外字作成画面(手順4の画面)になります。そのまま手順4からはじめてください。

## 4 外字作成画面で外字を作成します。

- ・外字作成画面



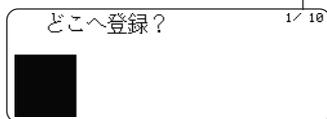
カーソルを移動させるときは	<b>◀ ▶</b> を押ししてカーソルを移動します。
点を1つ塗りつぶすときは	カーソルを目的の位置まで移動し、 <b>1</b> (黒) を押しします。
点を1つ消すときは	塗りつぶされている点までカーソルを移動し、 <b>2</b> (白) を押しします。
線を描くときは	<b>1</b> (黒) を押し、指を離してから <b>3</b> (連続) と押し、 <b>黒(描く)</b> 連続にして、カーソルを移動します。カーソルの移動に合わせて、線が描かれます。
線を消すときは	<b>2</b> (白) を押し、指を離してから <b>3</b> (連続) と押し、 <b>白(消す)</b> 連続にして、カーソルを移動します。カーソルの移動に合わせて、線が消されます。

- ・斜め方向に連続して塗りつぶしたり消したりすることはできません。斜め方向に塗りつぶしたり消したりするときは、1つの点ごとに操作してください。
- ・外字作成画面で[1](黒(描く))または[2](白(消す))のどちらかが指定されているときは、[3](連続)を押すたびに連続入力を「する/しない」が切り替えられます。

連続になっていない場合は、**機能** **◀**、**機能** **▶** でカーソルを画面の左右の端へ、**機能** **▲**、**機能** **▼** でカーソルを上下端へ、それぞれ移動することができます。

5 外字が完成したら、**実行**を押します。

登録番号



6 ◀▶を押して登録する場所を選び、**実行**を押します。  
「よろしいですか?」と表示されます。

- 登録する場所の外字は反転・点滅表示されます。
- 登録されている外字を消したい場合はそのまま**実行**を押します。
- 消したくない場合は、**取消し**を押して、登録番号を選び直します。

7 **実行**を押します。

### 本機にある文字を利用して作る(参照作成)

文字の他に、記号や絵文字も利用することができます。(記号→123ページ、絵文字→124ページ)

[例] 1 → ①

1 「1」を入力します。

2 ◀▶を押して、「1」にカーソルを合わせます。

3 **機能**を押し、指を離してから<sup>7%</sup>を押します。

4 ◀▶を押して**作成**を選び、**実行**を押します。

5 ◀▶を押して**参照作成**を選び、**実行**を押します。

外字作成画面に「1」が表示されます。



6 104ページ「はじめから自分で作る(新規作成)」の手順4からの操作をして、外字を作成、登録します。

### すでに作ってある外字を修正する

1 **機能**を押し、指を離してから<sup>7%</sup>を押します。

2 ◀▶を押して**修正**を選び、**実行**を押します。

3 ◀▶を押して修正する外字を選び、**実行**を押します。  
外字作成画面に、選んだ外字が表示されます。

4 104ページ「はじめから自分で作る(新規作成)」の手順4からの操作をして、外字を修正、登録します。

### 外字を使う

1 外字を入れたい位置にカーソルを合わせます。

2 **機能**を押し、指を離してから<sup>7%</sup>を押します。

- 3 ◀▶を押して**呼出し**を選び、**実行**を押します。



- 4 ◀▶を押して呼び出す外字を選び、**実行**を押します。



- 呼び出した外字を削除するときは、通常の文字と同じ方法で消します。

### 登録した外字を削除する

- 1 **機能**を押し、指を離してから<sup>8.3</sup>**7**を押します。
- 2 ◀▶を押して**削除**を選び、**実行**を押します。
- 3 ◀▶を押して削除する外字を選び、**実行**を押します。  
「よろしいですか?」と表示されます。
- 4 **実行**を押します。  
選んだ外字が削除されます。

外字を文章中で使っていたときに、登録元の外字を削除すると、文章中の外字が入っていた位置は空白で印刷されます。

## よく使う語句を辞書に登録する(ユーザー辞書:語句)

日常よく使う専門用語などを「読み」とともに登録しておく、「読み」を入力するだけで変換できるようになります。また、慣用語などを短い「読み」で登録しておけば、文字が簡単に入力できて便利です。

最大15文字の語句を50種類まで登録できます。

ユーザー辞書は、メインメニュー表示中に登録できます。

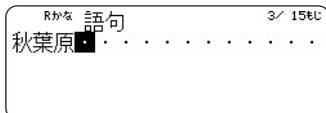
### 語句を登録する

[例] 秋葉原(あきば)

- 1 電源を入れた直後の画面で、**機能**を押し、指を離してから<sup>8.3</sup>**8**を押します。
- 2 ◀▶を押して**ユーザー辞書(熟語)**を選び、**実行**を押します。  
登録されている件数が表示されます。
- 3 ◀▶を押して**新規登録**を選び、**実行**を押します。
- 4 **読み**を入力します。  
ここでは「あきば」と入力します。  
• 読みに入力できる文字はひらがなのみ、最大8文字までです。
- 5 **実行**を押します。  
語句の入力画面が表示されます。

- 6 語句を入力します。  
ここでは「秋葉原」と入力します。

- 語句に入力できる文字は外字を含むすべての文字種で、最大15文字です。



- 7 **実行**を押すと、「登録しますか?」と表示されるので、もう1度**実行**を押します。  
「登録完了」と表示されて、手順2の画面に戻ります。

- 語句は最大50件まで登録できます。

## 登録した語句を修正する

- 1 電源を入れた直後の画面で、**機能**を押し、指を離してから<sup>88</sup>**8**を押します。
- 2 **⏪****⏩****⏴****⏵**を押して**ユーザー辞書(熟語)**を選び、**実行**を押します。  
登録されている件数が表示されます。
- 3 **⏴****⏵**を押して**一覧表示**を選び、**実行**を押します。
- 4 **⏪****⏩**を押して修正したい語句を選び、**実行**を押します。
- 5 **⏴****⏵**を押して**修正**を選び、**実行**を押します。  
読みの修正画面が表示されます。

- 6 読みを修正して、**実行**を押します。  
語句の修正画面が表示されます。

- 7 語句を修正して、**実行**を押します。  
「書き換えますか?」と表示されます。

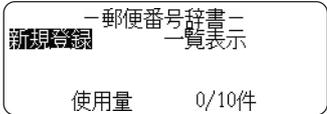
- 8 **実行**を押します。  
「登録完了」と表示されて、手順2の画面に戻ります。

- 登録した語句を削除する  
登録した語句を削除するには、手順5で**削除**を選び、**実行**を押します。  
「削除しますか?」と表示されるので、もう1度**実行**を押すと、「削除完了」と表示されて、手順2の画面に戻ります。

## 郵便番号と住所を辞書に登録する (ユーザー辞書：郵便番号)

郵便番号辞書に登録されている郵便番号や住所の変更が必要なときは、その郵便番号と住所をユーザー辞書に登録しておく、郵便番号を入力するだけで呼び出すことができます。

### 郵便番号を辞書に登録する

- 1 **機能** を押し、指を離してから **8\*** を押します。
- 2 **⏪** **⏩** **⏴** **⏵** を押し、**ユーザー辞書(郵便)** を選び、**実行** を押します。  
登録されている件数が表示されます。  

- 3 **⏴** **⏵** を押し、**新規登録** を選び、**実行** を押します。
- 4 郵便番号を入力します。
  - 郵便番号に入力できる文字は数字のみ、7桁です。ハイフン(-)は不要です。
- 5 **実行** を押します。  
住所の入力画面が表示されます。

## 6 住所を入力します。

- 住所に入力できる文字は空白以外のすべての文字種で、最大30文字です。

## 7 **実行** を押し、「登録しますか?」と表示されるので、もう1度 **実行** を押します。

「登録完了」と表示されて、手順2の画面に戻ります。

- 郵便番号は最大10件まで登録できます。

### ●登録した郵便番号の修正・削除

登録した郵便番号を修正、削除するには、手順3で**一覧表示**を選び、**実行** を押します。

**⏪** **⏩** を押し、修正したい項目を選び、**実行** を押すと対象データの内容が表示されます。

**⏴** **⏵** を押し、1行目の**修正**、または**削除**を選び、「ユーザー辞書：語句」と同様の手順で修正、または削除してください。

# 設定編

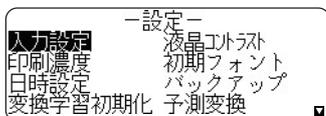
文字の入力方法や画面の明るさなど、本機を操作するための設定方法について説明します。

## 設定を変える

文字の入力方法や画面の明るさなどの設定を使いやすいように変更することができます。

### 設定できる項目

電源を入れて最初に **機能** を押し、指を離してから **(8)** を押しと、右の画面が表示されます。



↑ ↓ ← → で設定したい項目を選んで画面を切り替え、設定を変更します。

- 電源を入れた直後以外の画面では、一部の項目が画面に表示されないことがあります。

設定項目	内容	ページ
入力設定	挿入/上書き	文字の入力方法を定める 90
	ローマ字入力/かな入力	日本語の入力方法を定める 78
	ブザーON/ブザーOFF	ブザー音を鳴らす/鳴らさないを決める 109
液晶コントラスト	画面のコントラストを調整する 110	
印刷濃度	印刷の濃さを調整する 110	
初期フォント	入力文字の最初の書体を定める 95	
日時設定	日付、時刻を設定する 110	
バックアップ	本機で登録したデータをパソコンに保存する 70	

設定項目	内容	ページ
変換学習の初期化	変換学習した情報を初期化する	110
予測変換	予測変換の機能を使うかどうかを決める	111
ユーザー辞書(熟語)	「読み」と「語句」の組み合わせを登録して、熟語変換の候補として表示させる	106
ユーザー辞書(郵便)	「郵便番号」と「住所」の組み合わせを登録して、「宛名ラベル」での郵便番号変換の候補として表示させる	108
デモ印刷	いろいろな機能を使って作成したラベルの印刷例を印刷する	111

### ブザー音を消したい

電源を入れたときやキー操作を間違ったときに鳴る「ピッ」というブザー音を消すことができます。

1 **機能** を押し、指を離してから **(8)** を押しします。

2 ↑ ↓ ← → を押しして **入力設定** を選び、**実行** を押しします。

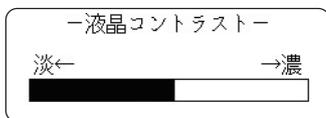
3 ↑ ↓ ← → を押しして **ブザーOFF** を選び、**実行** を押しします。

- ブザー音を鳴らしたいときは、**ブザーON** にします。

## 画面のコントラストを変えたい

画面のコントラストを調整することができます。

- 1 **機能** を押し、指を離してから **8b** を押します。
- 2 **⬆️** **⬇️** **⬅️** **➡️** を押して **液晶コントラスト** を選び **実行** を押します。
- 3 **⬅️** **➡️** を押して画面のコントラストを調整し、**実行** を押しします。  
**⬅️** を押すごとに淡く、**➡️** を押すごとに濃くなります。



## 印刷の濃さを変えたい

印刷された文字が薄かったり、濃かったりしたときは、好きな濃さに変えることができます。

- 1 **機能** を押し、指を離してから **8b** を押します。
- 2 **⬆️** **⬇️** **⬅️** **➡️** を押して **印刷濃度** を選び、**実行** を押しします。
- 3 **⬅️** **➡️** を押して濃さを設定し、**実行** を押しします。  
1 にすると1番薄く印刷され、  
5 にすると1番濃く印刷されます。



- ・印刷の濃さの設定を変更しても、使用環境或使用状況が変わらない場合は、実際に印刷される濃度が変わらないことがあります。

## 日付、時刻を設定する

正しい日付、時刻を設定することができます。

- 1 **機能** を押し、指を離してから **8b** を押します。
- 2 **⬆️** **⬇️** **⬅️** **➡️** を押して **日時設定** を選び、**実行** を押しします。
- 3 **⬅️** **➡️** **⬆️** **⬇️** を押して、日付、時刻を設定します。  
・「年」「月」「日」「時」「分」の各項目間の移動には、**⬅️** **➡️** を押しします。数字を指定するときには **⬆️** **⬇️** を押しします。  
・直接数字を入力することもできます。
- 4 設定が終わったら、**実行** を押しします。

## 変換学習した情報を初期化したい

学習機能によって記憶されている変換の情報を初期化して、ご購入後の状態に戻します。

- 1 **機能** を押し、指を離してから **8b** を押します。
- 2 **⬆️** **⬇️** **⬅️** **➡️** を押して **変換学習初期化** を選び、**実行** を押しします。
- 3 **実行** を押しします。  
記憶されている情報が初期化され、「初期化完了」と表示されます。  
・初期化をとりやめるときは **取消** を押してください。

## 予測変換しないように設定したい

入力した文字から変換候補を予測する予測変換の機能を使わないように設定できます。

- 1 **機能** を押し、指を離してから **8b** を押します。
- 2 **⤴** **⤵** **⤶** **⤷** を押して **予測変換** を選び、**実行** を押します。
- 3 **⤶** **⤷** を押して **しない** を選び、**実行** を押します。
  - ・「する」を選んで **実行** を押すと、予測変換の機能を使う設定に戻ります。

## サンプルデータを印刷する(デモ印刷)

内蔵のサンプルデータを印刷して、本機でどんなラベルが作れるかを見ることが出来ます。

**重要**  デモ印刷をすると、前回作成したデータは消えてしまいます。  
大切なデータの場合には、登録してから印刷をしてください。  
(データの登録→69ページ)

- 1 テープカートリッジがセットされていることを確認します。
  - ・テープカートリッジについて→17ページ
- 2 電源が入っているときは **切** を押して電源を切ります。
- 3 **入** を押して電源を入れます。

- 4 **機能** を押し、指を離してから **8b** を押します。
- 5 **⤴** **⤵** **⤶** **⤷** を押して **デモ印刷** を選び、**実行** を押します。
- 6 **⤶** **⤷** を押して **印刷** を選び、**実行** を押します。
- 7 「枚数 1枚」「カットモード 通常」になっていることを確認します。
  - ・印刷枚数やカットモードを変更することもできます。(26ページ)
  - ・特殊なテープで印刷するときは、テープカートリッジに合わせて、カットモードを変更してください。(26ページ)
- 8 **実行** を押します。
  - ・印刷が始まります。
  - ・デモ印刷中に、途中で印刷が数秒止まることがあります。故障ではありません。
  - ・セットしているテープカートリッジの幅によって、印刷される内容は異なります。
- 9 印刷が終了したら **⤶** **⤷** を押して **終了** を選び、**実行** を押します。  
「終了しますか?」と表示されます。
- 10 **実行** を押します。

# 付 録

## お手入れの方法

プリンターヘッドやゴムローラーが汚れていると、ラベルにきれいに印刷されません。次の手順にしたがって、プリンターヘッドやゴムローラーをきれいにしてください。

### 綿棒できれいにする

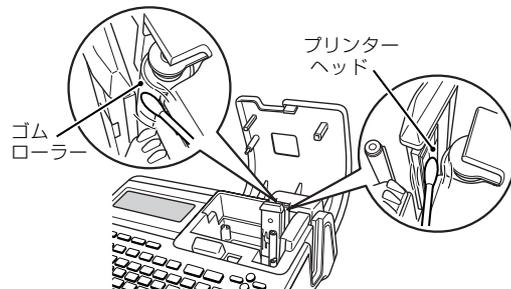
- 重要**  ・プリンターヘッドやゴムローラーのお手入れは、綿棒などの柔らかいもので行ってください。また、綿棒は極細タイプをお使いになることをおすすめします。
- ・プリンターヘッドおよび周りの金属部分は印刷をすると高温になるため、お手入れは、印刷後、十分に時間を置いてから行ってください。また、プリンターヘッド部分には直接触れないように注意してください。

### 1 収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。

- ・テープカートリッジが装着されているときは、テープカートリッジを取り出します。

### 2 アルコールを浸した綿棒でプリンターヘッド、ゴムローラーの表面を拭きます。

ローラーとプリンターヘッドが接触する部分を重点的に拭いてください。



- ・ゴムローラーは、**機能** を押し、指を離してから **0** を押しと回転します。回転させて、ゴムローラー全体をクリーニングしてください。

## クリーニングテープを使う

別売のクリーニングテープ(XR-46CLE)を使うこともできます。

- 1 収納部オープンボタンを押して、テープカートリッジ収納部のカバーを開けます。
  - ・テープカートリッジが装着されているときは、テープカートリッジを取り出します。
- 2 クリーニングテープを本機に装着します。
- 3 (入) を押して電源を入れます。
- 4 [機能] を押し、指を離してから [08] を押して、「テープ送り」を1～2回行います。

詳しくはクリーニングテープに付属の取扱説明書をご参照ください。

### 本体もお手入れしましょう

柔らかい布を水に浸してから固く絞って、本体を拭いてください。

本体を傷つけるので、ベンジン、アルコールやシンナーなどの揮発性のものは使わないでください。

## こんなときは (トラブルシューティング)

本機がうまく動かないときには、次の対処方法にしたがってトラブルを解決してください。次の対処方法で解決できないトラブルは、「メモリーの初期化」(14ページ)をしてください。(メモリーの初期化をすると本機に記憶したデータが消去されます。必要なデータはノートなどに控えをとっておくか、「データのバックアップ」(70ページ)をしてください。)それでも解決できない場合は、故障している可能性もありますので、お買い上げ店、もよりの本機取扱店、もしくは「修理に関するお問い合わせ窓口」にご相談ください。

症状	考えられる原因	ご確認ください
● (入) を押しても何も表示されない	画面のコントラストが適切でない	画面のコントラストの設定を調整してください。(110ページ)
	ACアダプターおよび電源コードがきちんと接続されていない	ACアダプターおよび電源コードを正しく接続してください。(13ページ)
	指定以外のACアダプターを使用している	指定のACアダプターをご使用ください。
● 正しく終了するが何も印刷されない	「空白」だけが入力されている	印刷したい文章を入力してください。
	パソコンから何も入っていないデータを取り込んで印刷しようとした	正しいデータを取り込み直してください。
	テープが終了している	新しいテープカートリッジと交換してください。
● テープカートリッジが取り出せない	テープおよびインクリボンがプリンターヘッドとローラーの間にはさまれている	一度、電源を切り、再度、電源を入れてからテープカートリッジを取り出してください。それでも取り出せない場合は、以下の操作をしてください。 <ol style="list-style-type: none"><li>1. (切) を押します。</li><li>2. [Dv] と [H2] をいっしょに押しながら、(入) を押します。</li><li>3. [Dv] と [H2] をいっしょに押し続けたまま、(入) から指を離します。</li><li>4. テープカートリッジを取り出します。</li></ol>

症状	考えられる原因	ご確認ください
● テープカートリッジが取り付けできない	プリンターヘッドとローラーがくっついている	以下の操作をしてください。 1. (切) を押します。 2. (D) と (H) をいっしょに押しながらか、(入) を押します。 3. (D) と (H) をいっしょに押し続けたまま、(入) から指を離します。 4. テープカートリッジを取り付けます。
● 印刷が不鮮明になった	プリンターヘッドやゴムローラーに、汚れ、ゴミ、異物が付着している	クリーニングをしてください。(112ページ)
● 印刷がきれいにできない	インクリボンのたるみによるしわが発生した	インクリボンを巻き取り、テープカートリッジを正しくセットし直してください。(17ページ)
● 印刷が薄い	テープカートリッジが正しくセットされていない	正しくセットし直してください。
	印刷濃度の設定が薄い	印刷濃度を調節してください。(110ページ)
● 印刷されない	指定以外のACアダプターを使用している	指定のACアダプターをご使用ください。
● 印刷中に電源が切れる	指定以外のACアダプターを使用している	指定のACアダプターをご使用ください。
● 文字が入力できない	(機能) を押した状態になっている	(取消) を押して、文字が入力できる画面にします。
● 目的の漢字に正しく変換されない	正しい「読み」が入力されていない	正しい「読み」を入力してください。特に、拗音(「しょう」の「よ」など)や促音(「がっき」の「っ」など)の入力には注意してください。
	入力できる文字の種類が自分の思っている種類と違っている	(あア) (aA) を押して変更してください。(78ページ)

症状	考えられる原因	ご確認ください
● パソコンとつながらない	(USB) を押していない	(USB) を押してパソコンと接続できる状態にしてください。
	USBケーブルが正しく接続されていない	正しく接続し直してください。
	電源を入れていない	(入) を押して、電源を入れてください。
	通信の内容にあった通信モードになっていない	印刷ソフトの場合： (USB) を押してパソコンと接続できる状態にしてください。 デザインロゴの場合： (デザイン) を押してデザインロゴのモードに入り「データインストール」→「受信」を選択してパソコンと接続できる状態にしてください。 バックアップの場合： (機能) を押し、指を離してから (8) を押して、設定に入り、「バックアップ」を選択してパソコンと接続できる状態にしてください。
	USBケーブルが正しく接続されていない	正しく接続し直してください。
	電源を入れていない	(入) を押して、電源を入れてください。

症状	考えられる原因	ご確認ください
●パソコンとつながらない	プリンタードライバーがパソコンにインストールされていない	パソコンにプリンタードライバーをインストールしてください。(はじめにお読みください) それでもつながらない場合には、パソコンのUSBポートを別のポートに差し替えたり、USBケーブルを別のケーブルに交換したりしてください。 ※USBケーブルは、USB規格に準拠した市販品(A-microBタイプ)を使用してください。
●  などの機能キーを押しても画面が変わらない	入力中の文字が確定されていない	ひらがなや漢字は必ず確定してください。文字に下線が付いていたり■が重なっていたりすると(確定前)、他の機能が使えません。
●  を押してもテープが出てこない	テープカートリッジ収納部のカバーがしっかりと閉まっていない テープが終了している	カバーをしっかりと閉めてください。(18ページ) 新しいテープカートリッジ(別売)に交換してください。(18ページ)

症状	考えられる原因	ご確認ください
●  を押してもテープが出てこない	テープが詰まっている	テープカートリッジを取り出して、詰まったテープを指で引き出します。引き出したテープはハサミなどでカットしてください。そのあと、正しくセットし直します。(18ページ) <b>重要</b>  印刷中に、次のようなことはしないでください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・テープ出口をふさぐ</li> <li>・出てくるテープに触る</li> <li>・テープカートリッジ収納部のカバーを開ける</li> <li>・電源を切る</li> </ul>
	指定以外のACアダプターを使用している	指定のACアダプターをご使用ください。
●インクリボンがテープといっしょにテープ出口からでてきた	インクリボンがたるんでいるままで、テープカートリッジをセットした	テープカートリッジを取り出します。インクリボンが切れていないことを確かめてから、インクリボンを巻きとってください。そのあと正しくセットしなおしてください。(17ページ) <b>重要</b>  ・テープカートリッジをセットするときは、必ずインクリボンのたるみをとってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・インクリボンが切れているときは、新しいテープカートリッジ(別売)に交換してください。</li> </ul>

症状	考えられる原因	ご確認ください
● テープが切れない	テープカッターが摩耗している	「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡して交換してください。
	テープ出口にテープが詰まっている	電源を切って、テープカートリッジを取り出し、詰まったラベルを取り除いてください。
	書式の余白が、「送り無」に設定されている	「余白小」、「余白中」または「余白大」に設定しなおしてください。(43ページ)
	カットモードを「カットしない」に設定している ラベルの長さが短い (余白小で約30mm以下 余白中で約37mm以下 余白大で約47mm以下)	「カットしない」以外に設定してください。(26ページ) 印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。
● ハーフカットができな い	ハーフカッターが摩耗している	「修理に関するお問い合わせ窓口」に連絡して交換してください。
	カットモードを「特殊テープ」「カットしない」に設定している	カットモードを「通常」または「切り離す」に設定してください。(26ページ)
	ラベルの長さが短い (余白小で約30mm以下 余白中で約37mm以下 余白大で約47mm以下)	印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。

症状	考えられる原因	ご確認ください
● ラベルが貼れない	裏紙をはがしていない	裏紙をはがしてから貼ってください。(24ページ)
	貼る場所やものが適していない	表面がザラザラしているもの、水や油がついているもの、汚れているものなどには貼れません。(24ページ)
● ラベルの余白が大きい	ラベル間の余白が大きい 場合：書式の余白が「余白大」「余白中」に設定されている	「余白小」または「送り無」に設定し直してください。(43ページ)
	ラベル先頭の余白が大きい 場合：本機の構造上、印刷時にはラベルの先頭に必ず余白が入ります	

# エラーメッセージ一覧

メッセージ	原因と対処	参照ページ
印刷準備中 (印刷中に表示され、印刷が止まっている)	<ul style="list-style-type: none"> <li>繰り返して印刷したときなど、プリンター部分に熱がこもった場合 →そのままの状態、しばらくお待ちください。 プリンター部分が通常の温度に戻ると、印刷が始まります。</li> </ul>	—
	※上記の対処をしても「印刷準備中」のまま、まったく印刷できないような場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にお問い合わせください。	—
	<ul style="list-style-type: none"> <li>拡大印刷など、大きな文字を印刷しようとした場合 →そのままの状態、しばらくお待ちください。 印刷準備が完了すると、印刷が始まります。</li> </ul>	35
同じデータがあります	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザー辞書の登録で、全く同じデータがすでに登録されている場合 → <b>取消</b> を押して登録を終了してください。</li> </ul>	106
同じ登録名があります	<ul style="list-style-type: none"> <li>入力した登録名がすでに登録されているものと重複している場合 →登録名を入力し直してください。</li> </ul>	69

メッセージ	原因と対処	参照ページ
桁数が奇数(偶数)です	<ul style="list-style-type: none"> <li>バーコード印刷(ITF)のチェックデジット「無」において、入力する桁数が奇数の場合 →先頭に「0」を付けて入力し直してください。</li> <li>バーコード印刷(ITF)のチェックデジット「有」において、入力する桁数が偶数の場合 →先頭に「0」を付けて入力し直してください。</li> </ul>	56
桁数が不足です	<ul style="list-style-type: none"> <li>バーコード印刷で、印刷できる桁数に満たないまま印刷しようとした場合 →正しい桁数に入力し直してください。</li> <li>郵便番号入力で、数字入力が7桁未満の場合 →7桁の数字を入力し直してください。</li> </ul>	56
行数オーバー 印刷できません	<ul style="list-style-type: none"> <li>印刷できる行数を超えて印刷しようとした場合 →行数を減らすか、テープ幅を変えてください。</li> </ul>	38
行数オーバー フレーム付きで印刷できません	<ul style="list-style-type: none"> <li>フレーム印刷できる行数を超えて印刷しようとした場合 →行数を減らすか、テープ幅を変えてください。</li> </ul>	54
コメントが入力されています	<ul style="list-style-type: none"> <li>QRコード印刷で、コメントが未入力のまま印刷しようとした場合 →コメントを入力してください。</li> </ul>	63

メッセージ	原因と対処	参照ページ
該当候補なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字辞書で候補の漢字がない場合 → <b>取消し</b> を押して違う読みを入力してください。</li> </ul>	83
	<ul style="list-style-type: none"> <li>郵便番号辞書で候補の住所がない場合 → 入力した郵便番号が正しいかどうか確認してください。</li> </ul>	66
作成中の内容が失われますがよろしいですか？	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章を消して操作を進める場合 → <b>実行</b> を押してください。</li> <li>文章を消したくない場合 → <b>取消し</b> を押してからその文章を登録してください。</li> </ul>	69
指定したテープ長より長くなりますがよろしいですか？ 実行/取消し	<ul style="list-style-type: none"> <li>印刷する場合 → <b>実行</b> を押してください。</li> <li>印刷しない場合 → <b>取消し</b> を押し、「文字数を減らす」、「テープ長を指定し直す」、または書式内で「テープ長を<b>自動</b>にする」などを行ってください。</li> </ul>	45
数字が入力されていません	<ul style="list-style-type: none"> <li>ナンバリング印刷で、何も入力しないで印刷しようとした場合 → 数字を入力してください</li> </ul>	34
前回正しく終了できなかった可能性があります	<ul style="list-style-type: none"> <li>前回、電源が入っているときや「しばらくお待ちください」と表示されているときに、ACアダプターを取り外すなどして正常に終了できなかった場合 → 登録内容の一部が消去されています。何かキーを押すと、その部分が初期化されます。</li> </ul>	13、14、70

メッセージ	原因と対処	参照ページ
	<ul style="list-style-type: none"> <li>DATA STOCK TOOLを使ってパソコンにバックアップしておいたデータを本機に戻しているときに、ACアダプターやUSBケーブルを取り外すなどして送信を中断してしまった場合 → データが正しく本機に送信されていません。最初から送信をやり直してください。</li> </ul>	13、14、70
パソコンとの接続を確認してください	<ul style="list-style-type: none"> <li>USBケーブルのコネクターがしっかりと接続されていない場合 → USBケーブル(USB規格に準拠した市販品:A-microBタイプ)をコネクターにしっかりと差し込んでください。</li> <li>パソコンの電源が切れている場合 → パソコンの電源を入れてから操作してください。</li> </ul>	—
データが登録されていません	<ul style="list-style-type: none"> <li>登録されていないプリセットタイトルを呼出し・修正・削除しようとした場合 → 別のプリセットタイトルを選択してください。</li> <li>登録データの呼出しや削除またはユーザー辞書の一覧表示で、データが1つも登録されていない場合 → データを登録してください。</li> </ul>	69、99、106

メッセージ	原因と対処	参照ページ
データが入力されていません	<ul style="list-style-type: none"> <li>QRコード印刷で、データ未入力のまま印刷しようとした場合</li> </ul> <p>→ データを入力してください。</p>	63
テープエラー テープカートリッジが不 適当です	<ul style="list-style-type: none"> <li>テープカートリッジ収納部のカバーがしっかりと閉まっていない場合</li> </ul> <p>→ カバーをしっかりと閉めてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>印刷または呼び出ししようとしているものに対して、テープカートリッジが不適当な場合</li> </ul> <p>→ 電源を切ってテープカートリッジを交換してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電源が入っているときにテープカートリッジを交換した場合</li> </ul> <p>→ 電源を切ってテープカートリッジを交換してください。</p>	17
テープエラー テープカートリッジを装着 してください	<ul style="list-style-type: none"> <li>テープカートリッジが装着されていない。または、正しく装着されていない場合</li> </ul> <p>→ テープカートリッジを正しく装着してください。</p>	17
デザインロゴのデータがイ ンストールされていません	<ul style="list-style-type: none"> <li>デザインロゴ転送ソフト「デザインロゴチェンジャー」でパソコンからインストールしていないフォルダを選択した場合</li> </ul> <p>→ インストールしてあるフォルダを選択し直すか、パソコンからデザインロゴのデータをインストールしてください。</p>	71

メッセージ	原因と対処	参照ページ
プリントエラー テープカートリッジを確認 してください	<ul style="list-style-type: none"> <li>印刷中に、テープが詰まった場合</li> </ul> <p>→ 電源を切って、テープカートリッジを取り出し、詰まったテープを取り除いてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>オートテープカッターに異物がはさまった場合</li> </ul> <p>→ 電源を切って、テープカートリッジを取り出し、オートテープカッターにはさまった異物を取り除いてください。</p>	17
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゴムローラーに「ゴミ」や「テープの切れかす」などの異物が付着した場合</li> </ul> <p>→ ゴムローラーに付着した異物を取り除き、ゴムローラーをクリーニングしてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>テープカートリッジ収納部にあるセンサーに「テープの切れかす」などの異物が付着した場合</li> </ul> <p>→ テープカートリッジ収納部から「テープの切れかす」などの異物を取り除いてください。</p>	112
	<p>※上記の対処をしても、メッセージが表示される場合は、お買い上げの販売店または「修理に関するお問い合わせ窓口」にお問い合わせください。</p>	—

メッセージ	原因と対処	参照ページ
長さオーバー 印刷できません	<ul style="list-style-type: none"> <li>印刷できるテープの長さを超えて印刷しようとした場合</li> <li>→テープの長さを短くする、または印刷枚数を減らしてください。</li> </ul>	43
長さが短すぎてカットできませんがよろしいですか？ 実行/取消し	<p>印刷時に先頭の不要部分のカットができない場合、または、1枚ごとのカットができない場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>印刷する場合</li> <li>→<b>実行</b>を押してください。 印刷が終わったら、ハサミなどで切ってください。</li> <li>自動的にテープカットをしながら印刷をする場合(ナンバリング以外)</li> <li>→余白を大きく(小→中または中→大)指定し直してください(カットモードを「特殊テープ」、余白を「大」に指定すると必ず前後の余白をそろえることができます)。</li> <li>自動的にテープカットをしながら印刷をする場合(ナンバリング)</li> <li>→書式でテープ長さを「固定」に指定し直してください。</li> </ul>	43、 27
ブロック数オーバー	<ul style="list-style-type: none"> <li>16個目のブロックマークを入力しようとした場合</li> <li>→文章のブロック数を減らしてください(不要なブロックマークを削除してください)。</li> </ul>	37

メッセージ	原因と対処	参照ページ
ブロック数オーバー ペーストできません	<ul style="list-style-type: none"> <li>コピーした文字を貼り付けるとブロックマークが16個以上になる場合</li> <li>→貼り付けるブロックマークを含めた総ブロックマーク数が16個以上にならないように入力し直してください。</li> </ul>	37、 103
無効な文字があります	<ul style="list-style-type: none"> <li>バーコード印刷で、入力可能な文字種以外の文字を入力して印刷しようとした場合</li> <li>→不適当な文字を削除してください。</li> <li>バーコード印刷(CODABAR)で、スタートコード(先頭)またはストップコード(末尾)に「A」「B」「C」「D」以外の文字を入力して印刷しようとした場合</li> <li>→正しい文字を入力し直してください。</li> </ul>	56
	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字辞書の読み検索で、ひらがな、長音以外の文字が含まれていた場合</li> <li>→正しい文字を入力し直してください。</li> </ul>	83
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザー辞書登録(熟語変換)の読み入力で、ひらがな、長音以外の文字が含まれていた場合または先頭の文字が適切でない(長音、拗音、促音など)場合</li> <li>→正しい文字を入力し直してください。</li> </ul>	106
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ユーザー辞書登録(郵便番号)の住所入力で、空白が含まれていた場合</li> <li>→空白を削除してください。</li> </ul>	108
メモリーオーバー 登録できません	<ul style="list-style-type: none"> <li>メモリーの容量が足りず登録できない場合</li> <li>→登録してあるデータをどれか消してから再登録してください。</li> </ul>	69

メッセージ	原因と対処	参照 ページ
メモリーオーバー 作成後に登録できません 実行/取消し	<ul style="list-style-type: none"> <li>登録のためのメモリー容量がいっぱいになった状態で、データを作成しようとした場合</li> <li>→印刷はしたいが、登録はしない場合は、<b>実行</b>を押して操作を続けてください。登録をする場合は、不要な登録文章を削除してから操作してください。</li> </ul>	69
文字が入力されていません	<ul style="list-style-type: none"> <li>文字を入れないで次の操作に進もうとした場合</li> <li>→文字を入力してから次の操作をしてください。</li> </ul>	22
文字数オーバー 参照できなかった文字があります	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリセットタイトルを49文字を超えて参照作成しようとした場合</li> <li>→先頭から49文字だけ参照されますので、必要に応じて修正してください。</li> </ul>	99
文字数オーバー ペーストできなかった文字があります	<ul style="list-style-type: none"> <li>コピーした文字を貼り付けると、総文字数が項目の最大文字数を超えてしまう場合</li> <li>→貼り付ける文字を含めた総文字数が、項目の最大文字数を超えないように入力し直してください。</li> </ul>	103
文字数オーバー 呼出しで できなかった文字があります	<ul style="list-style-type: none"> <li>選択したプリセットタイトルやタイムスタンプ、タイムスパンを呼び出すと、総文字数が項目の最大文字数を超えてしまう場合</li> <li>→呼び出す文字数を含めた総文字数が、項目の最大文字数を超えないように入力し直してください。</li> </ul>	99、 101

# ローマ字入力一覧

ローマ字入力するときの、綴り方の一覧表です。

あ行	あ	い	う	え	お
	A	I	U	E	O
か行	か	き	く	け	こ
	KA	KI	KU	KE	KO
	CA		CU		CO
			QU		
が行	が	ぎ	ぐ	げ	ご
	GA	GI	GU	GE	GO
ざ行	さ	し	す	せ	そ
	SA	SI	SU	SE	SO
		SHI			
ぢ行	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
	ZA	ZI	ZU	ZE	ZO
		JI			
た行	た	ち	つ	て	と
	TA	TI	TU	TE	TO
		CHI	TSU		
だ行	だ	ぢ	づ	で	ど
	DA	DI	DU	DE	DO
な行	な	に	ぬ	ね	の
	NA	NI	NU	NE	NO
は行	は	ひ	ふ	へ	ほ
	HA	HI	HU	HE	HO
			FU		
ば行	ば	び	ぶ	べ	ぼ
	BA	BI	BU	BE	BO
ぱ行	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ
	PA	PI	PU	PE	PO
ま行	ま	み	む	め	も
	MA	MI	MU	ME	MO
や行	や		ゆ	い	え
	YA		YU	YE	YO

ら行	ら	り	る	れ	ろ
	RA	RI	RU	RE	RO
	LA	LI	LU	LE	LO
わ行	わ	ゐ	う	ゑ	を
	WA	WI	WU	WE	WO
ん行	ん				
	NN, N +子音				
	MP +母音、MB +母音				
きゃ行	きゃ	きい	きゅ	きえ	きよ
	KYA	KYI	KYU	KYE	KYO
ぎゃ行	ぎゃ	ぎい	ぎゅ	ぎえ	ぎよ
	GYA	GYI	GYU	GYE	GYO
くぁ行	くぁ	くゐ	くゑ	くお	
	QA	QI	QE	QO	
くわ行	くわ	くゐ	くゑ	くお	
	KWA	KWI	KWU	KWE	KWO
	QWA				
ぐわ行	ぐわ	ぐゐ	ぐゑ	ぐお	
	GWA	GWI	GWU	GWE	GWO
しゃ行	しゃ	しゅ	しゑ	しよ	
	SYA	SYU	SYE	SYO	
	SHA	SHU	SHE	SHO	
じゃ行	じゃ	じい	じゅ	じゑ	じよ
	ZYA	ZYI	ZYU	ZYE	ZYO
	JA	JU	JE	JO	
	JYA	JYI	JYU	JYE	JYO
ちゃ行	ちゃ	ちゐ	ちゅ	ちゑ	ちよ
	TYA	TYI	TYU	TYE	TYO
	CYA	CYI	CYU	CYE	CYO
	CHA	CHU	CHE	CHO	
ぢゃ行	ぢゃ	ぢゐ	ぢゅ	ぢゑ	ぢよ
	DYA	DYI	DYU	DYE	DYO

つぁ行	つぁ	つゐ	つゑ	つお	
	TSA	TSI	TSE	TSO	
てゃ行	てゃ	てゐ	てゅ	てゑ	てよ
	THA	THI	THU	THE	THO
でゃ行	でゃ	でゐ	でゅ	でゑ	でよ
	DHA	DHI	DHU	DHE	DHO
とぅ		とぅ			
		TWU			
どぅ		どぅ			
		DWU			
にゃ行	にゃ	にゐ	にゅ	にゑ	によ
	NYA	NYI	NYU	NYE	NYO
ひゃ行	ひゃ	ひゐ	ひゅ	ひゑ	ひよ
	HYA	HYI	HYU	HYE	HYO
びゃ行	びゃ	びゐ	びゅ	びゑ	びよ
	BYA	BYI	BYU	BYE	BYO
ぴゃ行	ぴゃ	ぴゐ	ぴゅ	ぴゑ	ぴよ
	PYA	PYI	PYU	PYE	PYO

ふぁ行	ふぁ	ふゐ	ふゑ	ふお	
	FA	FI	FE	FO	
ふゃ行	ふゃ	ふゐ	ふゅ	ふゑ	ふよ
	FYA	FYI	FYU	FYE	FYO
ぶゃ行	ぶゃ	ぶゐ	ぶゅ	ぶゑ	ぶよ
	VYA	VYI	VYU	VYE	VYO
みゃ行	みゃ	みゐ	みゅ	みゑ	みよ
	MYA	MYI	MYU	MYE	MYO
りゃ行	りゃ	りゐ	りゅ	りゑ	りよ
	RYA	RYI	RYU	RYE	RYO
	LYA	LYI	LYU	LYE	LYO
ぶぁ行	ぶぁ	ぶゐ	ぶゑ	ぶお	
ヴぁ行	ヴぁ	ヴゐ	ヴゑ	ヴお	
	VA	VI	VU	VE	VO

・カタカナを入力する場合は、**〔あ〕**を何回か押して、画面左上に「Rカナ」表示させてから入力してください。

## 小文字 (拗音・促音)

あ XA 〔シフト〕+A	い XI 〔シフト〕+I	う XU 〔シフト〕+U	え XE 〔シフト〕+E	お XO 〔シフト〕+O
や XYA 〔シフト〕A	ゆ XYU 〔シフト〕U	よ XYO 〔シフト〕O	わ XWA 〔シフト〕A	
つ XTU, XTSU, LTU T〔シフト〕U, TS〔シフト〕U		か XKA K〔シフト〕A	け XKE K〔シフト〕E	

・N以外の子音を2度入力しても「っ」や「っ」になります。







## 絵文字

### ●生き物



### ●干支



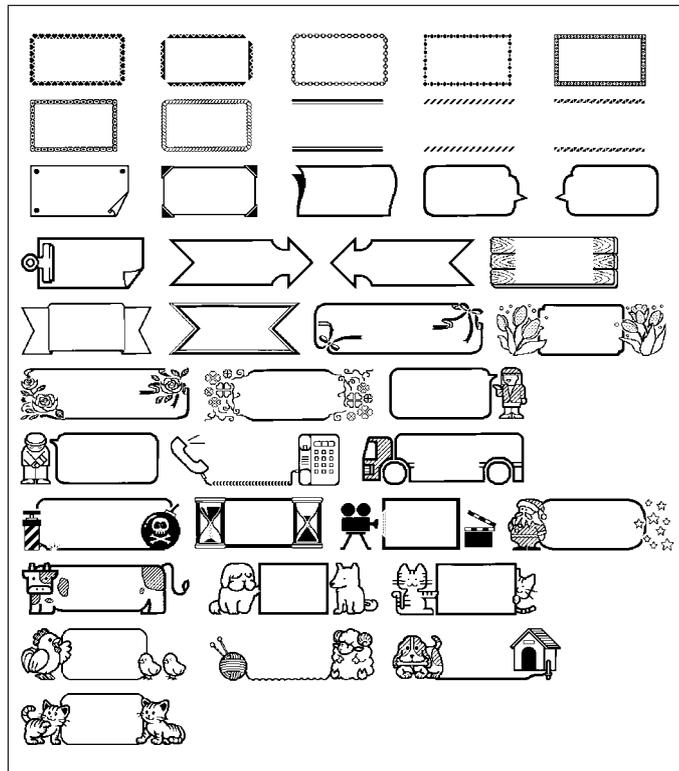
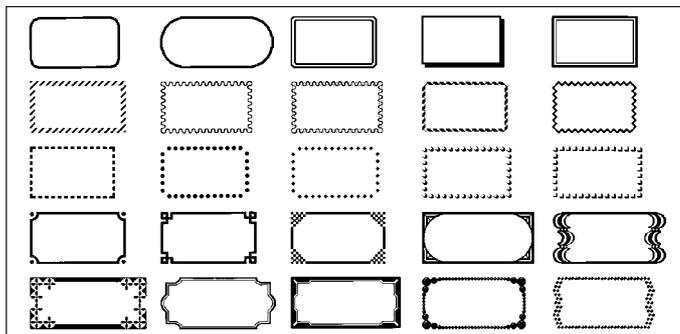
### ●星座



### ●全部

「オフィス」から「星座」までの絵文字すべてが入ります。表示される順番は多少変わります。

## フレーム一覧



# 用途別ラベルフォーマット一覧

お使いになるテープカートリッジの幅によって、フォーマットの表示が異なることがあります(入力項目が異なることはありません)。

用途	長さ (mm)	印刷可能テープ幅(mm)							方向	番号	フォーマット	入力 項目数	
		46	36	24	18	12	9	6					3.5
CD/ DVD	CD/ DVD 表 (大)	◎	○	○	-	-	-	-	横	1		3	
										2		9	
										3		8	
										4		10	
										5		16	
										6		20	
	CD/ DVD 表 (小)	114	-	-	◎	◎	○	○	-	横	1		1
											2		2
											3		3
											4		3
	CD/ DVD 背	114	-	-	-	-	-	◎	◎	横	1		1
											2		2

用途	長さ (mm)	印刷可能テープ幅(mm)							方向	番号	フォーマット	入力 項目数			
		46	36	24	18	12	9	6					3.5		
名前	一般	65	-	-	◎	◎	◎	○	-	-	横	大1		2	
												大2		2	
												大3		3	
			45	-	-	◎	◎	◎	○	-	-	横	小1		2
													小2		2
													小3		3
	子供	80	-	-	◎	◎	◎	○	-	-	横	大1		2	
													大2		2
													大3		3
													大4		3
		50	-	-	◎	◎	◎	○	-	-	横	小1		2	
													小2		2
												小3		3	
												小4		3	
子供 ふりが な付	80	-	-	◎	◎	◎	○	-	-	横	大1		2		
												大2		3	
	50	-	-	◎	◎	◎	○	-	-	横	小1		2		
												小2		3	
プレ ート	180	◎	○	○	-	-	-	-	-	横	大1		2		
												大2		3	
												大3		4	
	150	◎	○	○	-	-	-	-	-	横	小1		2		
												小2		3	
												小3		4	
バッジ	75	◎	○	○	-	-	-	-	-	横	1		3		
												2		3	
												3		4	
												4		4	

用途	長さ (mm)	印刷可能テブ幅(mm)							方向	番号	フォーマット	入力 項目数	
		46	36	24	18	12	9	6					3.5
名前	表札	100	◎	○	○	-	-	-	-	縦	1		3
			2		4								
			3		5								
			4		7								
	のし紙	95	-	-	○	◎	○	○	-	縦	大1		1
			大2		2								
			大3		2								
	65	-	-	○	◎	○	○	-	縦	小1		1	
		小2		2									
		小3		2									
ファイル	ファイル背 (厚)	180	◎	◎	○	-	-	-	-	縦	1		1
			2		3								
			3		6								
			4		7								
	ファイル背 (薄)	180	-	-	◎	◎	◎	○	-	縦	大1		1
			大2		2								
			大3		5								
		140	-	-	◎	◎	◎	○	-	縦	小1		1
			小2		2								
			小3		5								
	備品 管理 (大)	70	◎	◎	◎	-	-	-	-	横	1		10
			2		8								
備品 管理 (小)	70	-	-	◎	◎	○	○	-	横	1		6	
		2		4									

用途	長さ (mm)	印刷可能テブ幅(mm)							方向	番号	フォーマット	入力 項目数	
		46	36	24	18	12	9	6					3.5
汎用 サイズ	17cm (B5短)	170	◎	◎	○	-	-	-	-	横	1		1
			2		2								
			3		2								
			4		2								
	20cm (A4短)	200	◎	◎	○	-	-	-	-	横	1		1
			2		2								
			3		2								
			4		2								
	24cm (B4短)	240	◎	◎	○	-	-	-	-	横	1		1
			2		2								
			3		2								
			4		2								
	28cm (A4長)	280	◎	◎	○	-	-	-	-	横	1		1
			2		2								
			3		2								
			4		2								
34cm (B4長)	340	◎	◎	○	-	-	-	-	横	1		1	
		2		2									
		3		2									
		4		2									
40cm (A3長)	400	◎	◎	○	-	-	-	-	横	1		1	
		2		2									
		3		2									
		4		2									

# POPラベルフォーマット一覧

用途	長さ (mm)	印刷可能テープ幅(mm)								方向	番号	フォーマット	入力 項目数
		46	36	24	18	12	9	6	3.5				
値札 (46mm幅)	85	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	横	大1	■	2
		◎	◎	◎	-	-	-	-	-		大2	■	2
		◎	◎	◎	-	-	-	-	-		大3	■	3
		◎	◎	◎	-	-	-	-	-		大4	■	4
	65	◎	◎	◎	-	-	-	-	-	横	小1	■	2
		◎	◎	◎	-	-	-	-	-		小2	■	2
		◎	◎	◎	-	-	-	-	-		小3	■	3
		◎	◎	◎	-	-	-	-	-		小4	■	4
値札 (18mm幅)	70	-	-	○	◎	◎	○	-	-	横	大1	■	2
		-	-	○	◎	◎	○	-	-		大2	■	2
		-	-	○	◎	◎	○	-	-		大3	■	3
		-	-	○	◎	◎	○	-	-		大4	■	3
	50	-	-	○	◎	◎	○	-	-	横	小1	■	2
		-	-	○	◎	◎	○	-	-		小2	■	2
		-	-	○	◎	◎	○	-	-		小3	■	3
		-	-	○	◎	◎	○	-	-		小4	■	3
バーコード付 (46mm幅)	85	◎	-	-	-	-	-	-	横のみ	大1	■	4	
		◎	-	-	-	-	-	-		大2	■	5	
	65	◎	-	-	-	-	-	-	横のみ	小1	■	4	
		◎	-	-	-	-	-	-		小2	■	5	
バーコード付 (38mm幅)	85	-	◎	-	-	-	-	-	横のみ	大1	■	3	
		-	◎	-	-	-	-	-		大2	■	4	
	65	-	◎	-	-	-	-	-	横のみ	小1	■	3	
		-	◎	-	-	-	-	-		小2	■	4	
バーコード付 (24mm幅)	70	-	-	◎	-	-	-	-	横のみ	大1	■	2	
		-	-	◎	-	-	-	-		大2	■	3	
	50	-	-	◎	-	-	-	-	横のみ	小1	■	2	
		-	-	◎	-	-	-	-		小2	■	3	
短冊メニュー	200	◎	◎	◎	-	-	-	-	縦	大1	■	2	
		◎	◎	◎	-	-	-	-		大2	■	3	
	150	◎	◎	◎	-	-	-	-	縦	小1	■	2	
		◎	◎	◎	-	-	-	-		小2	■	3	
卓上メニュー	100	◎	◎	○	-	-	-	-	横	1	■	5	
		◎	◎	○	-	-	-	-		2	■	8	
		◎	◎	○	-	-	-	-		3	■	16	

# ナンバリングフォーマット一覧

用途	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅
	横	1	■	ナンバー	46,36,24,18, 12,9,6 (mm) (※3.5mm以外)
				コメント、 ナンバー	
	横	2	■	ナンバー、 コメント	
				コメント1、ナンバー、 コメント2	
	横	3	■	コメント、 ナンバー	
				コメント	
横	6	■	ナンバー、 コメント		

# テープ幅と行数・倍率一覧

印刷可能行数や最大“縦”倍率は、ご使用になるテープの幅やフォーマットによって異なります。

	テープ幅 (mm)								取扱説明書 参照ページ
	46	36	24	18	12	9	6	3.5	
最大印刷可能行数	10行	10行	10行	8行	5行	3行	2行	1行	38ページ 54ページ 95ページ
印字サイズ(ポイント)	119pt	85pt	59pt	43pt	26pt	17pt	9pt	6pt	48ページ 51ページ 95ページ

## 各機能における使用可能テープ幅一覧

	テープ幅 (mm)							
	46	36	24	18	12	9	6	3.5
フリーラベル	○	○	○	○	○	○	○	○
フレーム	○	○	○	○	○	○	○	×
用途別ラベル※	○	○	○	○	○	○	○	○
拡大印刷	○	○	×	×	×	×	×	×
バーコード印刷	○	○	○	○	○	×	×	×
QRコード印刷	○	○	○	○	×	×	×	×
ナンバリング印刷	○	○	○	○	○	○	○	×
POPラベル※	○	○	○	○	○	○	×	×
カレンダー印刷	○	○	○	○	×	×	×	×
宛名ラベル	○	○	○	×	×	×	×	×
デザインロゴ(通常)	○	○	○	○	○	×	×	×
デザインロゴ(拡大)	○	○	×	×	×	×	×	×

※使用可能なテープ幅はフォーマットによって異なります。詳しくは、用途別ラベルフォーマット一覧(127ページ)、または、POPラベルフォーマット一覧(129ページ)をご覧ください。

## 拡大印刷時のテープ幅と文字の大きさ

	46mm	36mm	24mm/18mm/12mm/9mm/6mm/3.5mm
2段	90mm	72mm	×
3段	135mm	108mm	×
4段	180mm	144mm	×

# デザインロゴ内蔵データ一覧

・フォルダ1：職場で使える分別ラベル(30種)

番号	本体表示名	デザインイメージ	番号	本体表示名	デザインイメージ
1	燃えるゴミ	燃えるゴミ	16	乾電池	乾電池
2	燃えないゴミ	燃えないゴミ	17	ボタン電池	ボタン電池
3	可燃物	可燃物	18	蛍光管	蛍光管
4	不燃物	不燃物	19	プラ製容器包装	プラ製容器包装
5	あき缶	あき缶	20	スプレー缶	スプレー缶
6	あきビン	あきビン	21	衣類・布製品	衣類・布製品
7	アルミ缶	アルミ缶	22	紙パック	紙パック
8	スチール缶	スチール缶	23	再生可	再生可
9	ペットボトル	ペットボトル	24	再生不可	再生不可
10	紙類	紙類	25	コピー用紙	コピー用紙
11	新聞・雑誌	新聞・雑誌	26	OA用紙	OA用紙
12	ダンボール	ダンボール	27	再生紙	再生紙
13	生ゴミ	生ゴミ	28	上質紙	上質紙
14	発泡スチロール	発泡スチロール	29	ミックスペーパー	ミックスペーパー
15	金属	金属	30	食品トレイ	食品トレイ

・フォルダ2：現場で使える注意ラベル(30種)

番号	本体表示名	デザインイメージ	番号	本体表示名	デザインイメージ
1	立入禁止	立入禁止 DO NOT ENTER	16	運転中	運転中 DURING OPERATION
2	通行禁止	通行禁止 NO PASSAGE	17	喫煙所	喫煙所 SMOKING AREA
3	火気厳禁	火気厳禁 FLAMMABLE	18	整理整頓	整理整頓 KEEP IN ORDER
4	土足厳禁	土足厳禁 NO STREET SHOES	19	いつもキレイに	いつもキレイに KEEP CLEAN
5	物をおくな	物をおくな KEEP EVERYTHING AWAY	20	手洗励行	手洗励行 WASH YOUR HANDS
6	駐車禁止	駐車禁止 NO PARKING	21	救急箱	救急箱 FIRST AID KIT
7	開放厳禁	開放厳禁 DO NOT LEAVE DOOR OPEN	22	担架	担架 STRETCHER
8	禁煙	禁煙 NO SMOKING	23	安全第一	安全第一 SAFETY FIRST
9	飲食禁止	飲食禁止 NO EATING OR DRINKING	24	清掃清潔	清掃清潔 KEEP CLEAN
10	携帯使用禁止	携帯使用禁止 NO MOBILE PHONES	25	危険	危険 DANGER
11	手をふれるな	手をふれるな DO NOT TOUCH	26	開閉注意	開閉注意 OPEN WITH CARE
12	頭上注意	頭上注意 WATCH YOUR HEAD	27	消火器	消火器 FIRE EXTINGUISHER
13	足元に注意	足元に注意 WATCH YOUR STEP	28	故障	故障 OUT OF ORDER
14	作業中	作業中 WORK IN PROGRESS	29	撮影禁止	撮影禁止 NO PHOTOGRAPHY
15	安全確認	安全確認 SAFETY CHECK	30	使用禁止	使用禁止 DO NOT USE

## ・フォルダ3：現場で使える注意ラベル2(30種)

番号	本体表示名	デザインイメージ	番号	本体表示名	デザインイメージ
1	昇降禁止	 昇降禁止 DO NOT ACCESS	16	マスク着用	 マスク着用 WEAR MASK
2	修理中	 修理中 UNDER REPAIR	17	ゴーグル着用	 ゴーグル着用 WEAR GOGGLES
3	点検中	 点検中 UNDER INSPECTION	18	手袋着用	 手袋着用 WEAR GLOVES
4	手袋使用禁止	 手袋使用禁止 NO GLOVES	19	安全帯使用	 安全帯使用 USE SAFETY BELT
5	開口部注意	 開口部注意 DANGER WHEN OPENING	20	自動運転中	 自動運転中 DURING AUTO OPERATION
6	落下物注意	 落下物注意 WATCH YOUR HEAD	21	運転禁止	 運転禁止 DO NOT OPERATE
7	工事中	 工事中 UNDER CONSTRUCTION	22	合図確認	 合図確認 WATCH CHECK SIGNAL
8	昇降注意	 昇降注意 WATCH YOUR STEP	23	点検励行	 点検励行 BE SURE TO INSPECT
9	高温注意	 高温注意 DANGER HIGH TEMPERATURE	24	指差呼称励行	 指差呼称励行 FINGER POINT AND CALL
10	高電圧注意	 高電圧注意 DANGER HIGH VOLTAGE	25	作業手順確認	 作業手順確認 CONFIRM PROCEDURES
11	感電注意	 感電注意 DANGER ELECTRIC SHOCK	26	危険物注意	 危険物注意 DANGEROUS MATERIAL
12	積み過ぎ注意	 積み過ぎ注意 DO NOT OVERLOAD	27	巻込まれ注意	 巻込まれ注意 WATCH YOUR HANDS
13	保護帽着用	 保護帽着用 WEAR HELMET	28	はさまれ注意	 はさまれ注意 WATCH YOUR HANDS
14	保護メガネ着用	 保護メガネ着用 WEAR SAFETY GLASSES	29	飲料不適	 飲料不適 NOT DRINKING WATER
15	耳栓使用	 耳栓使用 WEAR EARPLUGS	30	酸欠注意	 酸欠注意 RISK OF SUFFOCATION

## ・フォルダ4：病院で使える案内ラベル(30種)

番号	本体表示名	デザインイメージ	番号	本体表示名	デザインイメージ
1	初診の方はこちら	 初診の方はこちら	16	退院手続き	 退院手続き
2	再診の方はこちら	 再診の方はこちら	17	相談窓口	 相談窓口
3	外来の方はこちら	 外来の方はこちら	18	お薬お渡し口	 お薬お渡し口
4	予約券はこちら	 予約券はこちら	19	整理券	 整理券
5	診察券はこちら	 診察券はこちら	20	ご意見箱	 ご意見箱
6	保険証確認	 保険証確認	21	診療日の案内	 診療日の案内
7	受付	 受付	22	外来担当一覧	 外来担当医一覧
8	会計	 会計	23	アルコール消毒液	 アルコール消毒液
9	入院受付	 入院受付	24	院内禁煙	 院内禁煙
10	紹介状受付	 紹介状受付	25	ご自由にどうぞ	 ご自由にどうぞ
11	面会受付	 面会受付	26	プリペイドカード	 プリペイドカード
12	検査受付	 検査受付	27	検査室	 検査室
13	人間ドック受付	 人間ドック受付	28	処置室	 処置室
14	処方せん受付	 処方せん受付	29	診察室	 診察室
15	入院手続き	 入院手続き	30	レントゲン室	 レントゲン室

# 内蔵漢字一覧

134、135 ページには J I S 第 1 水準の漢字を、136、137 ページには J I S 第 2 水準の漢字を一覧表として掲載しています。

J I S 第 1 水準の漢字は代表的な「読み」の 50 音順に並んでいます。  
J I S 第 2 水準の漢字は「部首の画数」の順に並んでいます。

J I S 区点コード表の部首分類のそれぞれの画数には次の部首が含まれます。

1画	一、丨、丶、ノ、乙、丿
2画	二、亠、人、儿、入、八、冂、冫、勹、勹、几、凵、刀、力、勹、匕、匚、匚、十、卜、冂、冂、ム、又
3画	口、凵、土、土、夕、夕、夕、大、女、子、宀、寸、小、尢、尸、巾、山、巛、工、己、巾、干、幺、广、廴、井、弋、弓、彡、彳
4画	心、戈、戸、手、支、斗、斤、方、无、日、日、月、木、欠、止、夕、夕、母、毛、氏、气、水、火、爪、爻、爻、片、牛、犬
5画	玉、瓦、甘、生、用、田、疒、疒、白、皮、皿、目、矛、矢、石、示、内、禾、穴、立
6画	竹、米、瓜、糸、缶、网、羊、羽、老、耒、耳、聿、肉、至、臼、舌、舟、艮、色、艸、虎、虫、血、行、衣、冫
7画	臣、見、角、言、谷、豆、豕、豕、貝、赤、走、足、身、車、辛、邑、酉、采、里
8画	金、門、阜、隶、隹、雨、青、非
9画	面、革、韭、音、頁、風、食、首、香
10画～	馬、骨、高、彭、鬥、鬯、鬯、鬼、韋、魚、鳥、鹵、鹿、麥、麻、黃、黍、黑、黽、鼈、鼓、鼠、鼻、齊、齒、龍、龜、龠

J I S 区点コードでの漢字の分類は本機で採用した部首と異なるものがあります。

左記の部首の画数の数えかたは本機で採用した数えかたと異なるものがあります。

区点コードは調べたい文字の左右の端の 2 桁の数字（区番号）と上下の 2 桁の数字（点番号）の組み合わせで表されます。

例：「愛」は 16 区 06 点にあるので区点コードは「1606」です。

一覧表は 1 ページに収まらないため本書では次のように分割されて表記されています。

	01 点～ 47 点	48 点～ 94 点
16 区 } 47 区	134 ページ	135 ページ
48 区 } 84 区	136 ページ	137 ページ









# 仕様

形式 : KL-V460

## 入力

キー配列 : JIS配列準拠

入力方法 : ローマ字入力、JISかな入力

変換方式 : ATOK AI変換および予測変換

## 辞書

内蔵辞書数 : 熟語変換 約257,000語(追加可能)

郵便番号辞書 約122,000件

(平成26年2月28日版 7桁対応)

※事業所の個別郵便番号は非対応

## 漢字辞書機能

- ・読み検索
- ・総画数検索
- ・部首検索
- ・JIS区点コード検索

## 文字種

9,000文字(+外字10文字)

漢字 : 6,561文字

JIS第1水準 ..... 2,965文字

JIS第2水準 ..... 3,390文字

JIS外漢字 ..... 206文字

ひらがな : 332文字

全角 ..... 83文字

半角 ..... 83文字

上付、下付 ..... 166文字

カタカナ : 344文字

全角 ..... 86文字

半角 ..... 86文字

上付、下付 ..... 172文字

数字 : 40文字

全角 ..... 10文字

半角 ..... 10文字

上付、下付 ..... 20文字

アルファベット : 208文字

全角 ..... 52文字

半角 ..... 52文字

上付、下付 ..... 104文字

ギリシア文字 : 48文字

全角 ..... 48文字

ロシア文字 : 66文字

全角 ..... 66文字

記号 : 837文字

全角 ..... 387文字

半角 ..... 150文字

上付、下付 ..... 300文字

絵文字 : 564文字

全角 ..... 564文字

※外字は10文字まで登録できます。

## 表示

液晶表示 : 240×80ドット+シンボル(15桁×5行) 4階調  
バックライト付き

入力部分 : 15桁×1~2行(フリーラベル以外での入力時)  
15桁×4行(フリーラベル入力時のみ)

表示文字構成 : 16×16ドット(全角)  
8×16ドット(半角)  
8×8ドット(1/4角)

## 印刷

印字密度 : 200×200dpi

印刷方式 : 熱転写方式

印字速度 : 最大約20mm/秒(印字速度は印字環境・条件などにより異なります)

最大印刷幅 : 約46mm

a)2mm(テープ幅 3.5mm)

b)4mm(テープ幅 6mm)

c)7mm(テープ幅 9mm)

d)10mm(テープ幅 12mm)

e)16mm(テープ幅 18mm)

f)22mm(テープ幅 24mm)

g)32mm(テープ幅 36mmで通常印刷時)

h)36mm(テープ幅 36mmで拡大印刷時)

i)43mm(テープ幅 46mmで通常印刷時)

j)46mm(テープ幅 46mmで拡大印刷時)

文字構成 : アウトラインフォント(一部ビットマップフォント併用)  
書体 : 和文書体(明朝体、角ゴシック体、丸ゴシック体、毛筆楷書体 それぞれ普通/太字)  
英数書体(明朝体、角ゴシック体、丸ゴシック体、毛筆楷書体、ステンシル、ポップ、ボールドスク립ト、ペンスクリプト、ブラックレター、センチュリーイタリック それぞれ普通/太字)  
印刷方向 : 横書き・縦書き・裏書き  
印刷文字体 : 標準・白抜・影付・立体  
印字行数 : 3.5mm幅テープ使用時 1行印刷可能  
6mm幅テープ使用時 1~2行印刷可能  
9mm幅テープ使用時 1~3行印刷可能  
12mm幅テープ使用時 1~5行印刷可能  
18mm幅テープ使用時 1~8行印刷可能  
24mm/36mm/46mm幅幅テープ使用時 1~10行印刷可能

## 内部記憶

文字登録用の記憶 : 約4,000文字  
宛名ラベル : 100件  
熟語変換辞書 : 50件  
郵便番号辞書 : 10件  
プリセットタイトル : 最大で49文字、50語まで登録可能  
コピー/ペースト : 最大で511文字、1項目のみ登録可能  
デザインロゴ : 4 フォルダ

## 登録・呼出し

登録 : 文字編集用記憶エリア一括登録+自動並び替え  
呼び出し : 順次呼び出し

## 電源・その他

動作電源 : 指定ACアダプター(AD-A24250L)<家庭用100V電源使用>  
内蔵時計動作電池寿命

約8年

タイムスタンプ、タイムスパンでの年月日、時刻が正しく表示されない場合は、内蔵時計動作電池の消耗が考えられます。

この場合は、お買い上げの販売店または最寄りの「修理サービス窓口」に修理をご依頼ください。(有料交換)

定格電圧 : DC24V

定格消費電流 : 1.2A(29W)

オートパワーオフ : 約6分

※パソコンに接続しているときは、オートパワーオフは、はたらきません。

時計精度 : 日差±3秒(常温15℃~35℃)

大きさ : 幅237mm×奥行235mm×高さ106.5mm(足含む)

質量 : 約1,400g

使用温度 : 10℃~35℃

# 別売品について

本機でご使用になれるテープ幅は、3.5mm・6mm・9mm・12mm・18mm・24mm・36mm・46mmです。

別売品のテープカートリッジについては、付属の「別売品カタログ」をご覧ください。また、別売品のテープカートリッジの最新情報やネームランド新製品情報については、以下のURL をご確認ください。

<http://casio.jp/d-stationery/>

## ● クリーニングテープ

XR-46CLE

長期間で使用になると、プリンターヘッドにホコリがたまることがあります。クリーニングテープを使えば、そのホコリ等を取り除くことができ、きれいな文字を印刷できます。

## ● ネームランド用ハサミ

CU-10

9ミリ幅～24ミリ幅テープのカドを丸くしたり、カット部を波型に仕上げることができます。

※品切れの際はご容赦ください。

※別売品については一部予告なしに変更となる可能性があります。

- 自己粘着テープについて(XR-12/24/46JNWE、XR-12/24/46JNX)  
テープカートリッジに同梱されている取扱説明書に、ゴムパッドを貼り付けて使用する内容の記載がありますが、本機でご使用になる場合は、ゴムパッドの貼り付けは不要です。

# 索引

## アルファベット・数字

ACアダプター	13
CD背ラベル	127
DATA STOCK TOOL	70
JIS区点コード	85,133
QRコード	59
POPラベル	63
USBケーブル …「はじめにお読みください」	
USBコネクタ	11
2行印字	38

## あ行

宛名ラベル	66
網掛	97
アルファベットの入力	86
一括印刷	67
イメージャー表示	39,44
印刷	23
印刷濃度	110
印刷プレビュー	19,22
印刷方向	39
印字行数	139
印字サイズ	48
印字密度	138
上付(印字サイズ)	49
裏書き	41
上書き	90
絵文字	88
絵文字一覧	124
エラーメッセージ	117
オートカッター	26
英数書体	93
オートパワーオフ	15
大文字の入力(アルファベット)	86
送り無	43
オリジナル文字(外字)	104

## か行

カーソル	77
改行	19,38
外字	104
角ゴシック体	93
学習機能	80,82,110
拡大印刷	35
確定	80
各部の名前	11
影付	96
下線(修飾)	97
下線(変換)	83
カタカナの入力	79
カタカナ変換	79
カットモード	86
かな漢字まじり文の入力	22
かな入力	78
画面の見方	21
カレンダー	64
漢字辞書	83
漢字の入力	80
キー	19
キーボード	19
キーのはたらき	19
記号一覧	123
記号の入力	87
休日指定	65
行頭	77
行末	77
均等	46,47
均等割付(ブロック)	47
均等割付(文字)	46
区点コード検索	85
クリーニング	112
グループ	66,88
グループ一括印刷	67
グループ名変更	68
後退	19,89
コピー	103
ゴムローラー	18,112

小文字の入力(アルファベット)	87
小文字(促音、拗音)の入力(ひらがな・カタカナ)	80
コントラスト(画面)	110
こんなときは(トラブルシューティング)	113

## さ行

サイズマーク	50
削除(外字)	106
削除(部分)	90
削除(文削除)	90
削除(文字削除)	89
参照作成(外字)	105
時刻設定	110
下付(印字サイズ)	49
ジャストフィット印刷	48
ジャストフィットマーク	50
修正(外字)	105
収納部オープンボタン	11
熟語変換	82
熟語変換辞書	106
仕様	138
使用できるテープ	130
初期化	14
初期設定	14
初期フォント	95
書式	39
全文単位	41
ブロック	39
書体	93
白抜	96
新規作成(外字)	104
数字の入力	87
スクロール	77
ステンシル	93
スムージング	41
設定	
印刷濃度	110
液晶コントラスト	110
初期フォント	95
挿入/上書き	91
デモ印刷	111

日時設定	110
バックアップ	70
ブザーON/OFF	109
ユーザー辞書(熟語)	106
ユーザー辞書(郵便)	108
ローマ字/かな入力	78
センチュリーイタリック	93
前候補	82
全文削除	90
全文書式	41
全文頭	77
全文末	77
総画数検索	84
挿入	90

## た行

タイムスタンプ	101
タイムスパン	102
ダイレクト設定	45
縦書き印刷	39,55
縦横同時印刷	55
小さな文字	53,95
定型フォーマット	31
デザインロゴ	71
デザインロゴ内蔵データ一覧	131
データの削除	70
データの登録	69
データのバックアップ	70
データの保持	14
データの呼出し	69
テープ	17
テープ送り	24
テープカートリッジ	17
テープカートリッジ収納部のカバー	11
テープカートリッジのセット	17
テープカートリッジの取り出し	18
テープガイド	17
テープカット	26
テープ長固定	45
テープ出口	11
テープの長さ	43
テープ幅と行数・倍率一覧	129

デモ印刷	111
電源	13
電源を入れる	15
電源を切る	15
登録	69
トランプシューティング	113
取消し(文字修飾)	98

### な行

内蔵漢字一覧	133
長さ指定	43
中寄せ	46,47
中寄せ(ブロック)	47
中寄せ(文字)	46
ナンバリング(通し番号ラベル)	33
日時設定	110
入力	
絵文字	88
外字	104
記号	87
文字	78
値札	63

### は行

バーコードラベル	56
ハーフカット	26
パソコンとの通信	「はじめにお読みください」
バックライト	11
左寄せ	46,47
左寄せ(ブロック)	47
左寄せ(文字)	46
表示画面	21
ひらがなの入力	79
フォーマット	31
フォント(書体)	93
複数行の印字	38
ブザー音	109
部首検索	84
付属品	「はじめにお読みください」
復帰	92
太字	93
部分削除	90

ブラックレター	93
フリーラベル	22,37
フリーラベルの削除	70
フリーラベルの登録	69
フリーラベルの呼出し	69
プリセットタイトル	99
プリンターヘッド	18,112
フルカット	26
フレーム	54
フレーム一覧	126
レビュー画面	22
ブロック	37
ブロック間隔	41
ブロック書式	39
ブロック長	40
ブロック長固定	43
ブロックの割付	47
プロポーショナル	41
文削除	90
ペースト	103
ベンスクリプト	93
別売品について	140
変換	
カタカナ	79
熟語	82
予測変換	80
方向(印刷方向)	39
ボールドスクリプト	93
ポップ	93

### ま行

丸ゴシック体	93
右寄せ	46,47
右寄せ(ブロック)	47
右寄せ(文字)	46
明朝体	93
メインメニュー	15
メニューラベル	63
メモリー(登録)	69
メモリーの初期化(リセット)	14
毛筆体	93

文字間隔	39
文字キー	20
文字サイズ	48
文字サイズ(行単位)	51
文字サイズ(文字単位)	48
文字削除	89
文字修飾	97
文字体	96
文字の入力	78
文字の訂正	89
文字倍率	48
文字割付	46
持ち運び用ハンドル	11

### や行

ユーザー辞書	106
郵便番号辞書	108
用途別ラベル	31
用途別ラベルフォーマット一覧	127
曜日切替	65
予測変換	80
余白	43
読み検索	83

### ら行

リセット(初期化)	14
立体	96
連番印刷	33
ローマ字入力	78
ローマ字入力一覧	122

### わ行

枠付	97
和文書体	93
割付	46

**CASIO®**

**カシオ計算機株式会社**

〒151-8543 東京都渋谷区本町 1-6-2